

# 少子高齢化等に配慮した公共施設整備 の在り方についての調査研究

(川口総合文化センター大規模改修工事に向けた将来像の研究)

平成 31 年 3 月

埼玉県 川口市  
一般財団法人 地方自治研究機構



## はじめに

少子高齢化の進行に伴う本格的な人口減少社会の到来や、厳しい財政状況が続くなど、地方を取り巻く環境が一層厳しさを増す中で、地方公共団体は、住民ニーズを的確に捉え、地域の特性を活かしながら、産業振興による地域の活性化、公共施設の維持管理等の複雑多様化する諸課題の解決に自らの判断と責任において取り組まなければなりません。

また、最近ではICTやAI等を活用した業務改革の推進、財政状況の「見える化」、公共施設等の老朽化対策等の適正管理、上下水道の広域化等の公営企業経営改革など、地方公共団体の財政マネジメントの強化も求められています。

このため、当機構では、地方公共団体が直面している諸課題を多角的・総合的に解決するため、個々の団体が抱える課題を取り上げ、当該団体と共同して、全国的な視点と地域の実情に即した視点の双方から問題を分析し、その解決方策の研究を実施しています。

本年度は7つのテーマを具体的に設定しており、本報告書は、そのうちの一つの成果を取りまとめたものです。

本研究の対象である川口市において、市のシンボリックな存在である川口駅前総合文化センターは平成2年7月1日の開館から間もなく30年目を迎えますが、法令への適合及び老朽化対応に合わせて、少子高齢化に対応したこれからの施設の在り方も含めた調査を行い、延命化に向けた大規模改修に係る要件の枠組みについて検討を行いました。

本研究の企画及び実施に当たりましては、研究委員会の委員長及び委員を始め、関係者の皆様から多くの御指導と御協力をいただきました。

また、本研究は、公益財団法人 地域社会振興財団の交付金を受けて、川口市と当機構とが共同で行ったものであり、ここに謝意を表する次第です。

本報告書が広く地方公共団体の施策展開の一助となれば大変幸いです。

平成31年3月

一般財団法人 地方自治研究機構  
理事長 山中 昭 栄



## 目次

序章 調査研究の概要 .....	1
1 調査研究の背景・目的・視点 .....	3
2 調査研究の流れと全体像 .....	5
3 調査研究の体制 .....	9
第1章 川口市の現状 .....	11
1 川口市の概要 .....	13
2 公共施設の整備・更新に関する取組 .....	18
3 文化芸術に関する取組 .....	22
第2章 川口総合文化センターの現状と課題 .....	25
1 川口総合文化センターの現状 .....	27
2 川口総合文化センターの課題 .....	39
第3章 文化施設の大規模改修の現状 .....	49
1 大規模改修の実態に関する調査 .....	51
2 大規模改修における基本的な取組傾向とバリアフリー対応 .....	65
第4章 川口総合文化センターの改修要件 .....	69
1 大規模改修に向けた基本的な考え方 .....	71
2 施設・設備の更新要件 .....	78
3 少子高齢化等に係る要件に対する対応状況 .....	115
4 少子高齢化等に伴う施設サービスの拡充について .....	119
第5章 大規模改修に伴う課題と対応 .....	121
1 大規模改修要件に関する今後の検討課題 .....	123
2 大規模改修に伴う影響課題 .....	124
3 大規模改修の実施に向けた今後の検討課題 .....	129
4 大規模改修の実施に向けた今後の流れ .....	136
調査研究委員会名簿 .....	137

資料編 .....	141
1 首都圏の文化会館・音楽ホール一覧（参考） .....	143
2 アンケート調査票.....	177

## 序章 調査研究の概要





## 序章 調査研究の概要

### 1 調査研究の背景・目的・視点

#### (1) 背景

川口市では今後、人口減少、少子高齢化の進行等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることから、公共施設等の状況を把握するため、平成 21 年に「川口市施設白書」を作成した。また、長期的な視点を持って公共施設等の維持管理、更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行い、財政負担の平準化と適正な配置を実現するために「川口市施設マネジメント基本方針」を平成 25 年に策定し、現在は「川口市公共施設等総合管理計画」に基づいて、将来にわたる公共施設等の安全性及び効率性の確保に努めるべく、全庁的・組織横断的に取り組んでいる。

本調査研究では、築後 28 年を迎える『川口総合文化センター』（愛称：「リリア」又は「LILIA」）は、設備の老朽化が著しく、改修工事の時期に差し掛かっていることから、今後の備えるべき機能を再度検証し、市民ニーズに則した施設となることを目的とした研究を進める。

また調査研究では、「少子高齢化等へ配慮した公共施設整備の在り方」をテーマとしている。そのため、学校施設、児童福祉施設、高齢者関係施設を対象とすることが考えられるが、個々の世代に特化した施設よりも、広く汎用的な整備の在り方を検討するため、①多様な世代の多くの市民が利用する機会のある施設であること、②国内外の広範囲の人が利用する機会のある施設であること、③各種サービスとしての多様な展開が望まれる施設であること、を満たす国際性のある市民文化施設を調査研究対象とすることとし、川口市公共施設等総合管理計画を踏まえ、早期に検討が必要と思われる『川口総合文化センター』の大規模改修に向けた検討に合わせて実施することとした。

川口総合文化センターは、全体としての稼働率・利用率も高く、駅に隣接した高層ビルとして、川口市のシンボリックな存在であるが、開館から 28 年が経過し、法令で定められている各設備機器等の改修工事をはじめ、老朽化した機器の更新、故障による修理、利便性に配慮したトイレの改修、スロープの設置などを限られた予算中である程度計画的に実施してきているが、休館を伴う大規模な改修工事は実施していない。

今後も広く市民に親しまれ、国際的なアーティストのコンサートやイベント等の開催にも対応し続けるために、特定天井等の法令改正に伴う施設改修が求められる部分での改修方法を検討する必要があるとともに、建築・電気・設備・舞台等の全体的な更新を実施することも必要となっている。

また、この先も川口市における芸術・文化の発信地となるために必要な施設整備として、高齢化社会に配慮した取組として、どのような形で改修等を行うべきかを検討する必要がある。

## (2) 調査研究の目的と視点

本調査研究においては、まもなく開館から 30 周年を迎える川口総合文化センターが、これからも芸術・文化の発信地として、市民が一流の芸術を体感でき、一流の舞台で発表できる場所であることを踏まえ、今後の少子高齢化等に配慮した公共施設整備モデルとしての川口総合文化センターの将来像を展望し、その将来像の実現に向けた基本的な改修事項について、利用者への影響への対応を含めて整理することを目的とする。

本調査研究においては、主として以下の 3 点について検討を行う。

- ① 川口総合文化センターにおける大規模改修工事要件の整理
- ② 少子高齢化等に配慮した公共施設整備モデルとしての川口総合文化センターの将来像
- ③ 長期的な休館に伴う利用者及び川口市主催事業への影響と対策

法令対応や老朽化対応のほか、高齢化への対応、市民ニーズへの対応、施設の位置付け・目的への対応等、考慮すべき観点からの主な改修要件を整理するとともに、改修を進める上で考慮すべき事項についても併せて整理するものである。

なお、本調査研究を進めるに当たり、公共施設マネジメントの観点から、川口総合文化センターの改修及びその後の運営における経営収支の改善を見据えた検討、必要な改修投資コストと利用料の在り方、さらには都市部を中心とした類似施設（競合施設）の機能・設備との比較など、施設を取り巻く環境・変化を見据えた施設改修の検討も必要であるが、必要なコストについては工事の方法や内容により変化する部分が多いことなどから、手戻りとならない範囲での現状整理等に留めるものとする。

## 2 調査研究の流れと全体像

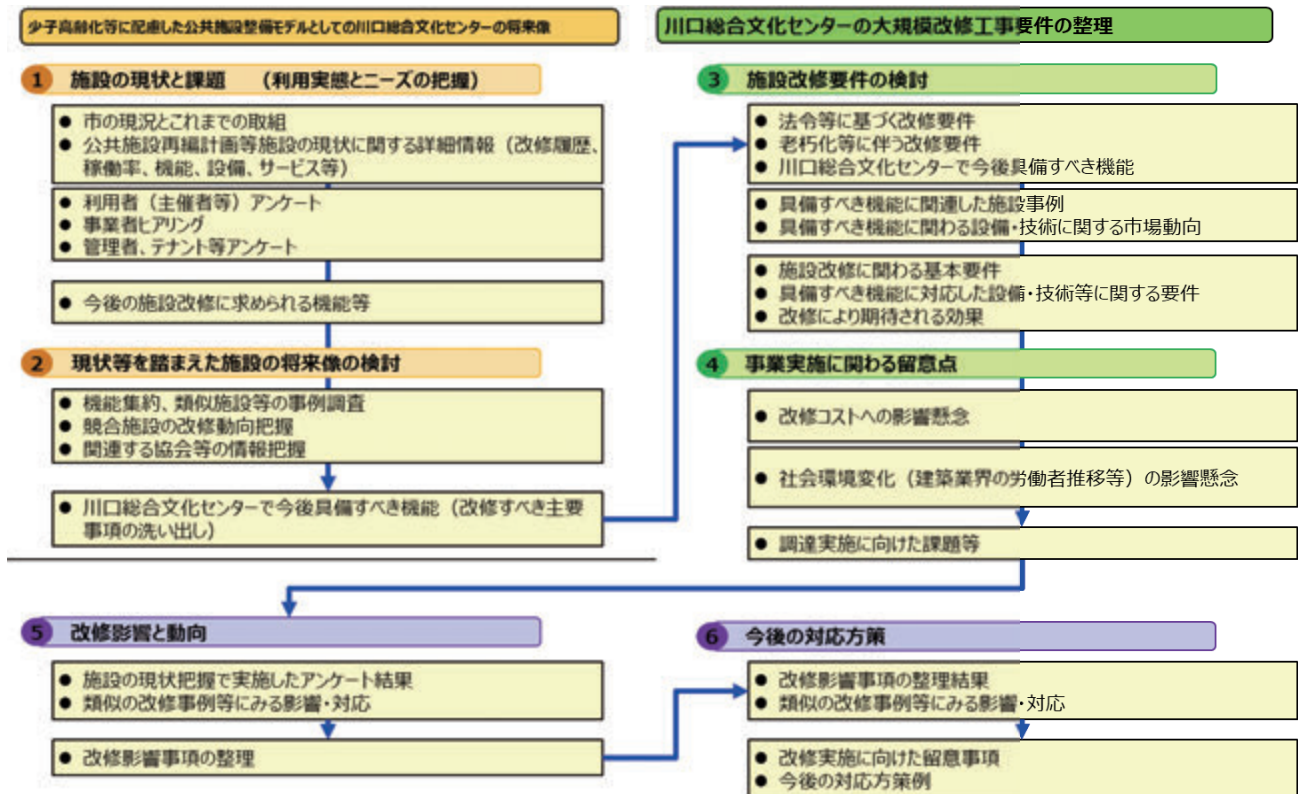
### (1) 調査研究の全体像

調査の目的・視点から、調査研究における目標達成のための活動を整理したものが図表 序-2-1 である。また、活動内容から整理した全体の流れが図表 序-2-2 である。

図表 序-2-1 調査研究の全体像

No.	目標	目標達成のための活動
1	少子高齢化等に配慮した公共施設整備モデルとしての川口総合文化センターの将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の現状と課題（当初からのコンセプトと位置付け、定期開催利用、利用状況・利用動向・施設への問い合わせ内容、管理状況、施設課題、運営課題、想定する改修規模等）と施設を取り巻く環境変化（人口減少等構造的課題把握）、市公共施設再編計画に基づく見直し方向（他施設の機能取込み等）、近隣類似施設の有無（競合施設、連携施設、周辺自治体との関係等）の把握・整理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状課題と今後の利用ニーズの把握（施設利用者（市民）、大口利用顧客、テナント等へのアンケート調査）</li> </ul> </li> <li>● 現状等を踏まえた施設の将来像の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉に対応した複合施設事例（Web,文献調査等）</li> <li>・他の公共施設等の動向把握と機能集約の必要性有無（関係者ヒアリング調査）</li> </ul> </li> </ul>
2	川口総合文化センターの大規模改修工事要件の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設改修要件の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査（建築内外装、建築設備、舞台装置、客席椅子等）に基づく改修事項の整理</li> <li>・将来像を踏まえた施設改修、サービス見直し要件の棚卸整理</li> <li>・利用者（高齢者等）が利用しやすい安全な施設・建物構造と設備、案内板、エスコート等の支援サービスに関する調査（Web,文献調査等）</li> </ul> </li> <li>● 事業実施に関わる留意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修実施における留意事項について、事例等を基に整理</li> <li>・オリンピックイヤーなどの影響確認、調達方法等の整理</li> </ul> </li> </ul>
3	長期的な休館に伴う利用者及び川口市主催事業への影響と対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改修期間中の行政催事の履行及び地域の市民催事への影響と動向（意向）の把握               <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ニーズ調査と併せてアンケート実施                   <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大口利用者（多頻度利用者、定期的利用団体他）へのアンケート</li> <li>➢ 関係事業者ヒアリング（市、財団、舞台技術操作委託先、メンテナンス委託先）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 改修期間中の対応方策の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替可能な近隣施設の利用可能性の確認等</li> </ul> </li> </ul>

図表 序-2-2 調査研究全体の流れ



施設の在り方として、将来像を見据えたコンセプトに基づき、今後の在り方としての施設整備要件、具備すべき機能等を検討することが適当であることから、現状と課題を確認した上で、今後の環境変化や法令等の動向も踏まえた将来像を検討し、それに向けた要件の枠組みを検討整理する流れとしている。

各調査検討作業における情報関係を整理したものが図表 序-2-3 である。

入力情報として既存の情報等があればそれらを活用し、不足するものがあればアンケートやヒアリング、Web や文献調査等により補充して進めるものである。

また、各工程での出力情報が以降の工程への入力情報ともなる。

図表 序-2-3 調査研究全体の流れに対応した調査・情報一覧

No	工程	入力情報	出力情報	備考 (目的・手段・留意事項)
1	施設の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設白書(カルテ)</li> <li>● 公共施設再編計画等</li> <li>● 公共施設関係アンケート</li> <li>● 公共施設利用者台帳</li> <li>● 公共施設に関する問い合わせ対応履歴</li> <li>● 利用者(主催者等)アンケート</li> <li>● 事業者ヒアリング</li> <li>● 管理者、テナント等アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再編に伴う機能集約の必要性有無</li> <li>● 拡充・廃止のサービス選別</li> <li>● 施設利用課題(レイアウト、機能、設備等)</li> <li>● 施設利用ニーズ</li> <li>● 改修休館時(工事期間中)の影響</li> <li>● 主催者等利用者にとっての類似施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 人口減少社会を見据えた公共施設再編に関する全般的な動向を把握・整理した上で川口総合文化センターの現状と利用者意向等の声を整理</li> </ul>
2	施設の将来像の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前工程(施設の現状把握)の出力情報</li> <li>● 機能集約、類似施設等の事例調査</li> <li>● 競合施設の改修動向把握</li> <li>● 関連する協会等の情報把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 川口総合文化センターで今後具備すべき機能(改修すべき主要事項の洗い出し)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(ACPC)でホール改修把握</li> <li>□ 優良ホール 100 選/日本音響家協会選定の基準を参考に</li> </ul>
3	施設改修要件の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令等に基づく改修要件</li> <li>● 老朽化等に伴う改修要件</li> <li>● 川口総合文化センターで今後具備すべき機能</li> <li>● 具備すべき機能に関連した施設事例</li> <li>● 具備すべき機能に関わる設備・技術に関する動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>施設改修に関わる基本要件</u></li> <li>● <u>具備すべき機能に対応した設備・技術等に関する要件</u></li> <li>● 改修により期待される効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 人口減少社会を見据えた改修要件整理と施設のコンセプトに基づく改修要件の整理</li> <li>□ 委員の方の知見等もお借りして改修要件の棚卸を行う</li> </ul>
4	事業実施に関わる留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市におけるこれまでの改修実績</li> <li>● 社会環境変化(少子高齢化に伴う建設業技術者の減少等)</li> <li>● 工事発注等に係る課題等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>施設改修に関わる留意事項</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 事例等を踏まえて課題整理</li> </ul>
5	改修影響と動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の現状把握で実施したアンケート結果</li> <li>● 類似の改修事例等における影響・対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改修影響事項の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 主催者にとっての他のホール施設の改修時期を考慮した検討</li> </ul>
6	今後の対応方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前工程の改修影響事項の整理結果</li> <li>● 類似の改修事例等における影響・対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改修実施に向けた留意事項</li> <li>● 今後の対応方策例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 市の美術館構想との関係</li> </ul>

なお、本調査研究では改修要件のアウトラインの整理が主たる目標であり、実現方法等まで検討するものではないため、改修方法や内容(実現方法や工法・技法等)に係る費用概算に至らないことから、費用試算については掲載していない。

本調査研究は外部有識者等を委員とした委員会を年3回開催し、進めることとしており、図表序-2-4に示すスケジュールに沿って作業等を進めた。

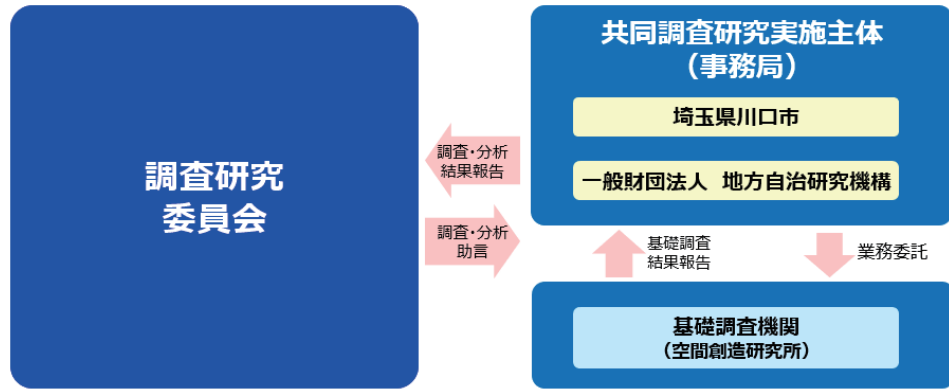
図表 序-2-4 調査研究実施スケジュール

主要タスク	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03
委員会開催			▼~	第1回				▼~	第2回	▼~	第3回	
事務局会議	▽		▽		(適宜開催)		▽		▽			
施設の現状と課題 施設の将来像		市の現況 これまでの取組 施設詳細情報	事例調査 必要に応じて利用者・ 事業者へのヒアリング等	1	施設の将来像	2						
改修要件の検討 財政試算			法令・老朽化等 に基づく改修要件	ヒアリング・アンケート に基づく改修要件	3	基本要件の 整理	4	財政試算				
改修影響 今後の対応					改修に関わる類似事例 技術・設備市場動向			5	改修影響の整理			
										6	改修実施の留意事項 今後の対応方針	
									最終ごまめ	報告書作成	入稿・製本	

### 3 調査研究の体制

本共同調査研究は、川口市及び一般財団法人地方自治研究機構を実施主体として、調査研究委員会の指導及び助言の下、基礎調査機関として空間創造研究所の協力を得て実施した。

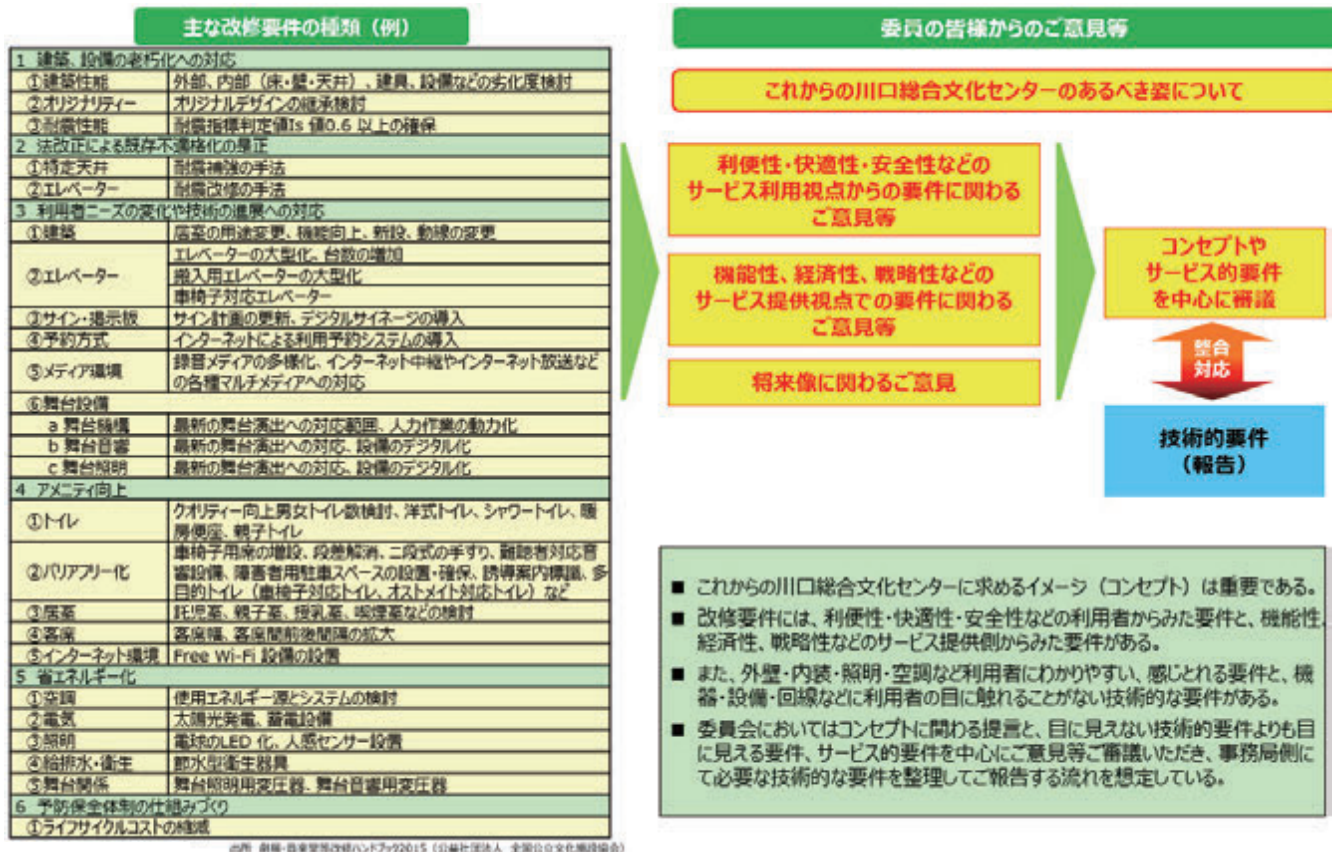
図表 序-3-1 調査研究の体制図



No	作業体制	組織・担当者等（敬称略）	作業役割
1	川口市	市民生活部 自治振興課 瀬切 裕子 運沼 英樹 高橋 弘昌 吉田 佳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係部署及び関係事業者等へのヒアリング等各種調査に関わる事前調整</li> <li>■ 各種調査の企画・設計</li> <li>■ 各種調査の実施</li> <li>■ 各種調査結果に基づく方策検討</li> </ul>
2	一般財団法人 地方自治研究機構	調査研究部 久保田 智 町田 祐太	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各種関係者との調整支援</li> <li>■ 各種調査の企画・設計</li> <li>■ 各種調査の実施と資料作成</li> <li>■ 各種調査結果に基づく方策検討</li> <li>■ 各種資料作成及び報告書取りまとめ</li> </ul>
3	基礎調査機関 (空間創造研究所)	草加 叔也 米森 健二	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各種調査内容の設計支援</li> <li>■ 各種調査の実施支援</li> <li>■ 各種要件の洗い出しと資料作成支援</li> <li>■ 各種調査結果に基づく方策検討支援</li> </ul>

なお、本調査研究は施設・設備の改修要件の検討に係る部分が重要であり、建築・設計・工事等の専門的な知識による部分が想定されることから、要件の技術的な要素など工事や設計仕様に関する議論よりも、コンセプトを中心とした具備すべき要件等の枠組みを中心に議論してもらう必要性から、調査研究委員会の役割について、あらかじめ整理して進めることとした。

図表 序-3-2 委員会での協議・役割



出典 新編・音楽堂等改修ハンドブック2015（公益社団法人 全国公立文化施設協会）



## 第1章 川口市の現状



## 第1章 川口市の現状

### 1 川口市の概要

川口という地名は、旧入間川（現在の荒川）と芝川が合流する場所であったことに由来するとされる。

江戸時代に将軍の日光参詣のための街道として日光御成道が整備され、川口宿、鳩ヶ谷宿としてにぎわった。また、荒川や芝川による舟運を利用した江戸向けの商品の開発、生産や流通が盛んになり、この頃から、川口の代名詞ともなっている鋳物や植木などの産業が発展しはじめ、産業都市としての礎が築かれていった。

明治時代に、日本の近代化の中にあって、川口は機械部品や大型鋳物の製造が盛んになり、河川交通や街道があったこと、東京市場や京浜工業地帯を近くに控えていたことなどの優位性から、日用品鋳物に代わり土木建築用鋳物や機械鋳物の生産が増加し、併せて関連産業の分業化が進んだ。明治43年の川口町駅（現川口駅）開設による陸上輸送の増強などもあり、川口の鋳物の販路は、関東地方から、東北、北陸、東海地方へ広がり、さらには朝鮮、台湾にまで広まった。

そして、大正3年の第一次世界大戦の勃発により、外国からの注文が急増し、京浜工業地帯の急速な発展とともに機械鋳物の生産が増大し、第二次世界大戦終戦後は、鋳物工業の再生を核とする復興が進められた。

昭和39年の東京オリンピックに使用された聖火台は、川口鋳物を代表する作品であり、木型工業や機械工業など、機械金属分野に関連する多数の工場の集積が進んだ。

#### (1) 沿革

昭和8年4月1日に、川口町・横曽根村・南平柳村・青木村の1町3村が合併し、川口市として市政が施行された。

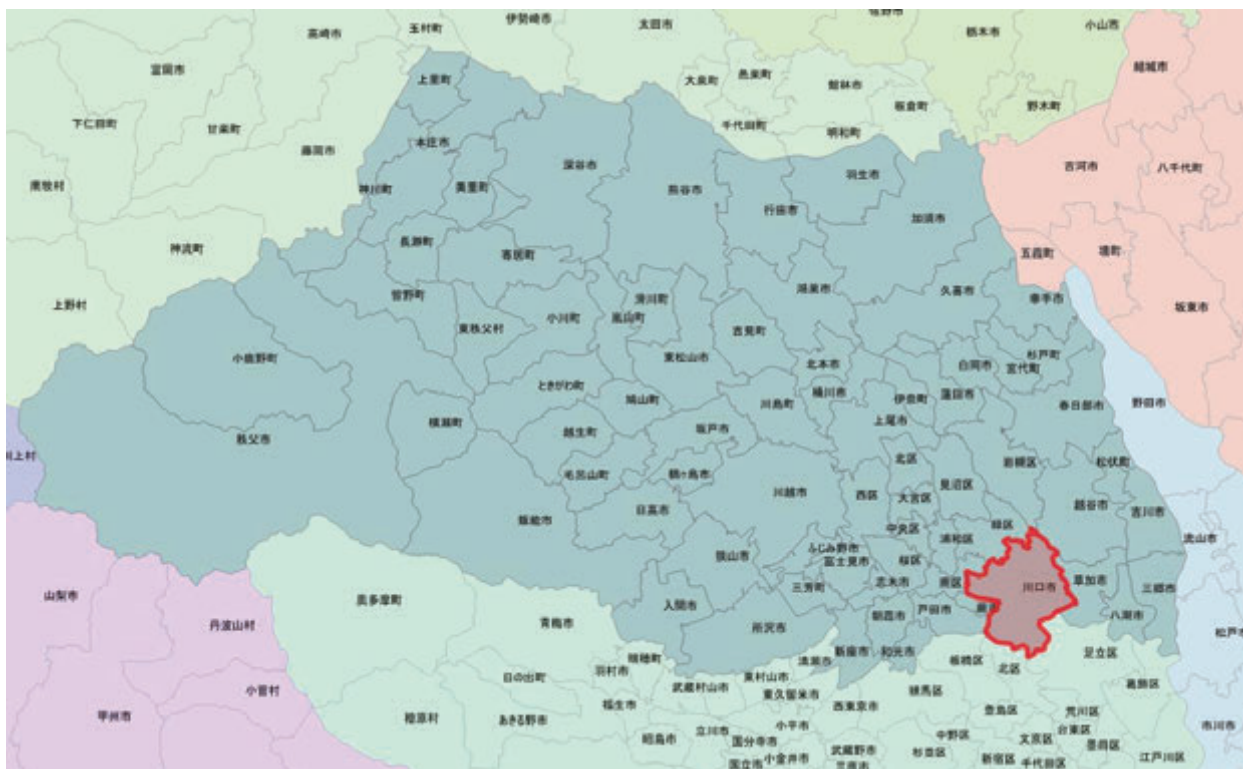
昭和15年には、鳩ヶ谷町と芝村・神根村・新郷村の3村を合併し、昭和25年に鳩ヶ谷町が分離、昭和31年には安行村と合併、昭和32年に安行の一部が草加町へ編入、昭和35年に美園村と一部編入、昭和37年に美園村の一部であった戸塚を合併した。そして、平成23年10月1日には現在の市域を形成することとなる、面積6.22km<sup>2</sup>の鳩ヶ谷市との合併があり、面積61.97km<sup>2</sup>、人口約58万人の都市が誕生し、現在に至っている。

また、平成30年4月1日に中核市へ移行したところである。

## (2) 位置と地勢

川口市は埼玉県南端に位置し、荒川を隔てて東京に接しており、また県内では戸田・蕨・越谷・草加・さいたまの各市に接している。また、市の大部分が都心から10km～20km圏内に含まれる。

図表 1-1-1 川口市の位置図



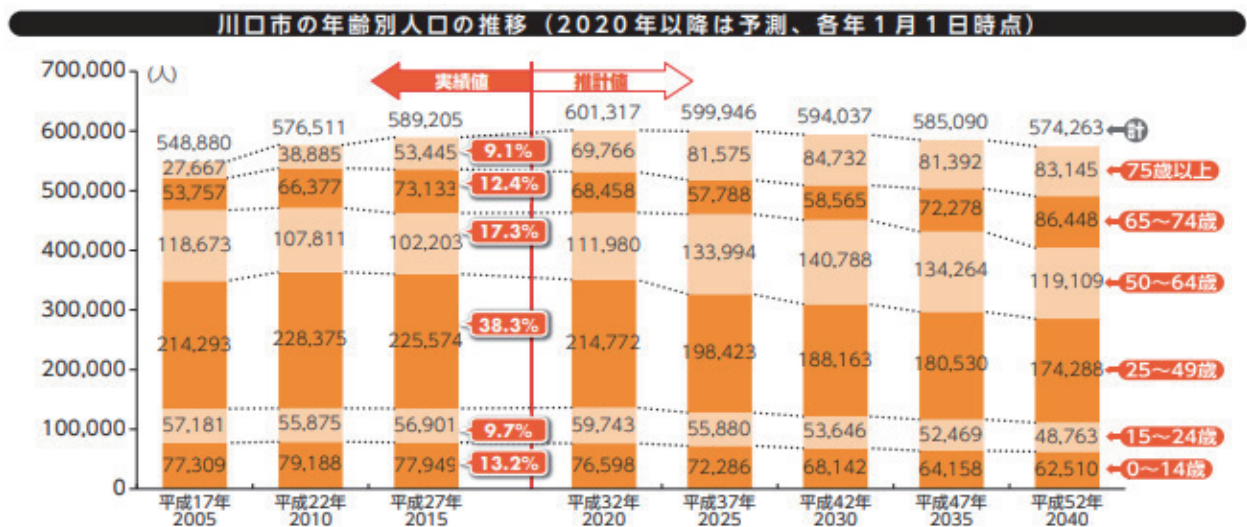
### (3) 人口推移

総人口はこれまで増加しているが、第5次川口市総合計画における推計では、平成32年（2020年）にピークを迎え、その後減少傾向に転じる見通しとなっている。

平成32年（2020年）の人口推計は約60.1万人であり、平成52年（2040年）では約57.4万人まで徐々に減少することが予測されている。

年齢3階層別将来人口割合では、平成32年（2020年）の0～14歳以下の年少人口は12.7%、65歳以上の高齢者人口は23.0%であり、平成52年（2040年）では年少人口が10.9%に減少し、高齢者人口は29.5%に増加するものと予測されている。

図表 1-1-2 川口市の人口推移

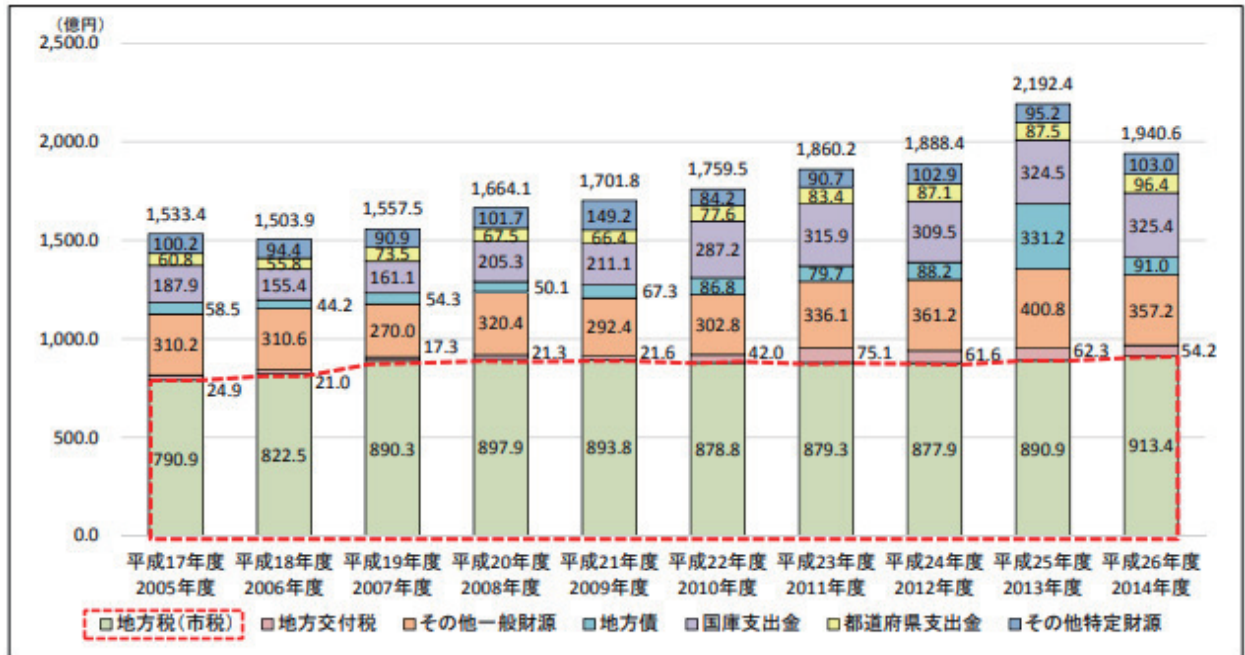


（出所）「第5次川口市総合計画」より

#### (4) 市の財政

決算額で、平成 26 年度の歳入総額は約 1,941 億円であり、そのうち、市の歳入の根幹を占める地方税（市税）収入は約 913 億円で、歳入総額の 47.1%を占めている。近年の景気回復により、地方税（市税）収入は持ち直しつつあるものの、将来の高齢化の進行、生産年齢人口の減少が予測されている中で大幅な税収の伸びは期待できない状況であり、今後必要となる公共施設の更新等費用の財源を確保していくことは厳しい状況にある。

図表 1-1-3 歳入の推移



※端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

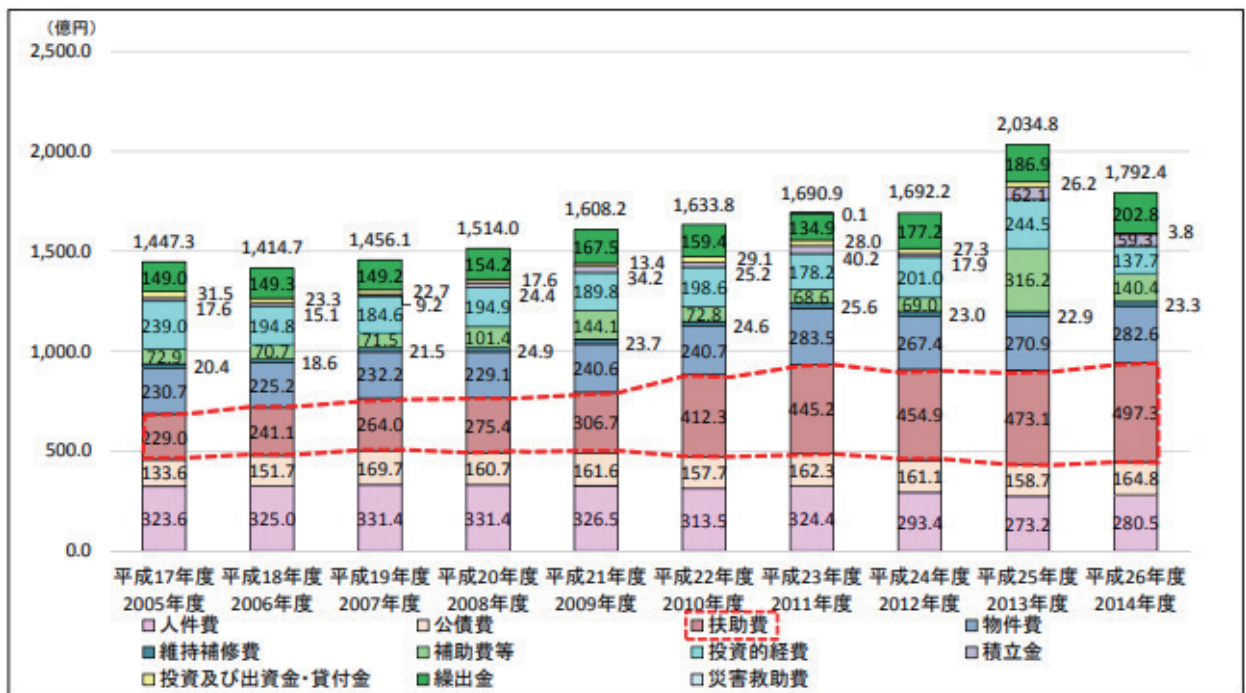
(出所)「川口市公共施設等総合管理計画」より

平成 26 年度の歳出総額は約 1,792 億円であり、そのうち、義務的経費（人件費・公債費・扶助費）は約 943 億円で、歳出総額の 52.6%を占めている。

図表 1-1-4 の歳出の推移を費用内訳でみると、義務的経費全体として増加傾向にある中で、特に扶助費は増加傾向が顕著であり、平成 26 年度で約 497 億円、平成 17 年度に比べて約 2 倍となっている。

安定した公共施設の更新等費用の財源確保の見込みが困難な状況である一方で、義務的経費が増加傾向にあるという状況を踏まえると、将来の市の財政状況は一層厳しいものになることが予見される。

図表 1-1-4 歳出の推移



※端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

(出所)「川口市公共施設等総合管理計画」より

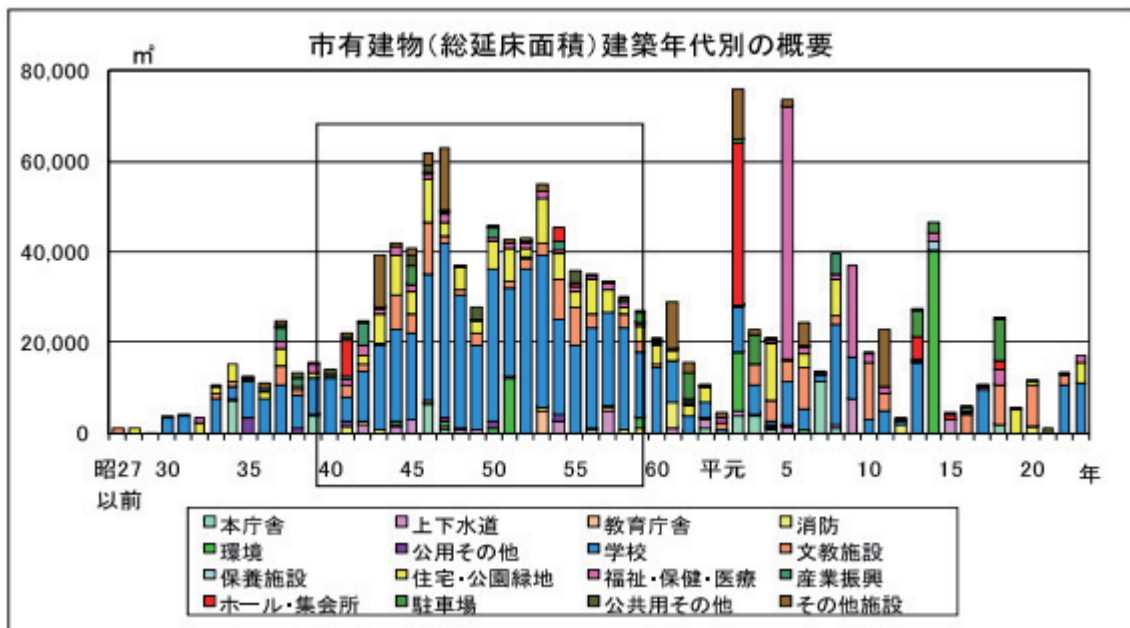
## 2 公共施設の整備・更新に関する取組

### (1) 公共施設の現状

川口市の公共施設は全体で 534 施設、1,633 棟、延床面積は 1,472,308 m<sup>2</sup>であり、その主な内訳としては、学校 (667,370 m<sup>2</sup>) が最も多く 45.3%、次いで住宅 (157,507 m<sup>2</sup>) が 10.7%、文教施設 (141,803 m<sup>2</sup>) が 9.6%の順となっている。

本調査研究の対象である川口総合文化センターを含むホール・集会所等は 36 施設、27 棟、延床面積は 58,911 m<sup>2</sup>であり、構成比でみると全体の 4.0%である。

図表 1-2-1 市有建物の概要



(出所)「川口市施設マネジメント基本方針」より

図表 1-2-2 川口市公共施設建物の施設分類別構成

施設分類	施設数 (施設)	棟数 (棟)	延床面積 (m <sup>2</sup> )	構成比 (%)
本庁舎	24	26	51,324	3.5
教育庁舎	3	15	6,089	0.4
消防	44	38	19,140	1.3
環境	10	27	75,119	5.1
公用その他	12	41	10,941	0.8
学校	144	1,052	667,370	45.3
文教施設	65	62	141,803	9.6
住宅	38	91	157,507	10.7
福祉・保健・医療	76	54	117,473	8.0
産業振興	5	69	27,066	1.8
ホール・集会所	36	27	58,911	4.0
駐車場	19	21	39,167	2.7
公共用その他	17	27	8,390	0.6
その他施設	41	83	92,010	6.2
合計	534	1,633	1,472,308	100.0

※端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

平成 27 年 6 月時点

(出所)「川口市公共施設等総合管理計画」より

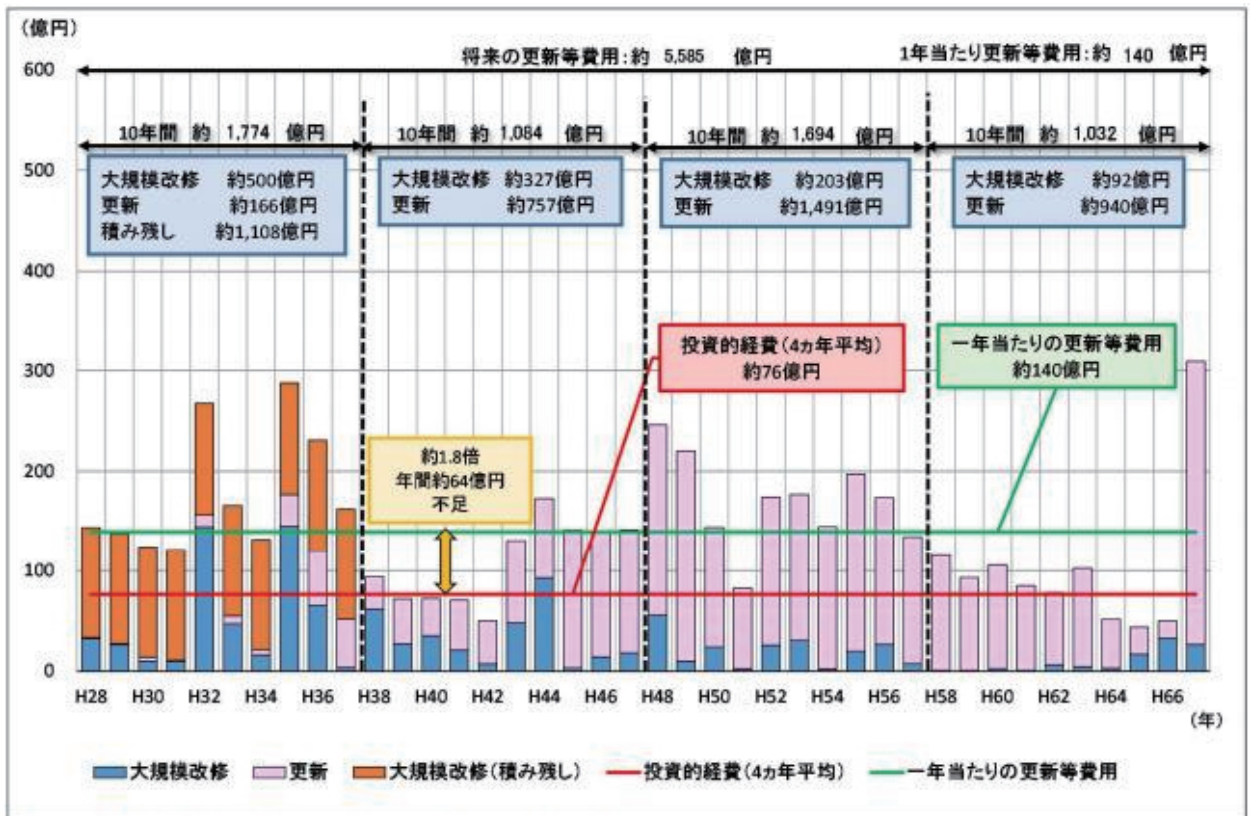


(2) 公共施設の更新費用見通し

平成 28 年度から平成 67 年度（2055 年度）までの 40 年間に、施設の大規模改修及び更新に掛かる費用の総額は、約 5,585 億円と推計され、年平均では約 140 億円となる見込みである。

10 年ごとにみると平成 28 年度から平成 37 年度（2025 年度）では、大規模改修及び積み残しを中心に約 1,774 億円の費用が必要になり、その後は更新対象施設が増加し、平成 48 年度（2036 年度）から平成 57 年度（2045 年度）では、約 1,694 億円の費用が必要になると想定される。1 年当たりの更新等費用は投資的経費実績額の約 76 億円に比べて約 1.8 倍となる。

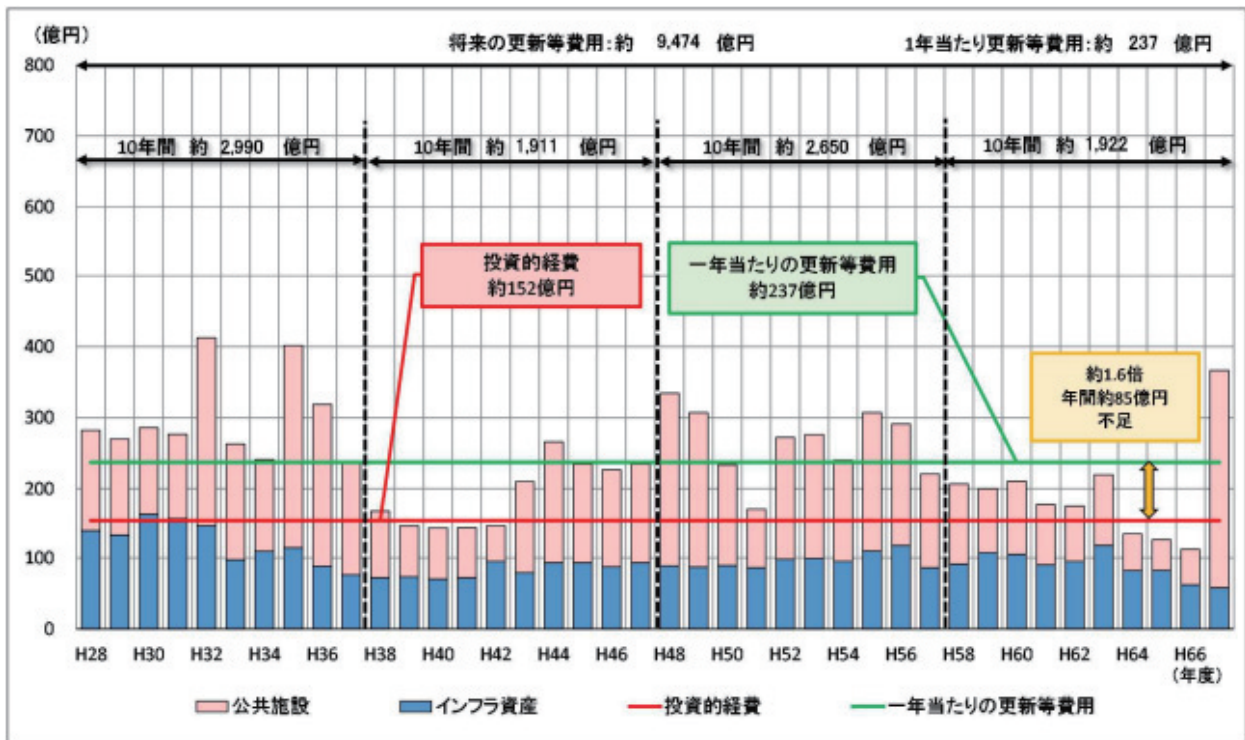
図表 1-2-3 公共施設の将来の更新費用等の見通し



※端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。  
 ※「公共施設等更新費用試算ソフト」(総務省監修)により試算(消費税8%含む)  
 ※試算条件は資料編を参照  
 ※投資的経費:平成23年度から平成26年度の公共施設にかかる投資的経費の平均値

(出所)「川口市公共施設等総合管理計画」より

図表 1-2-4 公共施設等(公共施設・インフラ資産)の将来の更新費用の見通し



※端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

※「公共施設等更新費用試算ソフト」(総務省監修)により試算(消費税8%含む)

※公共施設、浄配水場施設、ポンプ場施設は竣工年、道路、橋りょう、上水道管、下水道管は整備年度で計上

※投資的経費:公共施設にかかる投資的経費とインフラ資産にかかる投資的経費を合計したもの

(出所)「川口市公共施設等総合管理計画」より

### (3) 現状の問題点・課題

以上のことから、公共施設の再編に向けては、以下の取組課題がある。

#### ① 施設の老朽化への対応

今後、更新時期を迎える施設が多くなることから、財政面での負担が大きくなることが懸念され、現状のままの投資的経費では、施設を維持していくことは困難な状況にある。そのため、今後も安定した市民サービスを提供し続けていくため、適正な施設の総量や規模及び配置を検討する必要がある。

#### ② 厳しい財政状況への対応

将来、生産年齢人口の減少による税収の伸び悩み、高齢者人口の増加に伴う社会保障関連経費の増加が想定されることから、投資的経費の大幅な増加は見込めない状況にある。そのため、今後の厳しい財政状況を見据えて、施設の維持管理・運営に掛かる費用の全体的な抑制や財源の確保を検討していく必要がある。

#### ③ ニーズの変化への対応

将来、市の人口構造は、年少人口は減少傾向、高齢者人口は増加傾向にあることから、少子高齢化の進行が予測される。そのため、少子高齢化の進行による人口構造の変化は、施設の役割や施設ニーズに大きな影響を及ぼすことから、時代の変化に適応した市民サービスの提供・環境づくりが求められている。

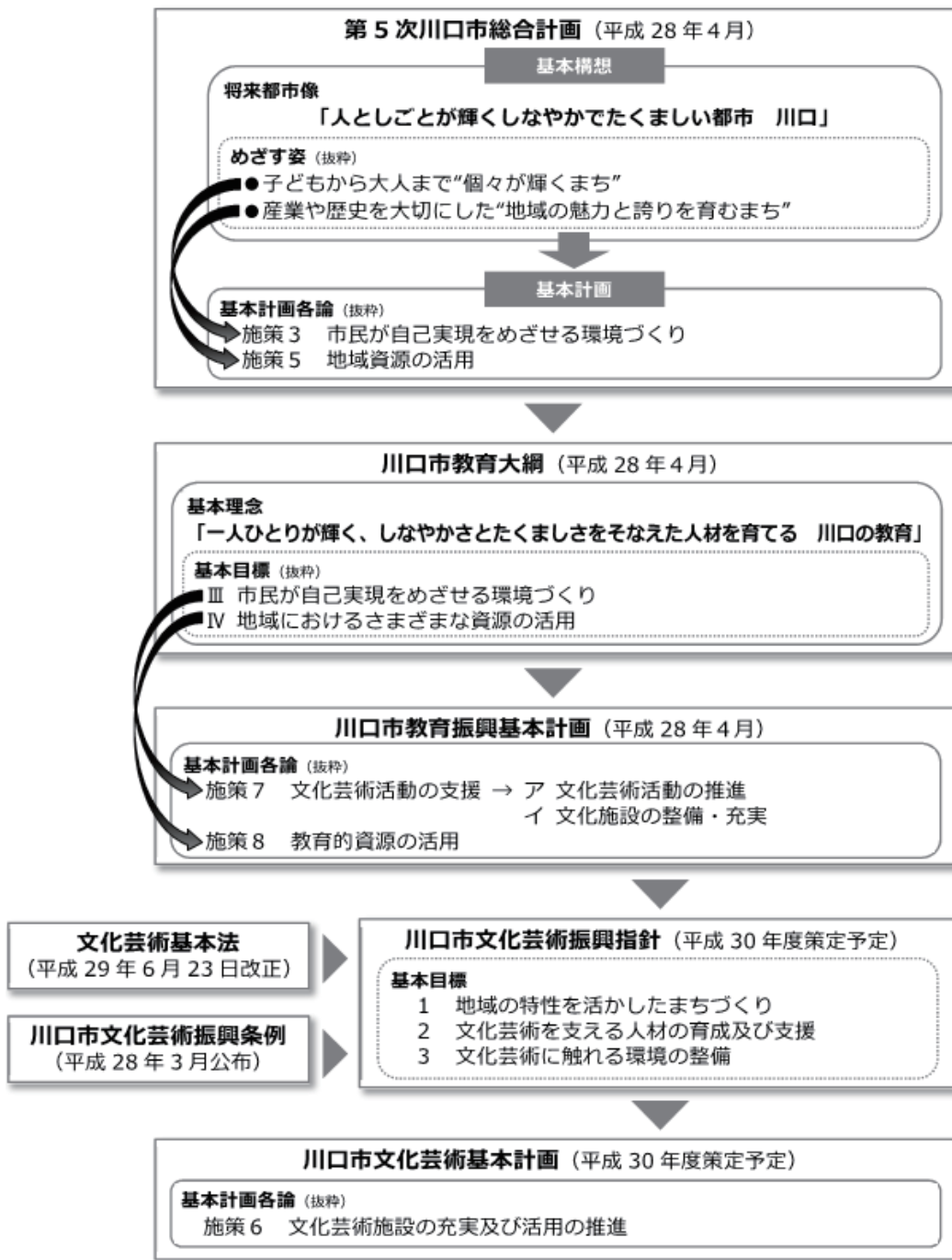
その他の課題として、市民会館（東日本大震災にて被害を受けたことにより休館。新市庁舎の移転・建て替えに伴い解体することになった）を廃止したため、学校行事等を行う上での収容可能な席数のある施設が川口総合文化センターのみであり、川口総合文化センターのメインホールは 2,000 席を超える設備であるため、学校行事等を行う上で適している 1,000 席程度の適当な規模の施設が市内にないことが挙げられる。

### 3 文化芸術に関する取組

#### (1) 文化芸術基本計画の策定

川口市では本調査研究と同時期となる平成 30 年度に「川口市文化芸術振興指針」「川口市文化芸術基本計画」を策定することとしている。

図表 1-3-1 川口市文化芸術基本計画の位置付け



(出所) 川口市第 1 回美術館建設基本構想・基本計画審議会 資料 1

中核市となった川口市の文化芸術拠点として、これまで以上に力を入れていく考えである。

## (2) 文化芸術における川口総合文化センターの位置付け

毎年実施している川口市の市民意識調査では、川口総合文化センターの人気は高く、年齢が高い層になるほど好まれている施設となっている。

図表 1-3-2 川口市で好きな場所、もの、行事（年齢別）

好きな場所、もの、行事	全体	18- 29 歳	30- 39 歳	40- 49 歳	50- 59 歳	60- 64 歳	65- 74 歳	75 歳 以上
グリーンセンター	47.2	27.3	44.6	38.4	50.5	39.1	50.8	49.4
たたら祭り	35.7	39	33.7	35.5	39.4	39.1	41.7	33.3
中央図書館	29.5	37.7	29.7	31.9	29.4	15.6	24.2	28.7
川口総合文化センターリア	24.6	10.4	11.9	18.8	20.2	14.1	28.8	27.6
川口西公園（リアパーク）	16.1	6.5	14.9	16.7	19.3	12.5	12.9	14.9
川口緑化センター樹里安	10.6	2.6	6.9	8	2.8	10.9	13.6	21.8
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	0	5	9.4	9.2	10.9	14.4	27.6
川口マラソン	9.4	3.9	9.9	10.9	10.1	6.3	10.6	11.5
川口神社	9.2	10.4	8.9	10.1	13.8	10.9	9.8	9.2
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	6.5	11.9	13.8	4.6	3.1	5.3	5.7
SKIP シティ国際Dシネマ映画祭	8.4	6.5	2	7.2	11.9	6.3	12.9	17.2
川口自然公園	7.8	7.8	5	7.2	7.3	14.1	9.1	16.1
科学館	7.3	6.5	6.9	10.9	3.7	0	5.3	3.4
青木町平和公園	6.9	3.9	3	6.5	11.9	7.8	7.6	5.7
川口オートレース場	6.6	5.2	4	12.3	11.9	7.8	9.8	10.3
荒川運動公園	5.4	3.9	11.9	5.8	8.3	9.4	6.8	9.2
峯ヶ岡八幡神社	5.2	2.6	4	1.4	3.7	1.6	6.8	12.6
旧田中家住宅	5.1	0	5	3.6	2.8	4.7	4.5	5.7
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	1.3	3	2.2	2.8	3.1	9.8	13.8
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	2.6	3	2.9	4.6	3.1	2.3	4.6
ゴリラ公園	3.5	13	4	3.6	2.8	4.7	2.3	1.1
地藏院	3.4	1.3	0	3.6	2.8	4.7	4.5	4.6
赤山歴史自然公園（イナパーク川口）	3.1	3.9	3	0	0.9	1.6	3.8	4.6
市産品フェア	3	1.3	3	1.4	1.8	7.8	6.1	3.4
錫杖寺	3	1.3	2	3.6	3.7	4.7	8.3	2.3
アートギャラリー・アトリア	2.8	3.9	1	2.9	3.7	0	2.3	0
かわぐち市民パートナーステーション	1.2	1.3	0	0	2.8	1.6	2.3	1.1
木曾呂の富士塚	0.9	0	0	0.7	1.8	0	2.3	1.1
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	0	0	0	0	0	1.5	2.3
御成坂公園	0.3	1.3	0	0	0	0	0.8	0
その他	10.2	6.5	15.8	10.9	12.8	10.9	6.1	4.6

（出所）平成 30 年度「総合計画のための市民意識調査」より

また、川口総合文化センターは市内で広く利用されている施設となっている。

本調査研究の対象となる川口総合文化センターは、川口市における文化芸術活動の中心拠点である。また、川口駅の北側の再開発エリアであるリボンシティに平成17年にアートギャラリー・アトリアを開設し、文化芸術拠点の整備に努めてきている。

そして、その翌年に整備された川口駅前のキュポ・ラ本館棟には中央図書館があり、4階には市民向けの多目的ホールとしてフレンジアが誕生した。展示やイベントなど、コンベンション活動にも活用されるなど、川口総合文化センターの展示ホールと共通した利用もなされている。

しかし、次章に示すところであるが、川口総合文化センターは稼働率が高く、予約も取りにくいなど人気の施設となっていることから、新たに美術館整備構想において展示ホール機能を含む構想について検討しているところである。

市内外に広く知られ利用され、高齢者にも人気のある川口総合文化センターは、川口市の文化の発展拠点として更に力を入れる対象となっており、今後は美術館構想との関係性に配慮することも必要となる。

## 第2章 川口総合文化センターの現状と課題





## 第2章 川口総合文化センターの現状と課題

### 1 川口総合文化センターの現状

#### (1) 川口総合文化センターの概要

##### ① 設立の経緯・目的

川口総合文化センターは「人と自然と産業が調和する産業文化都市」の実現を目標に、21世紀へ向けて、川口市が進める街づくりのキー・プロジェクトともいえる「川口駅周辺市街地整備構想」の一環として建設された。

##### ■川口総合文化センター概要

場所	JR 京浜東北線川口駅西口正面（川口市川口3-1-1）
敷地面積	7,000 m <sup>2</sup>
建築面積	6,234 m <sup>2</sup>
延床面積	35,875 m <sup>2</sup>
高さ	83m
構造	タワー棟 地下2階、地上14階、塔屋1階 ホール棟 地下2階、地上6階 地下駐車場 155台

図表(写真)2-1-1 川口総合文化センター外観



##### ■建設経過

昭和55年3月 国立公害資源研究所が、筑波研究学園都市へ移転。この跡地を市と現在のUR都市機構が払い下げを受ける。

昭和58年3月 基本計画を策定。

昭和60年3月 「新しい川口の顔」としてのシンボルをコンペの重要な条件として指名設計コンペを実施。

昭和 62 年 7 月 工事着工  
平成 2 年 7 月 工事竣工  
平成 2 年 7 月 センター開館

川口市の市の花テッポウユリにちなんで、愛称「リリア」とする。

設立の基本理念として、以下の 3 点が掲げられた。

1. 質の高い様々な芸術・文化に接する機会を提供することにより、高度化、多様化する市民の文化ニーズに応じていく。
2. 地域の文化活動やその発表の場を提供するとともにコミュニティの醸成を促進していく。
3. 独自の文化・情報を創造し発信することで、都市のイメージ・アップを図っていく。

## ② 建設事業費の内訳

■建設に掛かる事業費	18,281,202千円
用地購入費	3,254,106千円
建設事業費	14,913,057千円
施設管理運営計画策定委託料	14,700千円
開館準備業務委託料	99,339千円
■建設事業費の財源	<u>14,913,057千円</u>
地方債（起債）	5,664,500千円
一般財源	9,248,557千円
（うち基金	6,000,000千円）
補助金	0千円

## ■建設事業費の内訳

建設事業費	14,913,057千円
・工事費	14,275,556千円
<工事費内訳(千円)>	
建築工事	7,800,000
空調設備関係工事	3,393,000
パイプオルガン建造設置工事	134,997
舞台関係工事	2,163,000
客席椅子設置工事	179,220

テレビ電波障害対策工事	133,440
レストラン関係建築工事	120,407
その他工事	351,492

・工事監理委託料	134,000千円
・初度調弁	503,501千円

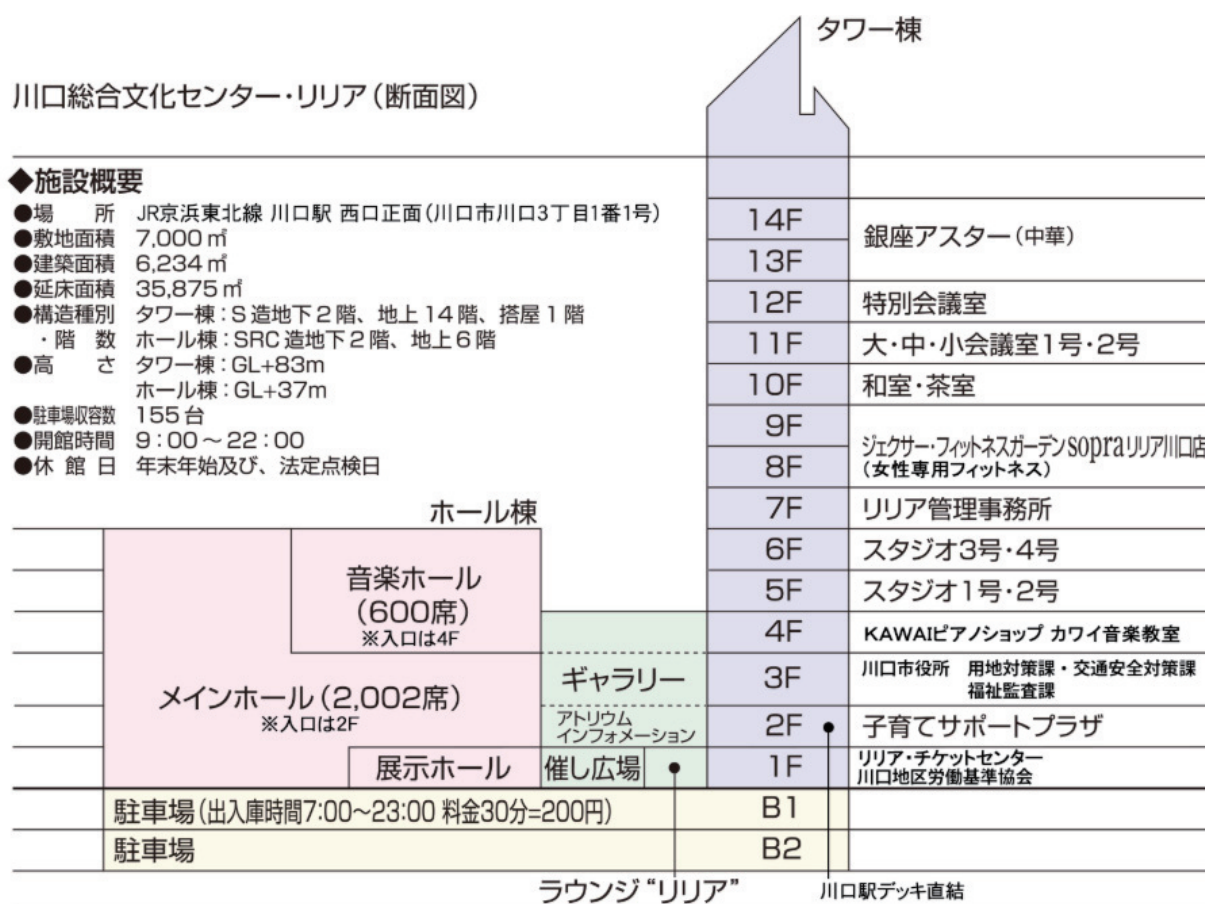
### ③ 施設・設備の概要

川口総合文化センターは、質の高い様々な芸術・文化に接する機会を提供するホール施設として、メインホールと音楽ホールの2つの大規模ホールを有し、メインホールは国内外のアーティストによる演奏や演劇に利用され、音楽ホールはパイプオルガンを配備するなどクラシック音楽に適した施設・設備となっている。

地域の文化活動やその発表の場のほか、地域産業を広める場として、展示ホールや催し広場・ギャラリーをはじめ、タワー棟にはスタジオ（練習室）や会議室、和室や茶室も備えており、市民のための総合文化施設となっている。

川口総合文化センターはホール棟及びタワー棟からなり、各階の構成を示したものが、図表 2-1-2 である。

図表 2-1-2 川口総合文化センター・リリアの構成



## 施設構成

### 【ホール棟】

- ・ メインホール 客席 2,002 席 (楽屋7つ リハーサル室2つ)
- ・ 音楽ホール 客席 600 席 (控室2つ リハーサル室1つ)
- ・ 催し広場 (客席150席セット可能)
- ・ 展示ホール

### 【タワー棟】

- ・ 特別会議室 (44 席)
- ・ 応接室 (特別会議室用)
- ・ 大会議室 (100 席)
- ・ 中会議室 (40 席)
- ・ 小会議室1 (20 席)
- ・ 小会議室2 (12 席)
- ・ 和室1～3 (各30畳)
- ・ 茶室 (12 畳)
- ・ スタジオ (練習室) 1～4 (48～118 m<sup>2</sup>)
- ・ ギャラリー (95 m<sup>2</sup>)

現在は以下のサービス施設がテナントとして入っているほか、子育てサポートプラザが入っている。また、市庁舎の移転を控え、タワー棟の一部が市の執務室となっている。

- ・ リリア・チケットセンター (1階)
- ・ ラウンジ“リリア” (1階)
- ・ 川口地区労働基準協会 (1階)
- ・ 川口市子育てサポートプラザ (2階)
- ・ KAWAI ピアノショップ・カワイ音楽教室 (4階)
- ・ ジェクサー・フィットネスガーデン SOPRA リリア川口店 (女性専用フィットネス) (8階・9階)
- ・ 銀座アスター川口賓館 (13階・14階)

## (2) 川口総合文化センター運営の現状

### ① 施設設備の利用状況

川口総合文化センター内の各施設の利用状況を整理したものが図表 2-1-3 である。

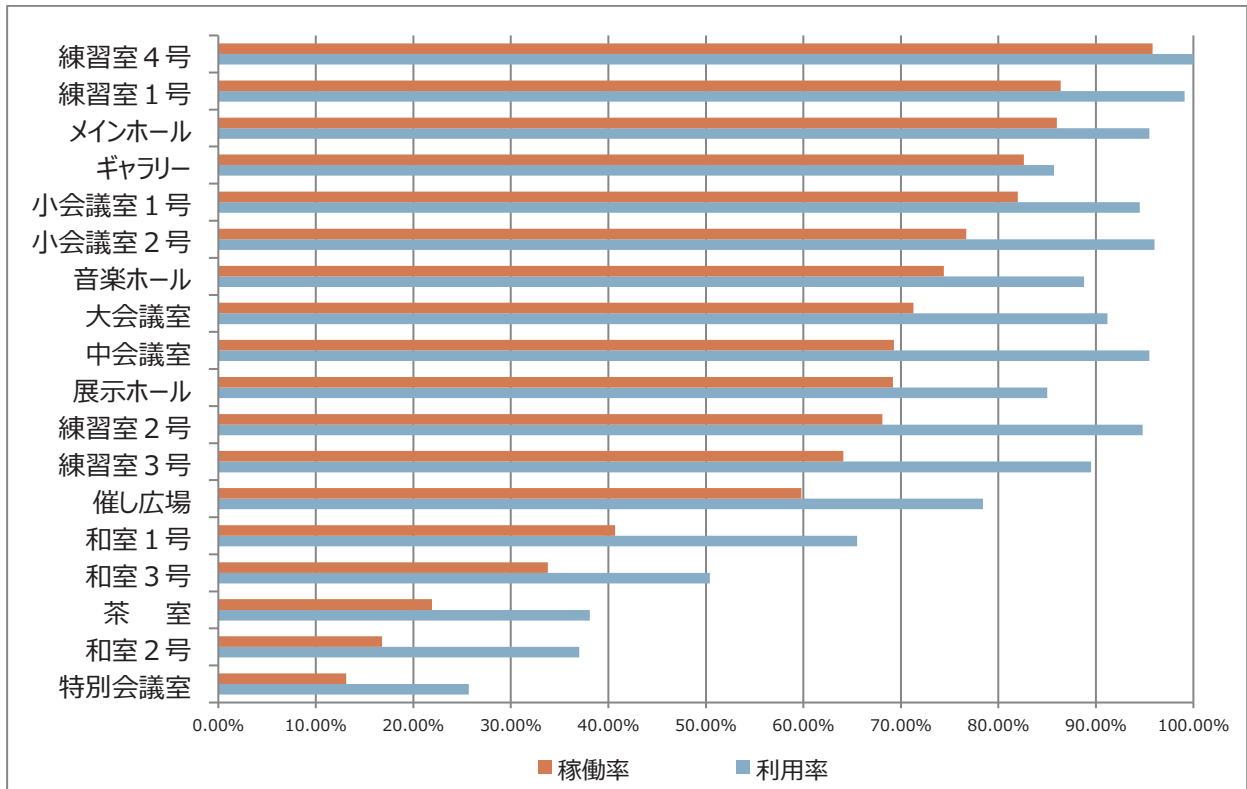
特別会議室、茶室、和室の稼働率が低い状況であるが、これらを除いたその他の施設は利用率で9割前後が多く、メインホール、音楽ホール、展示ホール、催し広場の稼働率は平均で71%程度と高い割合となっている。

図表 2-1-3 利用施設種類別の利用状況(平成 29 年度)

	開館日数 (A) (日)	利用日数 (B) (日)	利用率 (B/A) (%)	利用件数 (件)	入場者数 (人)	利用可能 回数 (C)	利用回数(回)				稼働率 (D/C) (%)
							午前	午後	夜間	合計 (D)	
メインホール	289	276	95.5%	283	284,606	842	253	265	206	724	86.0%
音楽ホール	312	277	88.8%	294	99,889	915	226	267	188	681	74.4%
展示ホール	341	290	85.0%	297	73,755	1,016	235	278	190	703	69.2%
催し広場	334	262	78.4%	299	40,533	983	203	242	143	588	59.8%
小計(1)	1,276	1,105	86.6%	1,173	498,783	3,756	-	-	-	2,696	71.8%
特別会議室	342	88	25.7%	73	1,863	1,016	22	65	46	133	13.1%
大会議室	339	309	91.2%	426	21,538	994	226	285	198	709	71.3%
中会議室	335	320	95.5%	491	10,868	981	229	300	151	680	69.3%
小会議室1号	346	327	94.5%	498	7,095	1,037	297	315	238	850	82.0%
小会議室2号	346	332	96.0%	604	5,251	1,037	290	284	221	795	76.7%
茶室	344	131	38.1%	152	1,742	1,028	89	88	48	225	21.9%
和室1号	328	215	65.5%	241	3,335	979	160	148	90	398	40.7%
和室2号	324	120	37.0%	116	1,688	977	77	67	20	164	16.8%
和室3号	337	170	50.4%	190	2,511	1,011	120	127	95	342	33.8%
練習室1号	346	343	99.1%	685	11,071	1,037	255	308	333	896	86.4%
練習室2号	346	328	94.8%	645	16,139	1,024	206	264	227	697	68.1%
練習室3号	344	308	89.5%	581	7,185	1,016	219	234	198	651	64.1%
練習室4号	346	346	100.0%	769	6,473	1,038	332	329	333	994	95.8%
ギャラリー	343	294	85.7%	297	25,896	1,029	285	288	277	850	82.6%
小計(2)	4,766	3,631	76.2%	5,768	122,655	14,204	-	-	-	8,384	59.0%
合計(1)+(2)	6,042	4,736	78.4%	6,941	621,438	17,960	-	-	-	11,080	61.7%

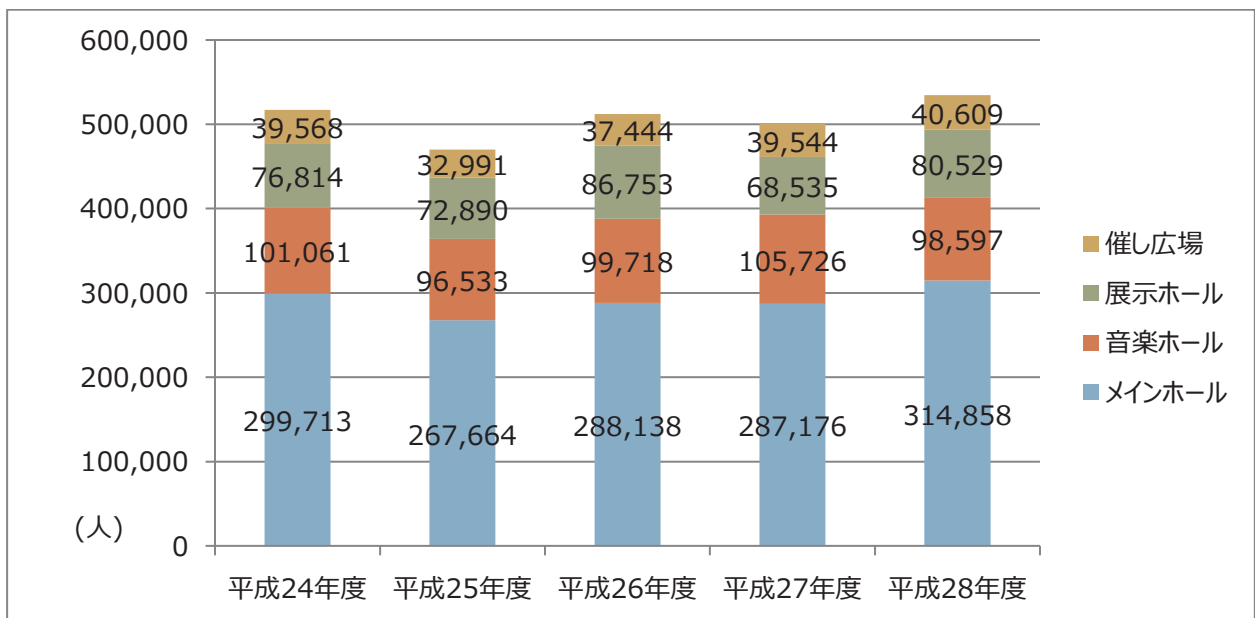
上記の表をグラフ化したものが図表 2-1-4 である。

図表 2-1-4 利用施設種類別の稼働率と利用率(平成 29 年度)



稼働率の高いホール関係施設の利用者数の推移は以下のとおりである。

図表 2-1-5 ホール施設の利用者数推移(平成 24 年度～平成 28 年度)



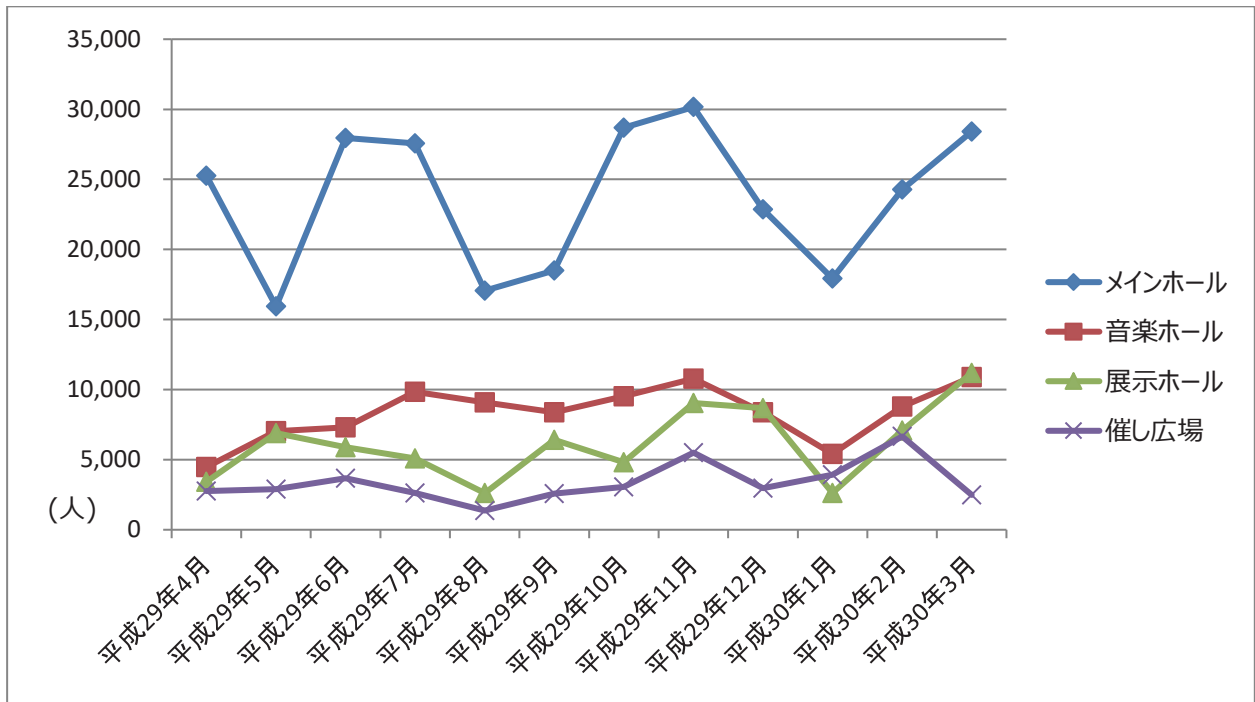
メインホールと催し広場は平成 25 年度以降やや増加傾向にあり、音楽ホールはほぼ横ばいで推移している。ホール関係施設だけで年間 50 万人以上の利用がある。

定期的なイベント利用の多い他のホールに比べ、展示ホールは多目的な利用に対応したホールであるため年度による増減を繰り返す形になっている。

なお、平成 25 年度のメインホールの稼働率低下はアンプ・スピーカ等の刷新のための改修工事の影響による部分が含まれる。

さらに細かくみるため、利用者数の増減の動きについて平成 29 年度における月別の利用者数推移を示したものが図表 2-1-6 である。

図表 2-1-6 平成 29 年度 月別施設種類別利用者数推移(ホール等)



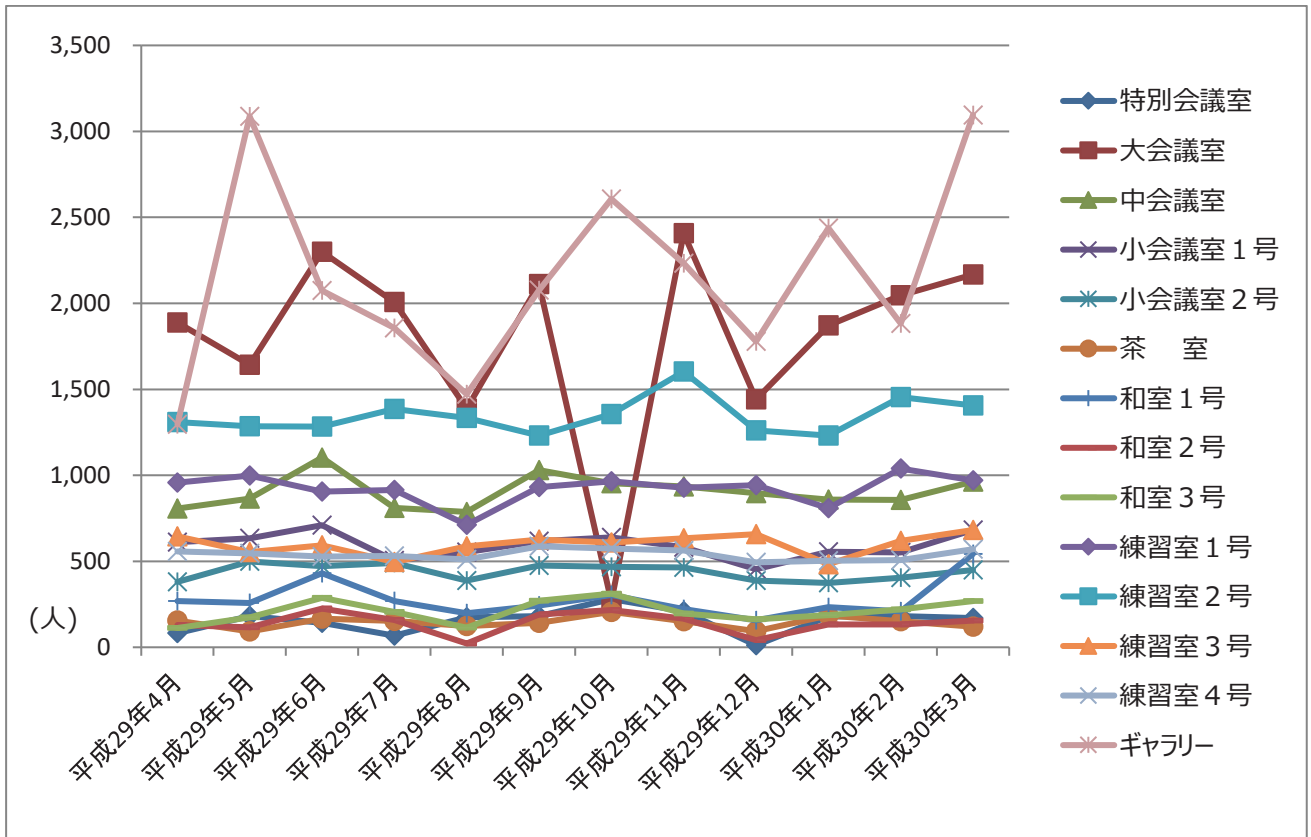
全体を通じて、月によって利用者数の変動がみられる。

イベント関係のホール施設では共通して1月の利用数が全体的に低くなっているが、これは年末年始の休館など利用可能日数が少ないことが影響しているものといえる。

メインホールで月別推移の変動が大きくなっているが、もともと収容数が大きいことと、複数の公演でのイベント入替に伴う準備作業の影響など、実際の公演開催回数による部分がある。

展示ホールはコンベンション的な利用としての需要も高くなっており、希望する日時予約が取れないケースが多いなど、潜在需要が極めて高いホールである。

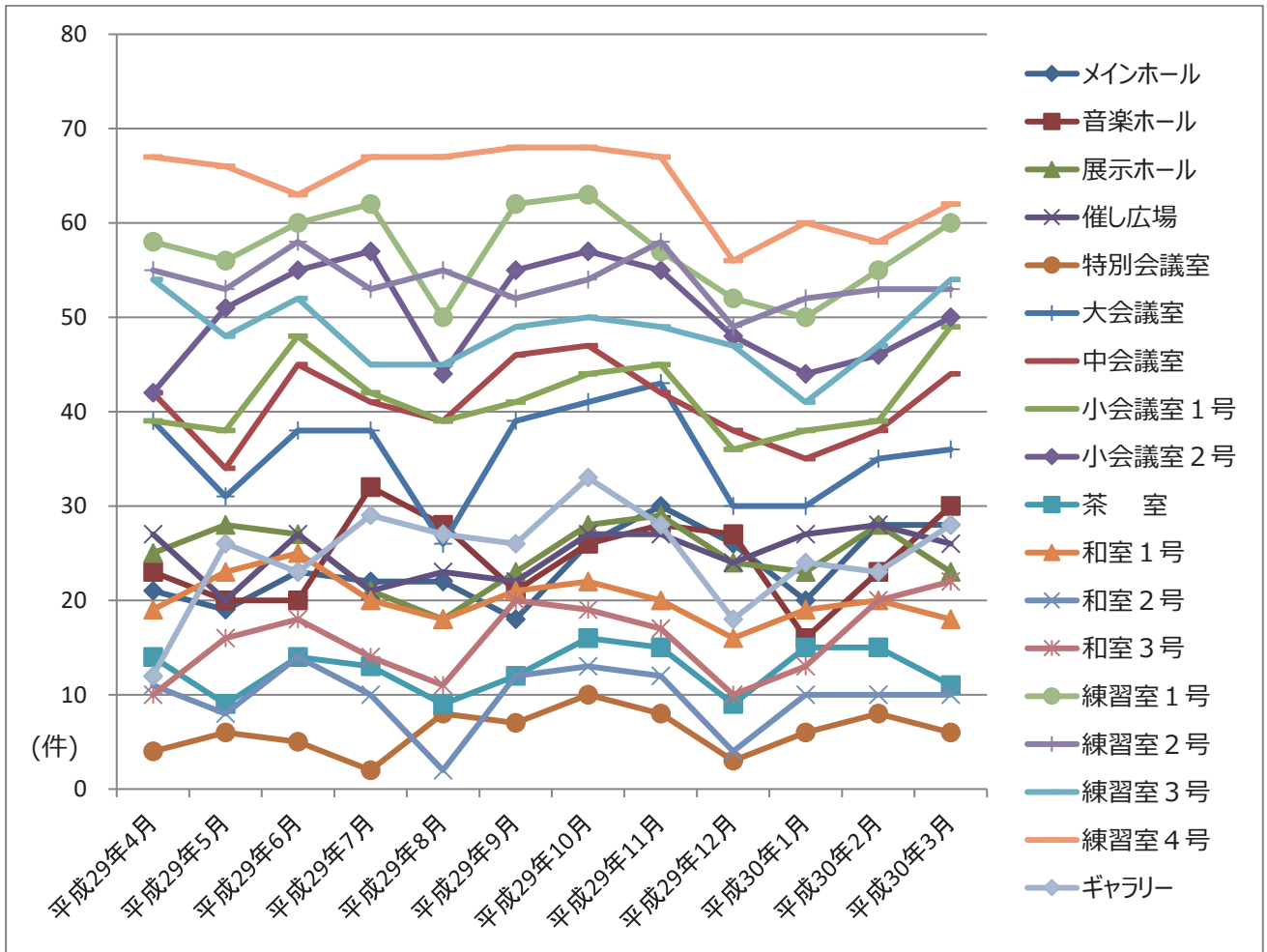
図表 2-1-7 平成 29 年度 月別施設種類別利用者数推移(会議室等)



タワー棟内の施設は、大会議室やギャラリー以外の小規模施設においては比較的利用変動は少ないが、市民利用の多い施設であることから、8月、12月に全体的に利用者数が少なくなっている。



図表 2-1-8 平成 29 年度 月別施設種類別の利用件数の推移



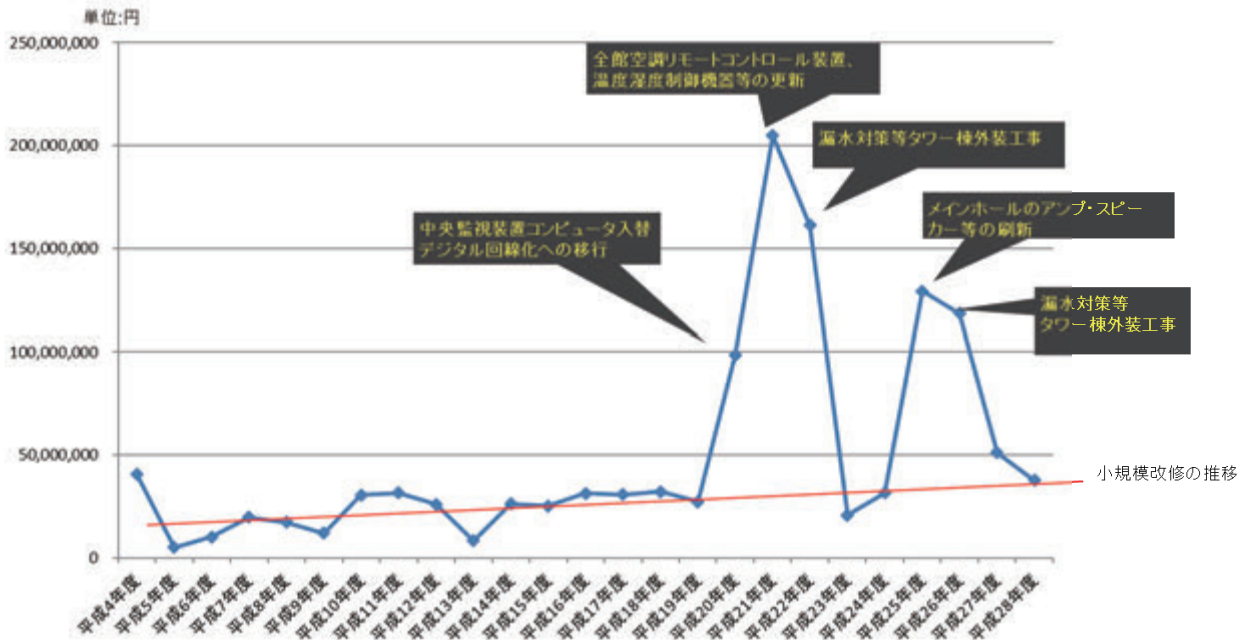
全体的な利用件数で見ると、8月、12月、1月の利用件数が低い。

② 改修に関する取組の現状

改修については毎年事業計画において計画され、必要に応じて、予算が確保できたものから順次改修を実施してきている。

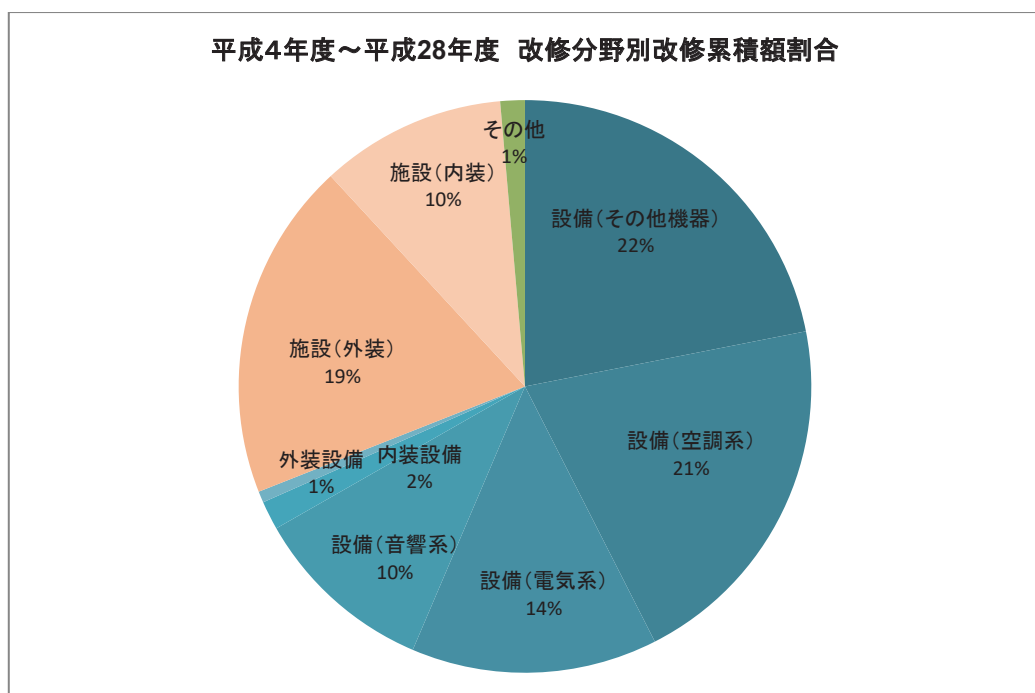
開館以降の年度別改修総額の推移を示したものが図表 2-1-9 である。

図表 2-1-9 年度別改修総額の推移



施設・設備の老朽化や施設利用者の要望等を踏まえ、中小規模レベルの改修は必要性に応じて適宜実施している。また、開館から15年以上経過した平成19年度から、全館に関係した大きな改修が生じてきており、小規模レベルの改修も、年を追うごとに徐々に増加する傾向にあることが分かる。

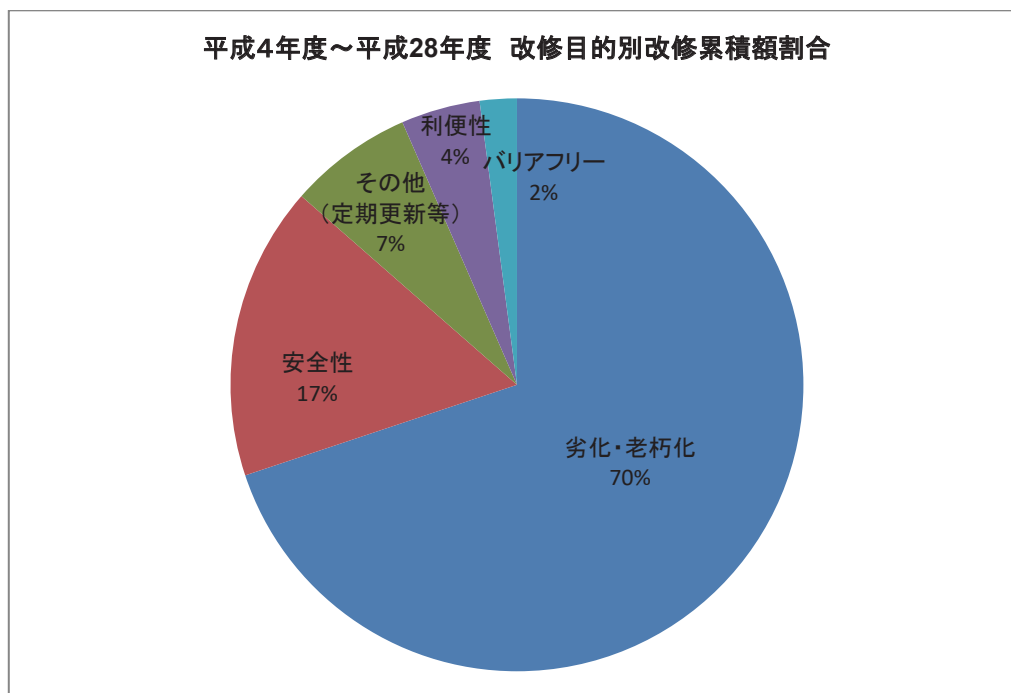
図表 2-1-10 開館以降平成28年度末までの改修分野別改修累積額割合



改修対象の種類でみると、定期的なメンテナンス費用も含め、設備関係の改修額が全体の68%を占める。

利用者への直接的な影響の大きい施設内装の改修（トイレや階段、手すりの改修等）は、金額的には全体の10%程度に留まっている。

図表 2-1-11 開館以降平成28年度末までの改修目的別改修累積額割合



これまでの改修費用を改修の目的別にみると、施設・設備の劣化・老朽化への対応が7割を占めているが、その一方で、利便性やバリアフリーに関わる改修額の割合は低い。

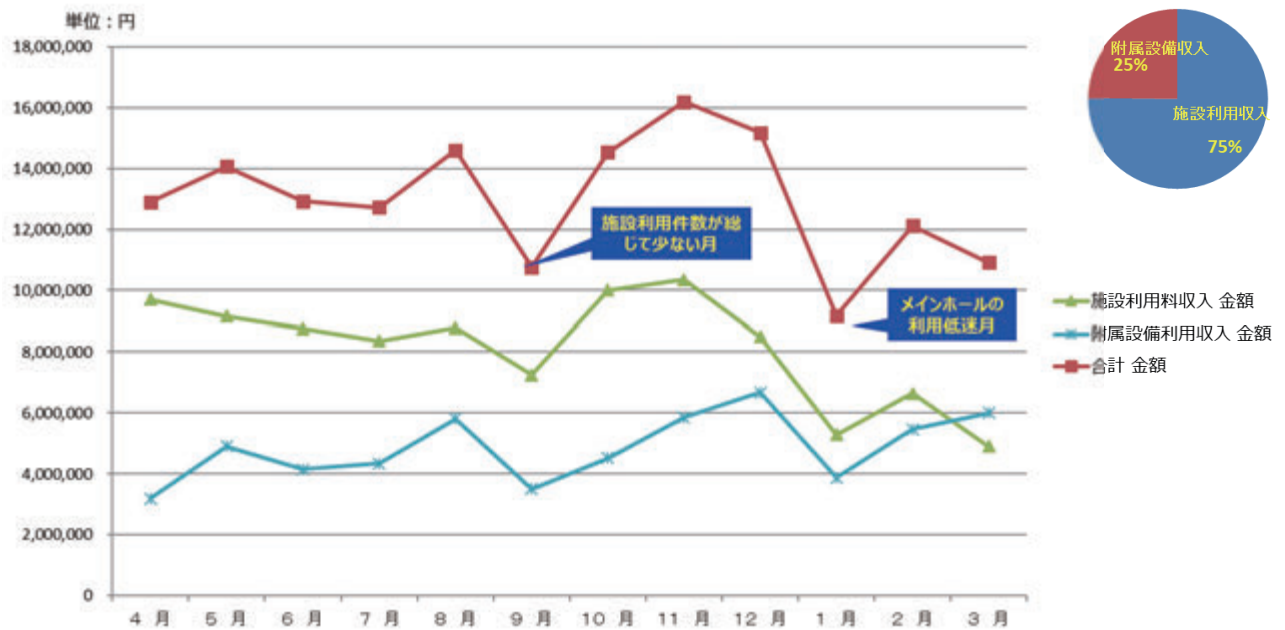
これは、これまで必要最小限の改修に留める形で進めてきたことも関係しているものといえる。

### ③ 管理運営体制と経費

収入額の割合と月別推移を整理したのが、図表 2-1-12 である。利用料収入は施設本体の利用料収入と機材等の附属設備の利用料収入があり、収入額割合は3：1である。

9月と1月に収入の低下がみられるが、定期的なメンテナンス作業に伴う利用制限等、利用可能日数の影響による。

図表 2-1-12 平成 29 年度 月別利用料収入推移(全体)



利用料収入全体に占める収入額割合を整理した図表 2-1-13 をみると、当然ではあるが施設利用料単価の大きいホールや大会議室など規模に応じた順位となっている。

稼働率の低い和室や特別会議室であっても、利用単価により、収入割合で見れば中位に位置するものもある。

ギャラリー (95 m<sup>2</sup>) は利用料金が低いことや附属設備の利用が少ないこともあり、利用件数が多い割には収入額が低い結果となっている。

図表 2-1-13 平成 29 年度 施設別利用料収入の割合

施設種類	利用料収入に占める割合
メインホール	44.93%
音楽ホール	18.15%
展示ホール	8.47%
催し広場	5.93%
大会議室	4.88%
中会議室	1.95%
スタジオ (練習室) 2号	1.66%
スタジオ (練習室) 1号	1.31%
小会議室 1号	1.29%
和室 1号	1.27%
特別会議室	1.19%
スタジオ (練習室) 3号	1.11%
和室 3号	1.10%
小会議室 2号	1.03%
スタジオ (練習室) 4号	0.80%
茶室	0.58%
和室 2号	0.51%
ギャラリー	0.41%

## 2 川口総合文化センターの課題

### (1) 現状視察にみる課題

#### ①メインホール

メインホール特定天井対策、客席環境の改善（椅子）、舞台床の経年劣化、舞台設備の経年劣化への対応等が必要であることを確認した。

図表(写真)2-2-1 メインホールの現状



特定天井



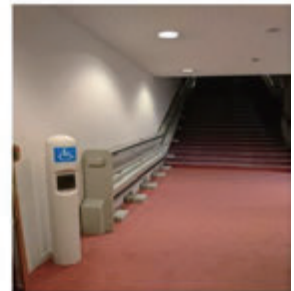
タイル張りの壁



客席(椅子の更新、手すりの設置等)



舞台奥大扉



車いす用エレベータを設置

#### ②音楽ホール

音楽ホール特定天井対策、客席環境の改善（椅子、手すり）、女子トイレの増設、調整室配置、パイプオルガンのオーバーホールなどの改修課題があることを確認した。

図表(写真)2-2-2 音楽ホールの現状



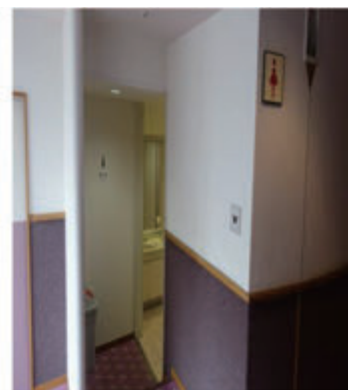
座面が自動で倒立しない(横通路幅の未確保)、座席の幅が狭い



小階段の奥行を広げるために踏面を大きくした(通行時の安全確保)



パイプオルガンはオーバーホール時期



客席数に対して女子トイレの数が少ない

### ③和室

稼働率の低い和室については用途変更を伴う改修や、和室を含めた7階～14階用受変電設備・空調設備の改修が必要とされることを確認した。

図表(写真)2-2-3 和室や10階の設備の現状



和室は90畳(30畳×3)と広い



変電設備室

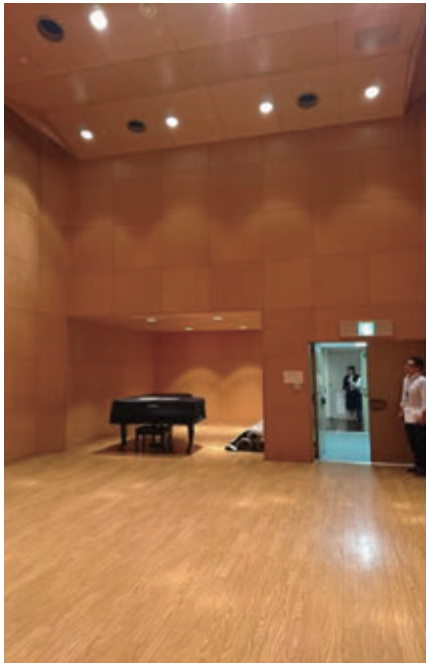


外気の取込み  
(自然外気が取り込めていない)

### ④スタジオ(練習室)

スタジオ内照明のLED化と照度向上、壁面吸音材の石綿処理、不効率な空調機の改善など課題があることを確認した。

図表(写真)2-2-4 スタジオ(練習室)や5階の設備の現状



フローリング状のシート床 音響はよい



空調機

## ⑤塔屋

空調機設置環境の改善、空調機の更新、エレベーター・ボイラー、清掃用ゴンドラの更新が必要となっているが、建物構造上、機器の更新のための搬入での制約もあることを確認した。

図表(写真)2-2-5 タワー棟の塔屋の現状



排気設備



上部と側面に換気の隙間があるが換気が十分でなく、熱溜りとなっている



壁面部のサッシ



ボイラー室



特徴的な斜めの塔屋

## ⑥ホール棟地下2階

老朽化に伴う更新時期を迎えている自家発電設備や冷温水ポンプ、空調機設置環境の改善、空調機の更新、エレベーター・ボイラー、清掃用ゴンドラの更新なども今後の課題となることを確認した。

図表(写真)2-2-6 ホール棟地下2階の現状



自家発電設備



冷温水ポンプの錆

視察時の目視及び聞き取り等で把握した改修課題を整理したものが図表 2-2-7 である。



図表 2-2-7 現状視察を踏まえた主要改修課題

内容		整理すべき項目	
川口総合文化センター設置目的及び改修方針に関する課題			
1	目的及び基本的理念	<p>(1) 質の高い様々な芸術・文化に接する機会を提供することにより、高度化、多様化する市民の文化ニーズに応えていく。</p> <p>(2) 地域の文化活動やその発表の場を提供するとともにコミュニティの醸成を促進していく。</p> <p>(3) 独自の文化・情報を創造し発信することで、都市のイメージアップを図っていく。</p>	<p>・28年前に定められた施設の設置目的及び基本理念を踏まえ、それを実現するために行われてきた川口総合文化センターの活動を客観的に評価する。</p> <p>・それらの評価を踏まえ、今後も当初の「目的及び基本的理念」を継続していくのか、それとも「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」も踏まえ、新たな「基本的理念」を定めていくのかの判断を行う。</p> <p>・新たな「基本的理念」を定めた場合は、それを実現するための事業方針・活動等に基づいた改修方針を定めていく必要がある。</p> <p>・各種劣化改善、安全性の確保、ホスピタリティの向上等の改修は建物機能の改善のために行われるため、一定の年月を経た際には必ず求められるが、それ以外の改修については、上記方針を整理した上で、内容を精査していく必要がある。</p>
2	改修の目的	<p>・改修の目的を明確に定めた上で、各部改修内容の整理を行うことが求められる。</p>	<p>・川口総合文化センターの「目的及び基本的方針」を変更せずに改修の目的を定める ⇒経年劣化や機能劣化、安全対策、バリアフリー強化、ホスピタリティの向上などが目的となる。</p> <p>・川口総合文化センターの「目的及び基本的方針」を新たに整理した上で改修の目的を定める ⇒劣化改善に加え、事業方針に基づいた機能転換や設備仕様の設定が行える。</p>
ハード（建物）に関する課題			
1	安全性に関する課題	・外壁タイルの落下防止	・施設外の人々に対する安全確保
		・メインホール、音楽ホール、アトリウムの特定天井対策	・特定天井を回避するための改修とするのか（事例：宇都宮市文化会館） ・フェールセーフ等、落下防止対策のみとするのか（事例：桶川市）
		・客席縦通路の転倒防止対策	・縦通路手すりの新設（事例：さいたま芸術劇場）
		・客席椅子の座面自動倒立機構の不具合（避難上有効な横通路幅が不確保）	・観客の安全に係る法不適合状態の改善
		・舞台設備の経年劣化（人身事故、事業遂行上の事故に繋がる）	
2	バリアフリーに関する課題	・ホール観客用エレベーターの設置	
		・メインホール客席～舞台間の車いす動線の確保	
		・客席縦通路の転倒防止対策	

内容			整理すべき項目
		・多目的トイレの増設	
3	ホスピタリティに関する課題	・全館サインの見直し（点字表示、音声案内、多言語化等）	・市施設全体での方針等が定められているかどうかを確認した上で、改修方針を定める必要がある。
		・客席椅子の幅拡大	・客席椅子の幅を拡大する場合は、客席数の減を伴う。 ・現行客席数からの減に対する判断が必要となる。
		・女子トイレの増設	
4	機能転換等の課題	・利用率の低い和室等の機能転換	・改修の目的に基づき機能転換を図るかどうかの判断が求められる。
5	法的な課題	・申請を伴う改修とするのか否かの判断が必要	・床面積の増や、主たる構造躯体を変更する改修を行う場合は、計画通知等の建築申請が必要となる。 ・これらの申請を行った場合は、建築や設備など、現行法に対応できていないものは全て改善が求められることになる。 ・客席階段の蹴上げ高さを現行法に合わせると、客席の配置が大きく変わってくるなど、施設全体で大きな影響が出てくる。
ソフト（スケジュール・運営等）に関する課題			
1	工事期間（休館日）に関する課題	・全館休館か部分休館か	・各ホール、テナント等を含む、全館を休館して改修工事を行うのか。 ・工事を複数期に分けて、部分休館を繰り返して改修工事を行うのか。 ・全館休館を行う場合においても、工事期間中に維持しなければならない機能があるのか。
2	工期に関わる課題	・工期設定を行う上での課題を把握し、工程の検討を行う必要がある	・高層建物であること ⇒機器の搬出入ルートが既存エレベーターに限定されてしまうため、時間が掛かる。 ・改修工事であること ⇒現場内に機器や材料のストックヤードが設置できない場合は、これら作業機器等の搬入搬出が毎回必要となり、作業時間に影響する。 ・労務環境の改善 ⇒働き方改革等により、これまで現場休日が日曜日のみであったものが、土日休日となる動きが出ている。
3	管理運営者に関する課題	・休館期間（工事期間）中における管理運営組織の維持	・休館期間（工事期間）中においても、管理運営者には様々な業務が求められる。 ・受付相談業務以外にも、現場打合せ、図面確認、製品承諾、現場確認、検査立会いなど多岐にわたるため、舞台スタッフ等の委託業者を含めて、体制を維持していく必要があることを整理する必要がある。

## (2) 利用者、事業者、テナント、運営担当者の声にみる課題

平成 29 年度末に実施した、「利用者、事業者、テナント、運営担当者等へのアンケート調査結果」から、全館改修に係る改修要望について、施設・設備に関するものと、利用者利便性やバリアフリーに関するものとにそれぞれ集約整理したものが図表 2-2-8 と図表 2-2-9 である。

図表 2-2-8 建築、電気、空調、設備、舞台関係等全館改修に関する要望

No.	項目	内容
1	メインホール内の設備機器の更新及び既存不適格の改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定天井の改修</li> <li>・ ホワイエの内装改修（壁紙・絨毯）</li> <li>・ ホール内の壁面タイルの改修</li> <li>・ 客席改修（客席数を含め検討）</li> <li>・ 舞台・音響・照明の改修一式（機器の更新）</li> <li>・ 楽屋関係改修（内装・備品の更新）</li> </ul>
2	音楽ホール内の設備機器の更新及び既存不適格の改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定天井の改修</li> <li>・ ホール内の内装改修、壁・床材の張り替え</li> <li>・ パイプオルガンのメンテナンス（オーバーホール）</li> <li>・ 共用部の床材・壁紙の張り替え</li> <li>・ 舞台・音響・照明の改修一式</li> </ul>
3	催し広場の設備機器の改修・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内装改修、客席改修（客席数を含め検討）</li> <li>・ 舞台・音響・照明の改修一式（機器の更新）</li> </ul>
4	展示ホール、ギャラリーの設備機器の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内装改修、音響・照明の改修一式（機器の更新）</li> <li>・ 吊り型展示パネル更新（常設の展示パネルも塗装・吊元交換）</li> </ul>
5	電気関係各種設備の劣化改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用電気設備トランス更新、コンデンサ更新、発電機設備更新</li> <li>・ ブレーカー、マグネット関係更新</li> <li>・ 館内電気時計システム更新、放送設備更新、ITV 設備更新、全館の LED 化及び照明器具の更新</li> <li>・ 照明システム更新</li> </ul>
6	空調関係設備の劣化改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷温水発生機更新、チリングユニット更新、ボイラー更新、冷却塔更新</li> <li>・ 空調ポンプ全台更新、空調機エアハンドリングユニット改修</li> <li>・ パッケージエアコンの更新、冷温水ヘッダー更新、給排気設備更新</li> <li>・ 中央監視設備更新、計装関係更新</li> </ul>
7	設備関係の劣化改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防排煙設備更新、非常放送設備更新、給湯設備の更新、衛生設備の更新</li> <li>・ 消防用ポンプ更新、全館の給水・排水・雑排水管等の改修</li> <li>・ ゴンドラ設備更新、地下駐車場機器設備の更新</li> </ul>

No.	項目	内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーター、エスカレータの更新</li> </ul>
8	建築関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>タワー棟のアルミパネル及び屋根の光触媒防水の更新、シール材の打ち直し、ベランダ部の床防水。</li> <li>ホール棟のタイル部分の打診・補修・防水工事。地下駐車場の床防水、鍵の更新</li> <li>共用部・専用部の内装関係の更新、外構部分の更新、スタジオ・会議室内の防音</li> <li>搭屋の環境改善、2階アトリウムの特定天井改修、サイン工事更新</li> <li>シャンデリアの更新</li> </ul>
9	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>備品関係の更新</li> </ul>

図表 2-2-9 利用者利便性、バリアフリー等に関する要望

No.	項目	内容
1	託児所	<ul style="list-style-type: none"> <li>託児所を設けてほしい</li> </ul>
2	メインホール、音楽ホールのバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽屋入口からメイン、音楽ホール舞台までの動線を車いすで行けるようにしてほしい</li> <li>ホール入口、ホール内の階段をバリアフリー化してほしい</li> <li>出演者が車いすで舞台上へ行ける動線を確保してほしい</li> <li>数列おきに客席の肩に手すりをつけてほしい</li> <li>車いすスペースの確保及びホール内 1 階にも身障者用トイレを設置してほしい</li> </ul>
3	スタジオ 3 号	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジオ入口の段差をなくして手すりを設置してほしい</li> </ul>
4	通信設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi 設備を導入してほしい</li> </ul>
5	音響面	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホールの響きが良くなるために、改善できるところを検討してほしい</li> </ul>
6	空調	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋内で温度調整をできるようにしてほしい</li> </ul>
7	タワー棟エレベーター増設	<ul style="list-style-type: none"> <li>高層の総合文化センターなのにエレベーターが 2 台では少ない（改善・増設してほしい）</li> </ul>
8	ホワイエエレベーター新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>2・3 階席に上れるようメインホールホワイエに、エレベーターを新設してほしい</li> </ul>
9	メインホール・音楽ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>客席の前列との間隔を広げ、左右に位置もずらし、ゆったりとした見やすい座席にほしい</li> <li>女性用トイレが長蛇の列となっているためトイレを増設してほしい</li> </ul>

No.	項目	内容
10	特別会議室・和室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別会議室はテーブルが固定されているため、利用方法が限定されてしまう</li> <li>・ 利用者の要望に応えられないため、使いやすい会議室にしてほしい</li> <li>・ 和室は3部屋（30畳×3部屋）あるが、利用ニーズが低い</li> <li>・ 利用者から要望の高い、スタジオなどに用途変更してほしい</li> </ul>



### 第3章 文化施設の大規模改修の現状





## 第3章 文化施設の大規模改修の現状

### 1 大規模改修の実態に関する調査

#### (1) 同等規模施設での大規模改修事例ヒアリング調査

川口総合文化センターの大規模改修を検討する上での改修の流れの把握や改修後のイメージをつかむため、事例視察を行った。視察先の選定については、川口総合文化センターと同等規模のホールを有し、かつ特定天井やバリアフリーなど同様の改修課題があり、また比較的最近に大規模改修を実施した宇都宮市文化会館とした。

##### ① 宇都宮市文化会館の概要

宇都宮市文化会館は、JR 宇都宮駅からバスで約 20 分の場所に位置し、昭和 55 年に「芸術文化の振興及び市民福祉の増進」を目的に設置され、優れた文化芸術の鑑賞や教育普及、文化芸術活動の育成・支援事業を実施する文化活動の中核を担う拠点施設として、宇都宮市の文化芸術活動の推進に寄与してきた。

建物は地下 1 階、地上 4 階建ての SRC 造で、乗用車が 838 台分収容できる大規模な無料駐車場を備えた、郊外型の劇場ホールとなっている。

ホールは、客席数が 2,000 席の大ホールと、500 席の小ホールの 2 つがあり、川口総合文化センターと同等規模のホールを持ち合わせている。その他の施設は、楽屋、リハーサル室、練習室、会議室、和室などを備えている。

平成 29 年度のホール稼働率は大ホール 8 割、小ホール 9 割であり、同市内にある栃木県総合文化センターをはじめとした近隣の同等規模の施設に比べて高く、年間利用者数については約 47 万人となっている。

平成 30 年で開館から 38 年が経過しており、大規模改修は開館から 35 年目の平成 27 年度から平成 28 年度にかけて実施された。

図表 3-1-1 宇都宮市文化会館と川口総合文化センター

項目	宇都宮市文化会館	川口総合文化センター
開館	昭和 55 年 4 月	平成 2 年 7 月
場所	JR 宇都宮駅西口からバスで約 20 分	JR 川口駅西口正面
敷地面積	33,102 m <sup>2</sup>	7,000 m <sup>2</sup>
建築面積	6,382 m <sup>2</sup>	6,234 m <sup>2</sup>
延床面積	16,978 m <sup>2</sup>	35,875 m <sup>2</sup>
構造	地下 1 階、地上 4 階 地上駐車場 838 台（文化ゾーンで共用）	タワー棟 地下 2 階、地上 14 階、塔屋 1 階 ホール棟 地下 2 階、地上 6 階 地下駐車場 155 台
ホール 1	大ホール 客席 2,000 席（楽屋 6 つ リハーサル室 1 つ ※一部大小ホール兼用）	メインホール 客席 2,002 席（楽屋 7 つ リハーサル室 2 つ）
ホール 2	小ホール 客席 500 席（楽屋 4 つ リハーサル室 1 つ ※一部大小ホール兼用）	音楽ホール 客席 600 席（控室 2 つ リハーサル室 1 つ）
その他施設	展示室 431 m <sup>2</sup> （第 1 展示室、第 2 展示室） 第 1 練習室（190 m <sup>2</sup> ） 第 2 練習室（198 m <sup>2</sup> ） 研修室（45 席） 第 1 会議室（100 席） 第 2 会議室（60 席） 第 3 会議室（30 席） 第 4 会議室（18 席） 第 5 会議室（4 席） 和室第 1、第 2（各 15 畳） 総合案内（1 階） プレイガイド（1 階） レストラン（2 階）（100 席） 管理事務所（1 階）	催し広場（客席 150 席セット可能） 展示ホール 特別会議室（44 席） 応接室（特別会議室用） 大会議室（100 席） 中会議室（40 席） 小会議室 1（20 席） 小会議室 2（12 席） 和室 1～3（各 30 畳） 茶室（12 畳） スタジオ（練習室）1～4（48～118 m <sup>2</sup> ） ギャラリー（95 m <sup>2</sup> ） リリア・チケットセンター（1 階） ラウンジ“リリア”（1 階） 川口地区労働基準協会（1 階） 川口市子育てサポートプラザ（2 階） KAWAI ピアノショップ・カワイ音楽教室（4 階） ジェクサー・フィットネスガーデン SOPRA リリア川口店（女性専用フィットネス）（8 階・9 階） 銀座アスター川口賓館（13 階・14 階）

## ② 宇都宮市文化会館大規模改修工事の概要

大規模改修工事について、平成 20 年度の大規模改修調査から平成 27 年度の大規模改修工事の開始まで約 7 年をかけて段階的に実施している。大規模改修についての具体的な検討が始まったのは平成 20 年度の大規模改修調査（基礎調査）であるが、それ以前の大きな工事として、平成 15 年度から平成 16 年度にかけて建築の耐震化を主とした延命工事を実施しており、当時の休館期間は 99 日間であった。平成 23 年度以降から単年度ごとに、改修手法等調査、基本計画、基本設計、実施設計という流れになっているが、この流れの中で工期や予算が単年度に集中することを避けて平準化するため、平成 24 年度に調光更新工事、平成 26 年度にスピーカの音響設備更新工事を実施している。これらを踏まえ、平成 27 年 9 月から平成 29 年 1 月にかけて大規模改修が実施されており、休館期間は平成 27 年 11 月から平成 29 年 3 月までの 1 年 5 か月であった。

主な工事費については、平成 27 年度から平成 28 年度の大規模改修工事で約 31 億 6 千万円となっているが、平成 15 年度～平成 16 年度延命工事（約 10 億 8 千万円）と平成 24 年度調光更新工事（約 1 億 7 千万円）、平成 26 年度音響設備更新工事（約 2 億 7 千万円）の分まで含めると、合計で約 46 億 8 千万円となっている。

【検討開始時期】平成 11 年度 文化会館施設診断調査（耐震・外壁調査）

平成 12 年度 文化会館施設改修基本計画策定

平成 15 年度 延命工事（建築、設備、バリアフリー改修等）

平成 16 年度 延命工事（建築、設備、舞台改修等）

平成 20 年度 大規模改修調査（基礎調査）

平成 23 年度 改修手法等調査

平成 24 年度 改修基本計画、調光更新工事

平成 25 年度 改修基本設計

平成 26 年度 改修実施設計、音響設備（スピーカ）更新工事

【改修工期】平成 27 年 9 月 30 日（契約日）～平成 29 年 1 月 20 日（工事完了日）

【休館期間】平成 27 年 11 月～平成 29 年 3 月（1 年 5 か月）

### ③ 大規模改修工事に向けての整備方針

平成 24 年度の基本計画における整備方針として、以下の 3 つの方針を定めている。

#### ■ 安全な利用のための性能維持、設備保全

既に機能が劣化している箇所を従前の水準まで回復させ、近いうちに劣化・故障が想定される箇所を調査して保全し、安全な利用と長寿命化を図る。

#### ■ 近年の施設水準に合わせ、貸館競争力を保持するための更新

バリアフリーなどのノーマライゼーションや、環境への配慮、近年の技術的進歩に対応し、利用者満足度を向上させ、貸館の競争力を高めた水準の高い施設となるべく、設備を更新する。

#### ■ 利用者の満足、貸館競争力をさらに高めるための更新

楽屋や練習室の利用ニーズと施設構成の乖離の解消、より稼働率を高めるための多用途化など、さらに利用者満足度を高め、貸館競争力を高めるための機能向上を検討する。

上記方針を踏まえた方向性については、

- 高度な舞台機能を備えた、客席数が 2,000 席を有する劇場型ホールや大規模駐車場といった既存ストックの有効活用を図り、郊外立地の劇場型ホールを強みとする市内外に誇れる施設整備が可能であるため、強みを活かした改修とする。
- 当面は、整備方針に基づき、劣化した部分を従前の水準まで回復させるとともに、必要最小限の機能向上を図ることによりリニューアルオープンを目指す。

としており、開館当初からのコンセプトの変更は行わず、客席数も 2,000 席を維持したまま貸館競争力を維持し、他の施設との差別化を図るという形で、現状の宇都宮市文化会館の強みを活かした改修を進めていく方向性となっている。

#### ④ 主な改修内容

主な改修内容は次のとおりである。

図表 3-1-2 主な改修内容

施設機能		目指すべき将来像	大規模改修において実施する内容
ホール機能	大ホール	・優れた文化芸術を鑑賞できる施設として、優れた建築音響や北関東最大の規模といった施設の競争力を維持しながら、舞台設備やバリアフリー面、アメニティ面を改善し、近年の施設水準を確保していく。	・大ホール 2・3 階席用エレベーター新設 ・車いす動線の確保 ・和式便座の洋式化 ・大ホール女子トイレ増設 ・個別空調化* ・大ホールオーケストラピット改修*
	小ホール	・市民に身近な劇場型ホールとして、本格的な創作や発表活動の場としての機能を維持しながら、舞台設備やアメニティ面を改善し、市民の使い勝手を最大限高めていく。	・車いす動線の確保 ・和式便座の洋式化 ・個別空調化*
ギャラリー機能		・市民に身近な作品の発表の場として、一定の需要を満たしながら、音楽練習や発表の場としても活用できる、使い勝手の良い施設を目指す。	・和式便座の洋式化* ・展示器具の変更*
会議室等機能		・市民の練習機能を強化するため、一定の会議目的の需要を満たしながら、会議室を練習室としても活用できる施設にリニューアルするとともに、情報化設備を改善し、近年の施設水準を確保していく。	・和式便座の洋式化* ・個別空調化*
共通部分		・一次避難場所として、安心・安全な施設を維持するとともに、文化芸術面における情報発信、地域活性化の拠点としてふさわしい機能を備えていく。	・和式便座の洋式化* ・中央監視装置の更新等 ・照明の LED 化
交通アクセス機能		・中核市最大規模の駐車場や、公共交通の優れたアクセス性を維持していく。	—

※ \* 印は次期改修予定

(出所)「文化会館整備基本計画概要版」より

## 〈大ホール〉

- 機能回復項目
  - ・客席椅子更新
  - ・舞台機構、照明、音響設備更新
- 機能向上項目
  - ・迫りの昇降方式変更による舞台機能向上
  - ・トイレ増設及び更新によるアメニティ向上
  - ・和式トイレの洋式化によるアメニティ向上
  - ・エレベーター新設によるバリアフリー向上
- 法改正対応
  - ・天井耐震化による安全性向上

図表(写真)3-1-3 改修後のホール等の様子



図表（写真）3-1-3 改修後のホール等の様子について

上段左側：客席のカラーは気品や重厚感のあるクラシカルなコンセプトを継承し、従来からの赤色を取り入れている。客席数の変更は行わず、従来の幅で設置したため、コンパクトな椅子ではあるものの、背もたれは身体にフィットする形状であり長時間の着座でも疲れにくく、また、座面については、膝にかけて薄い形状となっており、膝が曲げやすくなっているため、前のめりにならずにその場で立ち上がりやすい点など、機能性を重視した椅子に更新されている。また、背もたれが薄くなったことにより、横通路幅が広がり、足元空間にゆとりが生まれている。

上段中央：特定天井の耐震化が実施され、照明は全面LED化している。

上段右側：ホールの前から10列目の椅子。取り外し可能な椅子に更新されており、車いすスペースを増設している。

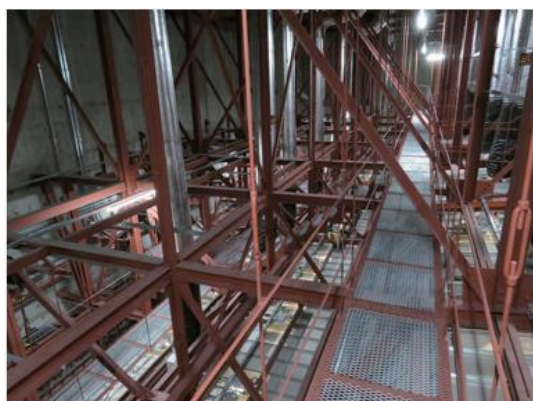
下段左側：女性用トイレの増設、女性用トイレにベビーチェア・ベビーシート及びパウダーコーナーの新設、女性用・男性用トイレともにベビーチェアの新設、多目的トイレの増設、全

でのトイレを洋式に更新している。手洗い場の水栓もセンサーによる自動水栓に更新されている。

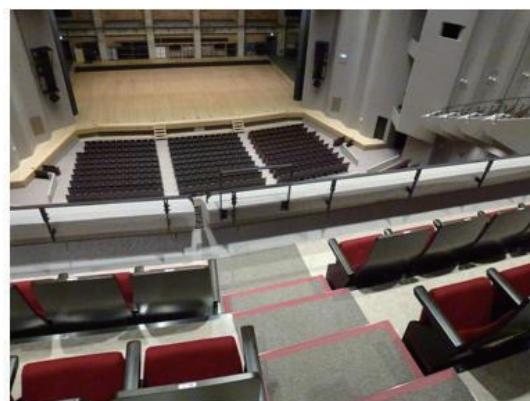
下段中央：ホール専用エレベーターを新設し、エレベーターのサイズは救護用のストレッチャーが入る大きさのものを導入している。

下段右側：楽屋入口に車付け、スロープ、自動ドアを新設し、車いす動線を確保している。

図表(写真)3-1-4 改修後のホール等の様子



天井裏の耐震化補強



3階席の手すり増設



低い位置の階段手すり新設



楽屋出入口のセキュリティ付きの自動ドア

図表(写真)3-1-4 改修後のホール等の様子について

上段左側：大ホール天井裏の耐震化補強を実施。従来の吊り天井から、直接鉄骨を組む直付け天井に更新している。従来の鉄骨の支柱に対して、追加で鉄骨を組む形で補強を行っているため、支柱に係る負荷が大きくなっているという理由から、天井裏に物品等を置くことや、屋上への太陽光発電の設置などが困難になっている。

上段右側：3階の客席階段は勾配が急であるため、従来の客席前方の低い手すりに加えて、階段下の突き当たりに、転落防止の高い手すりが新設されている。

下段左側：ホール外階段の手すりについて、中央の高い位置にある茶色の手すりに加え、茶色の手すりより低い位置及び周りの壁側に、灰色の手すりが新設されている。また、階段の踊り場にある注意喚起の点字ブロックも新設となっている。

下段右側：楽屋入口の自動ドアに暗証番号を入力する装置を導入しセキュリティを強化している。

#### 〈小ホール〉

- 機能回復項目
  - ・ 客席椅子更新
  - ・ 舞台機構、照明、音響設備更新
- 機能向上項目
  - ・ 和式トイレの洋式化によるアメニティ向上
  - ・ 車いす動線確保によるバリアフリー向上
- 法改正対応
  - ・ 天井耐震化による安全性向上

図表(写真)3-1-5 改修後の小ホールの様子



小ホールの改修内容は大ホールと同様に天井の耐震化をはじめ客席やトイレの更新が実施されている。

図表（写真）3-1-5 改修後の小ホールの様子について

上段左側：客席のカラーについて、従来の赤色を基調とした仕様から変更し、明るさや軽快さなどのコンセプトに基づき、宇都宮市の木である銀杏並木の新緑をイメージした緑色を基調としたカラーを採用している。

下段左側：公演中の歩行音を低減するため客席階段にタイルカーペットを導入。部分的に交換できる仕様になっており、メンテナンス性が向上している。



〈会議室等、共通、外構〉

・ 会議室等

- 機能回復項目
  - ・ 設備工事に伴う内装撤去部の復旧（部分補修）
  - ・ 和室水屋の排水問題を改修
- 機能向上項目
  - ・ 4階練習室入口ガラス戸撤去によるバリアフリー化

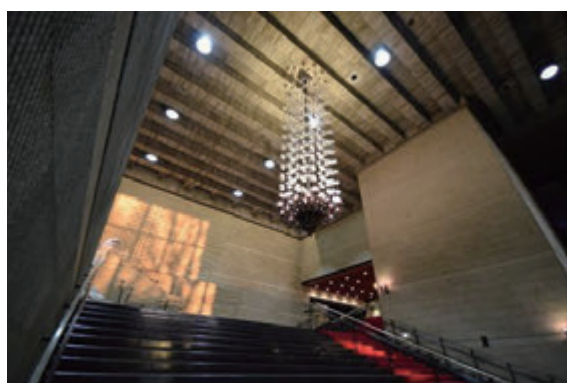
・ 共通

- 機能回復項目
  - ・ 設備工事に伴う内装撤去部の復旧（部分補修）
  - ・ 非常用発電機等の更新
  - ・ 屋内消火栓の埋設配管更新
- 機能向上項目
  - ・ 照明のLED化による省エネ性能向上
  - ・ 中央監視装置の更新による省エネ性能向上
  - ・ 防排煙設備を空気式から電気式へ変更による安全性の向上

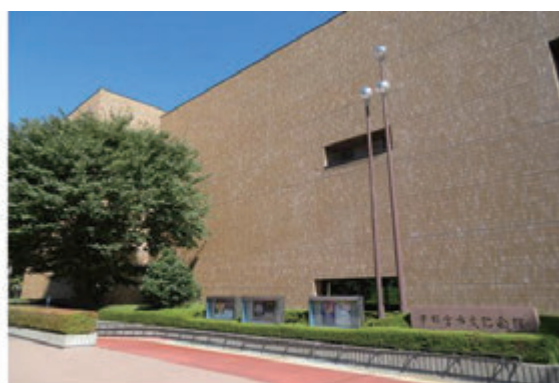
・ 外構

- 機能回復項目
  - ・ 外壁補修

図表(写真)3-1-6 その他改修後の様子



1階グランドホール照明のLED化



外壁タイル

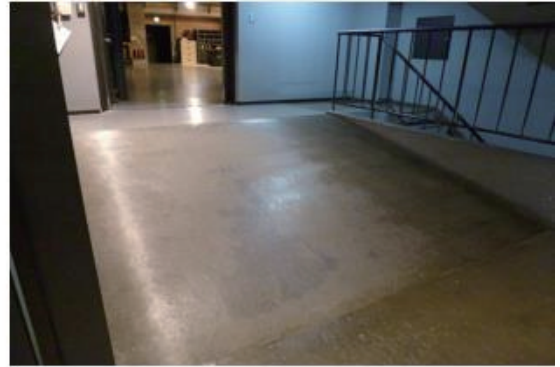
図表（写真）3-1-6 その他改修後の様子について

右側：外壁タイルの改修工事においては、確認作業と改修作業を併せて実施することにより、足場組立て作業のコスト削減を図った。

図表(写真)3-1-7 その他改修後の様子



トイレ案内図、点字



防火扉の段差解消、ホール袖のスロープ



サイン表示



デジタルサイネージ

トイレ案内図、点字、サイン表示、デジタルサイネージの設置や、防火扉の段差解消、ホール袖のスロープ等によりバリアフリー性能の向上を図っている。

※ ホール袖のスロープは大規模改修以前に設置済みのものであり、またサイン表示及びデジタルサイネージについては、大規模改修以後に別の改修として設置されたものである。

## ⑤ 休館中の影響と対策

### ■ 改修工事に関するアナウンスの時期と方法

- ホールの予約抽選を1年前から行うため、改修工事開始の1年3か月程度前から利用者や予約抽選者へ口頭での連絡及び1年前からホームページで予定告知。
- 宇都宮市広報や毎月会館で発行している行事予定での周知。

### ■ 改修工事に伴う休館中の影響と対策について

- 事前の影響把握について
  - ・ 宇都宮市や宇都宮市文化会館の指定管理者である公益財団法人うつのみや文化創造財団が主催する事業を事前に把握し、市内の栃木県総合文化センター等に対して優先予約を依頼。
  - ・ 一般の利用者から休館期間に対する予約があった際には、近隣の文化施設等を案内。
- 代替施設の確保について
  - ・ 機材の置き場等→宇都宮市文化課にて市内の倉庫を別途確保。
  - ・ 事業実施施設→栃木県総合文化センター、市内各地区の市民センターやホール等。

## ⑥ リニューアルオープン後の評価について

### ■ 利用者数の変化

- 平成26年度の利用者数471,988人、平成29年度471,975人であり、改修工事前後で比較してほぼ横ばい。

### ■ 収支改善（利用料収入比較）

- 施設利用料収入においては平成26年度101,213千円、平成29年度106,723千円となっており、改修工事前後で比較してほぼ横ばい。

### ■ 市民、利用者、関係者の声

- お客様や演奏者から「音響が抜群」「素晴らしい舞台」等の声が多数有り。
- トイレについての評価が非常に高い。

### ■ 職員、スタッフの声

- 音響設備（スピーカ等）改修や建築音響の改善により、音が客席内で均一に行き渡るようになった。
- 照明設備において、調光卓及び調光盤の更新により、漏電などの異常を常時モニタリングできるようになり、トラブル発生時に迅速に対処できるようになった。

### ■ その他

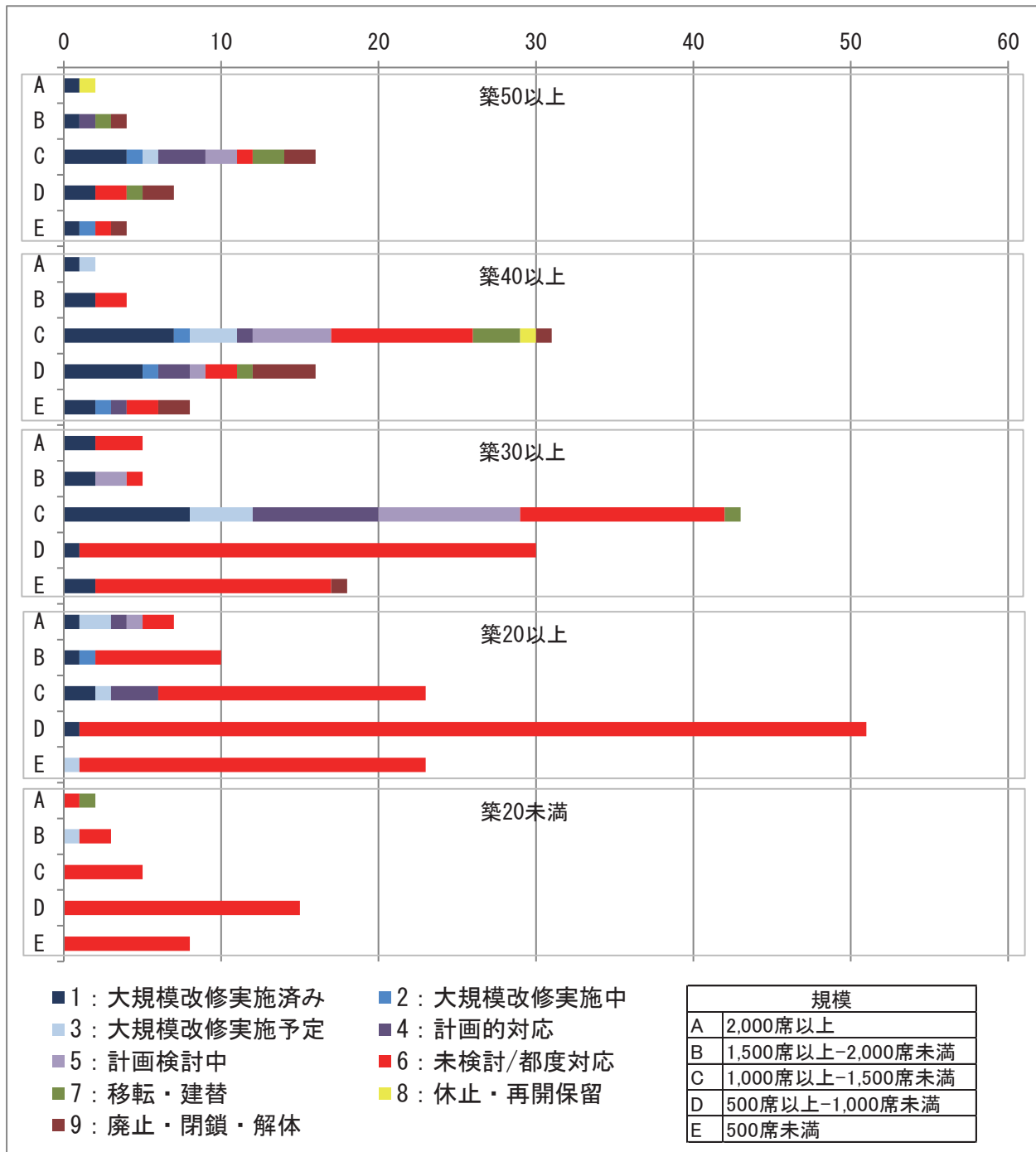
- 電気料金が5%程度抑制された。

## (2) 首都圏における音楽ホール・文化施設の大規模改修調査

首都圏における音楽ホール・文化施設について、平成30年7月末時点でホームページ等に掲載された情報を基に大規模改修の実施状況について整理を行った（巻末資料「首都圏の文化会館・音楽ホール一覧」参照）。

築年数別規模別にみた取組状況をグラフにしたものが図表3-1-8である。

図表 3-1-8 築年数別規模別の大規模改修実施状況



川口総合文化センターは2,000席以上のホールを有する築28年の建造物であることから、同じグループに属する施設の改修に関する対応区分（1：大規模改修実施済み, 2：大規模改修実施

中, 3 : 大規模改修実施予定, 4 : 計画的対応, 5 : 計画検討中, 6 : 未検討/都度対応, 7 : 移転・建替, 8 : 休止・再開保留, 9 : 廃止・閉鎖・解体) をみると、大規模改修計画については未検討状態のものは2施設であり、他の5施設については大規模改修又は計画検討の段階にあることが分かる。同類グループにおける実施状況の詳細は以下のとおりである。

図表 3-1-9 座席数 2000 席以上、築 20 年以上 30 年未満の音楽ホール・文化会館施設の大規模改修実施及び実施予定例

平成 30 年 10 月時点

施設名称	対応	大規模改修内容
Bunkamura オーチャードホール	1	舞台機構、照明設備、音響設備、空調設備の改修をはじめ、一部の客席、来館者用トイレ、楽屋なども改修を実施済み
横浜みなとみらいホール	3	平成 32 年（2020 年）の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の閉幕後から約 1 年 6 か月間程度、大規模な改修工事を実施予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大ホール、小ホール及びホワイエの天井脱落対策</li> <li>・ 施設及び設備の更新（長寿命化対策）</li> <li>・ バリアフリー対応</li> </ul>
所沢市民文化センター ミューズ	3	平成 30 年 12 月 10 日から平成 32 年（2020 年）3 月 31 日まで (1) バリアフリー化工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「中ホールや小ホール、展示室入口への外からのアプローチ」、「ホール入口扉の重さ」、「ホール内客席通路の勾配」、「洋式トイレの不足」を改善</li> <li>・ 中ホール 1・2 階へのエレベーター設置、情報市場回廊へのエレベーター及びエスカレーター設置</li> <li>・ 大・中・小ホール内客席通路（急勾配部分）の手すり設置</li> <li>・ 大・中ホールにおける利用が多い箇所の扉の軽量化</li> <li>・ 利用頻度の高い場所におけるトイレの洋式化（大ホール 1 階女性用トイレは洋式 4 基を新設）</li> <li>・ 屋外及び屋内への点字ブロックの追加</li> </ul> (2) 大・中・小ホール吊り天井の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大ホール天井は、優れた音響性能も維持するため、国土交通大臣の認定取得による補強方法で実施（サントリーホールに次ぎ、公共ホールとしては全国初となる大臣認定取得による天井改修事例）</li> </ul> (3) 省エネ対応を含めた設備機器の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経年劣化が生じている設備機器の更新に加え、空調機器の更新や照明の LED 化、最新型エネルギー管理手法の導入などにより、環境負荷の低減及びライフサイクルコストを縮減</li> </ul>
東京国際フォーラム	4	平成 21 年から 10 ケ年計画で、大規模改修工事を実施 年度別に計画的に内装、外装、設備、装置等を更新中
府中の森芸術劇場	5	平成 21 年から平成 22 年にかけてバリアフリー化を実施済み（計画検討中にあるものと推察される）

施設名称	対応	大規模改修内容
甲府市総合市民会館	6	(毎年度事業計画にて適宜改修しているものと推察される)
川口総合文化センター	6	(毎年度事業計画にて適宜改修)

また、30年以上40年未満の2,000席以上のホールを有する建物では大規模改修実施済み、又は都度対応で延命中に二分される状況となっている。

別表「首都圏の文化会館・音楽ホール一覧」より、大規模改修の内容は天井の耐震化、老朽化した施設・設備・外装・内装の更新、バリアフリー、省エネの推進など、共通する部分が非常に多いのが実情である。

また、改修内容や工法等によって異なるものの、休館期間は半年から1年半程度の場合が多いように見受けられる。特に特定天井の耐震化など建物構造に係る工事が必要とされる場合には休館期間が長期化する傾向にある。

## 2 大規模改修における基本的な取組傾向とバリアフリー対応

### (1) 他都市での大規模改修内容にみるバリアフリー関連改修

「首都圏の文化会館・音楽ホール一覧」より、大規模改修時でないとは実施できない構造に係る改修として、バリアフリー関連では、トイレの増設、エレベーターの設置・増設、エントランスやホール内での動線の段差解消（スロープ化）などが見受けられる。

改修内容にエレベーター改修（増設・新設等）を含むところは何れも休館を伴っている。

文化施設に詳しい協会へのヒアリングでも、エレベーター設置は休館を伴う場合の代表的な改修要件の1つとのことであり、全館休館時に合わせて実施することが適当な改修事項である。

### (2) バリアフリー要件に関する調査結果について

#### ① 高齢者向けサービス

公共施設における高齢者向け要件については各種報告書等にて公表されている情報が多いことから、その中でも網羅的にまとめられているものとして「高齢社会における公立文化施設の取り組みに関する調査研究報告書」（平成 29 年 3 月、一般財団法人地域創造）が非常に参考となる。これに掲載されている高齢者向けサービス要件をまとめたものが下表である。

図表 3-2-1 バリアフリー(高齢者対応)要件

項目	区分等	内容
サービス・機能	時間的に、アクセスを容易にするサービス（工夫）	高齢者の鑑賞しやすい時間帯の公演（例：公演を平日の昼間にし、高齢者に配慮）
	場所的に、アクセス等を容易にするサービス（工夫）	高齢者への客席案内などの積極的な手助けや協力
		足の不自由な方への福祉関係のタクシーの活用（送迎）
		公演チケット予約者に対する「観劇バス」の運行（静岡県舞台芸術センター）
	高齢者の経済的負担を軽減するサービス（工夫）	高齢者割引（一定年齢以上の割引、シニア料金の設定、老人会の一部負担によるチケットの安価な設定等）
	その他の施設利用をサポートするサービス（工夫）	高齢者にも使いやすい形でのインターネットの活用の検討
		読みやすいプログラム（文字サイズの拡大、文字量への配慮）
		高齢者向けの情報だけを抽出したチラシを作成
		補聴器のハウリング防止案内、日本語の演劇作品における日本語の字幕（高齢者向け）など、聴き取りに支障のある方に対する適切な対応
		高齢者向け先行予約
	車いすの貸出	

項目	区分等	内容
施設・設備	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	階段の幅、高さの見直し
		手すりの設置
		段差の解消
		動線の簡素化
		サイン表示
		エレベーター設置
		エスカレータ設置
		車いす用のスロープ設置
		トイレの改善（洋式化、水回りの使用方法改善）
		照明の照度改善
		自動ドア設置
		駐車場の十分なキャパシティの確保
		入口付近の車寄せ設置
		避難路の確保
その他		
職員研修	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	高齢者対応に関する職員研修
		災害時等非常時の対応方法の検討、避難訓練
		ガイドライン、マニュアル、Q&A 等の作成
高齢者を対象とした事業	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	高齢者を対象とした事業内容の検討（鑑賞事業、参加型事業、アウトリーチ）
		事業を行う上で連携するパートナーの検討（地域のアーティストや文化活動団体等）

## ② 障がい者向けサービス

(1)と同様に多くの情報の中で、本調査研究で参考とすべきものとして、「劇場・音楽堂等における障害者対応に関する調査研究報告書」（平成26年3月、公益財団法人全国公立文化施設協会）がある。これに掲載されている障がい者向けサービス要件をまとめたものが下表である。

図表 3-2-2 バリアフリー(障がい者対応)要件

項目	区分等	内容
サービス・機能	場所的に、アクセス等を容易にするサービス（工夫）	客席案内などの積極的な手助けや協力、誘導
		車いすなどの介助
		送迎
	経済的負担を軽減するサービス（工夫）	料金の割引、減免
	その他の施設利用をサポートするサービス（工夫）	筆談、要約筆記
		手話通訳
		車いすや補聴器などの貸出
盲導犬の受入		



項目	区分等	内容
		席の変更
		優先入場
		通常禁止されている場所での飲食の許可
		車いす用席の先行販売
		主催者、観客への情報提供
		障がい者対応可能内容の周知
施設・設備	バリアフリー・ ユニバーサルデザイン	障がい者用の駐車場の設置、確保
		車いす専用座席の設置、確保
		オストメイト、音声ガイドなどトイレ設備の改善
		スロープの設置
		介助者用の座席確保
		館内表示、解説書などの点字化
		磁気ループの設置
		防音室、親子鑑賞室の設置
		多目的トイレの設置
		車いす用エレベーターの設置
		エレベーターの音声案内
		点字ブロックの設置
		その他（搬入経路の段差解消など）
職員研修	バリアフリー・ ユニバーサルデザイン	障がい者対応に関する職員研修
		障害者手帳の見方の周知（駐車場警備員含む）
		関係する法律の周知（障害者差別解消法等）
		介助のための資格取得補助
		災害時等非常時の対応方法の検討、避難訓練
		ガイドライン、マニュアル、Q&A 等の作成
障がい者を 対象とした 事業	バリアフリー・ ユニバーサルデザイン	障がい者を対象とした事業内容の検討
		事業を行う上で連携するパートナーの検討

次章においては、これら要件も参考にしつつ、今後の改修要件について考察することとする。

### (3) ユニバーサルデザイン化事業

平成 29 年 2 月 20 日、ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議において「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」が策定された。本行動計画に基づき、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としてユニバーサルデザイン化を推進し、大会以降のレガシーとして残していくことが必要であるとの認識の下、総務省において、公共施設等の適正管理の枠組みの中でユニバーサルデザイン化を計画的に推進していくため、公共施設等適正管理推進事業債の対象事業に新たに「ユニバーサルデザイン化事業」が追加された。当該事業の詳細は下表のとおりとなっている。

図表 3-2-3 ユニバーサルデザイン化事業

期間	平成 30 年度～平成 33 年度（2021 年度）
充当率、元利償還金に対する交付税措置	充当率：事業費の 90% 交付税措置：元利償還金の 30%（財政力に応じて最大 50%まで引上げ）を基準財政需要額へ算入
対象	①「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（平成 18 年法律第 91 号）に基づく公共施設等（公営住宅及び公営企業施設等を除く）のバリアフリー改修事業（適債性のある事業に限る） i) 移動等円滑化基本構想に基づく事業 ii) 移動等円滑化基準に適合させるための改修事業（※） ※施設の一部を基準に適合させる事業を含む。 例) 車いす利用者用トイレ等の整備、出入口の段差解消、エレベーターの整備、視覚障害者用ブロックの整備等 ②①以外の公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業（適債性のある事業に限る） 例) 授乳室や託児室の整備、多言語による案内を行うための施設の整備、観光施設等における洋式トイレの整備等
留意事項	・公共施設等総合管理計画にユニバーサルデザイン化の推進方針等を記載した上で当該方針等に基づき実施する事業であること。 ・① ii) 及び②については、地方公共団体の定めるユニバーサルデザインの推進計画等（※）に基づく事業又は個別施設計画にユニバーサルデザイン化事業として位置付けられている事業であること。 ※ユニバーサルデザインに関する基本的な考え方や取組方針を記載しているもの。

（出所）「公共施設等総合管理計画の更なる推進に向けて」（「公共施設等総合管理計画の更なる推進に向けた説明会」

（平成 30 年 4 月 23 日開催）資料 1、総務省自治財政局財務調査課より

川口総合文化センターの大規模改修工事は上記期間以降となるが、上記期間及び対象事業で先行して実施可能な改修があれば、本事業債の活用が期待される場所である。

## 第4章 川口総合文化センターの改修要件



## 第4章 川口総合文化センターの改修要件

### 1 大規模改修に向けた基本的な考え方

#### (1) 施設としての基本理念について

〈劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）〉

劇場や音楽堂、文化会館、文化ホール等（以下「劇場、音楽堂等」という。）に係る現状や課題を踏まえ、文化芸術振興基本法の基本理念にのっとり、劇場、音楽堂等の活性化を図ることにより、我が国の実演芸術の水準の向上等を通じて実演芸術の振興を図り、もって心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現等に寄与することを目的として、平成24年6月27日に公布された。前文として以下の内容が示されている。

『我が国においては、劇場、音楽堂等をはじめとする文化的基盤については、それぞれの時代の変化により変遷を遂げながらも、国民のたゆまぬ努力により、地域の特性に応じて整備が進められてきた。劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらす、人々の創造性を育み、人々が共に生きる<sup>きずな</sup>絆を形成するための地域の文化拠点である。また、劇場、音楽堂等は、個人の年齢若しくは性別又は個人を取り巻く社会的状況等にかかわらず、全ての国民が、潤いと誇りを感じることでできる心豊かな生活を実現するための場として機能しなくてはならない。その意味で、劇場、音楽堂等は、常に活力ある社会を構築するための大きな役割を担っている。さらに現代社会においては、劇場、音楽堂等は、人々の共感と参加を得ることにより「新しい広場」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されている。また、劇場、音楽堂等は、国際化が進む中では、国際文化交流の円滑化を図り、国際社会の発展に寄与する「世界への窓」にもなることが望まれる。このように、劇場、音楽堂等は、国民の生活においていわば公共財ともいふべき存在である。これに加え、劇場、音楽堂等で創られ、伝えられてきた実演芸術は、無形の文化遺産でもあり、これを守り、育てていくとともに、このような実演芸術を創り続けていくことは、今を生きる世代の責務とも言える。我が国の劇場、音楽堂等については、これまで主に、施設の整備が先行して進められてきたが、今後は、そこにおいて行われる実演芸術に関する活動や、劇場、音楽堂等の事業を行うために必要な人材の養成等を強化していく必要がある。また、実演芸術に関する活動を行う団体の活動拠点が大都市圏に集中しており、地方においては、多彩な実演芸術に触れる機会が相対的に少ない状況が固定化している現状も改善していかなければならない。こうした劇場、音楽堂等を巡る課題を克服するためには、とりわけ、個人を含め社会全体が文化芸術の担い手であることについて国民に認識されるように、劇場、音楽堂等を設置し、又は運営する者、実演芸術に関する活動を行う団体及び芸術家、国及び地方公共団体、教育機関等が相互に

連携協力して取り組む必要がある。また、文化芸術の特質を踏まえ、国及び地方公共団体が劇場、音楽堂等に関する施策を講ずるに当たっては、短期的な経済効率性を一律に求めるのではなく、長期的かつ継続的に行うよう配慮する必要がある。ここに、このような視点に立ち、文化芸術振興基本法の基本理念にのっとり、劇場、音楽堂等の役割を明らかにし、将来にわたって、劇場、音楽堂等がその役割を果たすための施策を総合的に推進し、心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現並びに国際社会の調和ある発展を期するため、この法律を制定する。』

前文から求められる機能として、

- 潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を実現するための場として機能
- 地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能
- 国際文化交流の円滑化を図り、国際社会の発展に寄与する「世界への窓」としての機能
- 文化芸術の担い手となる人材育成の機能

が挙げられる。また、運営に関しては、連携と継続が必要とされていることが分かる。

この法律は「劇場・音楽堂」を主な対象としているものであるが、「劇場・音楽堂等」とあるように、市民の活動拠点としての機能も包含した内容となっている。

そこで、この法律の趣旨を踏まえたときに、現在の川口総合文化センターは、

- ①市民サークル活動や地域文化活動の拠点としての機能
  - ②国際的アーティストの公演をはじめ地域イベントの開催会場として広く開かれた機能
  - ③音楽等の練習の場としてのスタジオ（練習室）を備えるなどの人材育成の場としての機能
- を提供していることから、基本的に合致した機能を有するものといえる。

そのため、設立時の基本理念はそのままに、改修に向けた考え方等を整理することとする。

## (2) 大規模改修実施に向けたコンセプトについて

川口総合文化センターにおいては、計画的に中小規模の改修を進めてきているものの、開館から30年近くが経過し、施設・設備の老朽化も進み、新たな技術や時流への対応も必要な状況にあり、市民活動への対応と国際的なイベントの両方に対応する文化施設として、高い稼働率を維持していることから、今後も存続する必要がある。

そのため、対応必須である特定天井の改修に加え、これまで思うように改修することができなかった大規模な改修を進める必要がある。

一般的な傾向として、改修では、

- ① 機能の維持管理・回復としての修繕だけでなく、技術や社会法制の変化や利用者（市民やイベント等主催者）ニーズの時代の変化に対応した機能や性能の向上、利便性、安全性、経済性などの向上を伴うこと

- ② 新築時と異なり、改修では施設運営・利用実態を踏まえた設計が可能であるため利用者の声を反映することが適当であること

などから、施設としての基本理念を継続しつつ、将来に向けた適切な改修となるよう、大規模改修実施に向けたコンセプトを明確にすることが望ましい。

そこで、他都市における文化施設における改修テーマをみると、おおむね以下のような改修内容となっている。

- ① 法令遵守
  - 天井等の耐震化
- ② 性能・利便性等機能向上と劣化部の改修（最新設備への更新）
  - 各種設備・機械（電気系統、通信系統、給排水系、空調系統、舞台装置、音響機器、照明機器）
  - 外壁・内外装の修繕
- ③ 時代に合わせた仕様・省エネ、バリアフリーへの対応
  - 動線：客席までのアクセス（案内板、エレベーター、スロープ、足元灯、手すり）、座席（車いす席）
  - トイレ（多目的トイレ、オストメイト対応トイレ、洗浄便座）、授乳室・保育室等の子育て対応
  - 搬入経路の確保（大型資機材運搬経路のバリアフリー化）
- ④ 災害への対応等を含めた安全性の向上
  - 消火設備の更新
  - 吊り天井の耐震化等仕様改善（直天井化、天井仕上げ材撤去等軽量化、落下防止ネット等による方法など）
  - 防災仕様（避難経路案内、避難スペースの確保、備蓄、ガラス部等の安全な素材への見直し、災害時活用可能な備品への配慮）
  - 防犯対策（監視カメラの増設など）
- ⑤ その他、上記に加えて現状課題・利用者要望への対応

規模の大きい施設においては、特定天井への対応、老朽化した施設・設備の更新、トイレや手すりの設置などのバリアフリー対応が中心であり、Web上に公表されている情報をみる限りでは、各施設に特徴的なコンセプトを掲げた改修はあまりみえてこない。

大規模改修には多額の費用も必要であり、予算に応じた改修にならざるを得ないことや施設としての基本理念を見直すこと自体があまりないことも関係していると思われる。

コンセプトとして参考としたい事例として、サントリーホールの大規模改修がある。サントリーホールでは改修に当たり、利用者への期待に応え、さらに新たな時代へ対応するための明確な取組姿勢を示している。

#### ■改修の方向性

- 経年劣化・老朽化による改修
- 時代の変化と社会の要請による改修

#### ■改修の基本的な考え方

- 価値を変えない改修  
広く定着した評価を裏切らないこと（パイプオルガン、大ホール音響など）
- 全てのお客様のために  
ダイバーシティデザインの視点による継続的な改修
- 次世代の音楽空間創造への試み  
大ホール（クラシック音楽専用ホール）と小ホール（多様な音楽家活動への対応）で時代の要請、社会の要請に対応し、新しい音楽シーン、快適なコンサートライフを提供

川口総合文化センターにおいても、現状課題を踏まえると、取り組むべき改修テーマ、改修の方向性は基本的には同様なものとなる。そのため、これらテーマを包含したコンセプトとするため、以下のような改修に向けたコンセプトとする考えである。

#### 基本コンセプト（案）

- ① 経年劣化への対応  
施設内外装・設備機器の更新
- ② 法令遵守  
耐震化・特定天井の改修
- ③ 時代に合わせた仕様への対応  
省エネ設備への更新など新技術・機能の活用
- ④ 地域文化の伝承  
外観維持・鋳物等の地域特有の技術・製品の活用
- ⑤ 社会・市民の要請への対応  
バリアフリー・防災対策等



また、改修実施に向けては、予算制約による改修事項の優先順位付けが必要になる可能性があることや、予算に見合う改修を行う場合においても、場当たりの対応とならないように守るべき指針となる考え方が必要であることから、改修を実施する上での考え方について以下のとおりとする考えである。

#### **改修実施における基本的な考え方（案）**

① 安全性・利便性・機能性の向上

市民に限らず、全ての利用者にとっての安全・安心を優先し、それに見合う利便性や機能性を追求する

② 経済性への配慮

改修要件を満たす方法である改修仕様の選択（工法やレベル等）において、経済性に配慮する

③ 施設・設備の最適化

時代や社会ニーズへの対応として、高い利用状況や稼働状況を維持する機能やサービスを提供する施設となるように配慮する

### **(3) 美術館構想との親和性の確保**

川口市では新たな施策として美術館構想を検討しているところであり、新たに整備する美術館を陳列・展覧・鑑賞といった受動的なものに留めることなく、美術館は作品も含めた人間の活動が深く結びつく場であり、作品と来館者とが双方向に交流する場として捉え、まちなかに文化やアートを広げるための拠点、新しい美術への挑戦等を可能とするなど、市民等が主体的に活動可能な機能・サービスを提供する方向で審議会にて検討されているところである。

そのため、川口総合文化センターは音楽活動を中心とした活動の場としての容量と機能をより一層充実させ、かつ、相互の機能の住み分けと連携を高めることも期待されている。

今後の改修においては、美術館構想の内容も踏まえつつ、機能・サービスにおける美術館構想との住み分けや親和性に配慮することも必要である。

#### (4) 施設・設備更新の考え方について

改修実施における基本的な考え方を踏まえた考え方を基本に、考え方や留意点について整理する。

##### ① 安全性

最優先すべきこととして安全性の確保がある。川口総合文化センターにおいては特定天井に該当するものが3か所あり、これらの改修は必須である。

なお、特定天井を除くその他の基本的な耐震化要件は基準を満たしていることから、駅に隣接した施設として、地震等自然災害発生時の通勤・通学者等を含めた一時的な避難所としての機能を具備することも考慮した改修の検討も課題である。

##### ② 利便性

利用者や管理運営を行う事業者等にとって使い勝手の良い施設・設備とすることが必要である。老朽化した施設・設備の更新においては、最新の機能の導入等に際し、機能の高度化に伴う機器類の操作の煩雑化に留意した対応が必要である。

##### ③ 機能性

全館的な機能改善取組として、現在は全館空調のみの対応となっている箇所も多いため、利用者からは個別空調への要望も多く上がっていることから、全般的な見直しが必要である。また、老朽化した設備・機器も多いため、最新の機能への対応も必要である。

機能面については施設利用者のみならず、事業者からの指摘も多く、導入後の管理やメンテナンス等に配慮した機能への対応も求められている。

今後はAIを組み込んだ自己診断機能や自己回復機能を有する製品も増える可能性が高いため、施工段階で最適な選択を行うことも必要となってくる。

##### ④ 経済性

天井の耐震化、老朽化した施設・設備の更新など、一部必須の部分もあるが、それ以外については安全性・利便性・機能性も含めて必須ではない部分も多い。また、必須とする改修においてもその実現方法については選択肢が複数存在する。そのため、いつまでに、何をどこまで実施(改修)するかは難しい選択を迫られる。

特に、施設・設備の改修にはコストが掛かるものが少なくないため、コスト見合いで判断することも必要となる。

その際に、導入時等の初期のコストのみならず、後年の負担を含めたライフサイクルコストに配慮することは基本である。

さらに、計画的な財政運営に資するよう、高額なメンテナンス費用を要するものを中心に、計画性を見込める定期的なメンテナンス費用等についてはそれが生じるタイミングをある程度分散し、平準化した予算対応ができるよう配慮することも必要である。

## ⑤ 最適化

施設や設備は時間とともに劣化するものである。また、利用者ニーズや社会的要請は時代とともに変化するものである。

少なくともこれまでとこれからの川口総合文化センターの基本理念はすぐには変わるものではないといえることから、基本理念に沿った改修等とし、その上で、必要とされる更新について、基本となる機能の有用性について将来的な動向を踏まえた選択を心掛けることが必要である。また、時代とともに変化対応可能な機能については補完的な機能として捉え、過剰な投資とならないようにすることも必要である。

宇都宮市での取組にある客席の座面の幅を広げずにデザイン工学（人間工学）により座り心地を改善した椅子に入れ替える方法や、視覚的な効果により空間をより広くみせるような内装を施すなどの工夫も最適化の1つである。

## (5) 少子高齢化への配慮等の考え方について

### ① 新しい出会い、関係づくりの場

川口総合文化センターでは、福祉施設等でのコンサート開催や地域イベントへの参加、ボランティア活動と通じた取組のほか、乳幼児連れの方への無料イベント開催など、「新しい広場」として求められる取組について実施している。

今後、地域内外の新たなつながりを広げ、多様な人材と交流が持てるよう、様々なイベントやワークショップの開催、参加しやすい環境づくりとしてボランティアや地元のアーティストグループの活動協力による楽器演奏教室や、出前型イベントの開催など、地域内外に出向いて行う事業いわゆるアウトリーチに係る取組を充実することが期待される。ホールにおいては乳幼児等の制限のないイベントなど、より一層の取組について検討を行い、その中で必要となる機能や空間の在り方を工夫することも期待される。ホワイエをよりサロン風に仕立てることも1つの方法である。

### ② 活動能力に合わせたサービスの拡充

高齢者の方や乳幼児連れの方は、学生などの若者世代とは活動時間、活動速度、活動エリア、活動手段など様々な面での相違がある。段差をなくすなどのバリアフリー対応はこれらの対応の1つであるが、①で触れているアウトリーチに係る取組のほか、活動能力の相違を踏まえたサービスの在り方を考慮することが期待される。

## 2 施設・設備の更新要件

大規模改修においては、特定天井など法令遵守に係る必須の改修事項のほか、第2章にある現状課題等への対応と、第3章での他の事例等での取組、さらには先に述べたコンセプトや考え方から、以下に示す更新要件がある。

### (1) 老朽化への対応

老朽化への対応としては、以下に示す経年劣化、機能劣化、性能劣化がある。事例にみるように老朽化への対応は大規模改修における基本対象要件でもある。

#### ① 経年劣化への対応

耐用年数を迎える、又は超える設備・機器の更新のほか、古い機種により部品等の交換が容易ではないものや、製造業者の廃業等により維持が難しいもの等が含まれる。

内装や外装等における色あせや汚れ、傷み、自然破損なども経年劣化によるものとして更新すべき対象である。

#### ② 機能劣化への対応

今日、他の施設等では当たり前前の機能でありながら当該施設に不足している機能など、技術革新によって、優れた製品が開発されたことにより、現在の機能品質が見劣りするものの更新要件である。

電機や照明など細かい制御ができないなどの機能的に劣るものをはじめ、計画的な対応によって、通信回線のデジタル化は対応済みであるが、デジタル通信における仕様は年々高度化しているため、これら仕様に対応した装置・機器への更新、モニターやスクリーン等においては画像解析度の向上などがある。

#### ③ 性能劣化への対応

上記の機能劣化に近い部分もあるが、利用者や管理者など、使用者の要求が時代や技術の進展とともに変化・向上し、従来の内容・性能では要求に対応しきれなくなっている部分の更新要件である。

段差の解消、動線の確保、収容スペースの確保、トイレ設備の向上など、要望等への対応としての要件が主であり、利便性に係る内容が多く含まれる。

### (2) 最新技術への対応

#### ① 省エネ／コスト削減の実現

技術革新の活用として、これまで具備していなかった設備・機器の導入や利用者等の要望への対応など、先の老朽化への対応の中で取り組む要件としても求められる更新要件である。

センサー技術による照明や水道、LED化や省エネ機器などコスト削減につながるものは積極的に対応することが有効である。

## ② 利用者満足度／サービス向上

現状でも高い稼働率にあるが、まだ余裕がある部分もある。今後更なる利用拡大に向けて有効な新機能への対応も期待される更新要件である。

安全面、サービス面、管理面を中心とした機能・性能の向上に係るものとして、タワー棟エレベーターの輸送能力向上、ホール施設のトイレ数への不満の解消、無線通信環境への対応などがある。また、感度の良いカメラやマイク、音質の良いスピーカ、練習室の貸し出し機材の最新化など、不満の解消と要望への対応がある。これらは必ずしも必須ではないものなど、コスト見合いの要件も多い。

## (3) バリアフリーへの対応

### ① 動線の確保

28年前に建てられた施設であるため、フロア間の仕切りやドア開閉部など、細かい部分での段差は随所にあり、現状暫定的に対処できる方法にて対応している部分も多い。資機材の搬入等も含めて、動線全般での改修が必要である。

### ② 動線の支援

動線のみならず、バリアフリー対応として、車いすや補助用具の設置エリアの確保など、動線の確保が難しい関係箇所での支援環境の整備もある。

直接的には更新要件ではないが、補助的な人的支援など施設設備以外のサービス改善も必要に応じて検討し、その際に具備すべき施設・設備に係る要件がないか、検討することも有効である。なお、本調査研究においては第4章3においてバリアフリーに関する各種要件を整理しているため、そこで示す要件への対応検討が求められる。

## (4) 地域文化の継承等への対応

### ① 地域産業の活性化

現状においてもホール客席の土台、音楽ホールの壁面内部、外周の街灯や歩道のポールなど施設及び施設周辺の整備において、鋳物が随所に取り入れられている。改修においても、施設をはじめ、施設の外周の更新・整備などを含めた伝統産業、鋳物産業や植木・盆栽などを取り入れるなど、地域産業の活性化につながる実現方法を積極的に取り入れる。

### ② シンボル・タワー

国内外の有名アーティストが利用したくなる施設として、音楽ホールにおけるピアノやパイプオルガンは今後も優れたものとする必要がある。パイプオルガンはオーバーホールの時期を迎えているため、大規模改修において対応することが必要である。

川口らしさとして、車窓からもすぐに確認できる象徴的な現在の外観は継承に値する。後述する利用者のアンケートから、市外在住の利用者も少なくないことから、今後も市内外の多くの人に親しまれるシンボル・タワーとしての役割が求められる。

次頁以降に検討すべき改修項目一覧を示す。

図表 4-2-1 検討すべき改修項目一覧

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考 (方策・課題・留意点等)
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	法令適合	バリアフリー 安全性			
建築	共用部	外壁タイル	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物脇を通行する人や車等に対する外壁の落下事故について懸念がある。</li> <li>・劣化等により落下・脱落等の危険がある場合は、対策を施すことが望まれる。 (施設管理者からの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁タイルの浮き等、劣化調査を行った上で改修範囲を定める必要がある。</li> </ul>	
			○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物脇を通行する人や車等に対する外壁の落下事故について懸念がある。</li> <li>・劣化等により落下・脱落等の危険がある場合は、対策を施すことが望まれる。 (施設管理者からの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁アルミパネルを部分的に取外し、固定金物等の劣化調査を行う必要がある。</li> </ul>	
		○					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「JIS 案内用図記号」を踏まえ、館内サインを統一化することで、多言語化、点字表示、音声案内等の対応を行うことが考えられる。 (施設管理者からの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内施設で統一した方針が示されているかどうかの確認を行う必要がある。</li> </ul>	
		○					<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者から椅子の劣化に対する指摘や、座席幅の改善等の要望が多い。 (管理運営者からの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席数を維持する場合は宇都宮の事例のように椅子の工夫等に対応する必要がある。</li> <li>・座席幅変更、車いす席増設、縦通路手すり新設を含めて更新できるとホスピタリティ・バリアフリーの強化が期待できる。</li> </ul>	
	メインホール	客席椅子	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化により、椅子の構造体、背及び座面の仕上げ、クッションの傷みが著しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行建築基準法における特定天井</li> <li>・法不適合部位の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェールセーフによる改修や構造の見直しによる方法等選択肢が複数ある。</li> </ul>
			○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行法規に適合した状態に改善する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装の美観を踏まえ、上で、対策を検討する必要がある。</li> </ul>	
		○					<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化等によるタイルの浮きや剥がれが懸念される。落下防止対策を検討する必要がある。</li> </ul>		
		○					<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化、安全性の確保</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		客席縦通路手すり					・観客通行時における安全性の確保 ・ホール運用管理面の向上	・手すり新設した後に、通路幅が確保できかどうかの検討が必要となる。  (現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		客席収納庫					・客席後方車いす席の収納場所の新設。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		舞台床	○				・床材の張替え若しくは研磨、框は交換。 (舞台チームからの要望)	・框の更新が可能かの確認が必要。 ・框更新の上、床仕上げの張替え又は研磨による方法がある。	
		搬入口シャッター					・シャッターとは別に人が通過するための扉を設置。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		搬入口～ホワイエ動線					・1階からロビーへ上がる階段が急。 ・エレベーター若しくはエスカレータを設置できないか。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		第2シーリングスポットライト投光室					・上部、下部2段式に灯体を吊り込めるようにする。 (照明チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		PIN ルーム					・下手と上手の上下にスポットライト吊下げ用固定バトンを新設したい。 (照明チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		客席扉部					・客席に回線を引き回す際、養生マットを使って養生している。 ・客席入口にケーブルを這わせる際に、ケーブルが処理できる機構（扉枠上フック、ケーブル溝等）を増設したい。 (音響チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	



区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		サウンドロック		○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵がかかれスタッフが行き来できなくなってしまうことがある。また空調の関係で扉が開き、音漏れが発生しているときがある。</li> <li>メインホール上手側サウンドロック（公共の廊下に出る扉）にカード若しくは暗証番号などで開くタイプにしてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子錠への変更対応済み。</li> </ul>	
		ホワイエ階段					<ul style="list-style-type: none"> <li>1階からロビーへ上がる階段が急なため、年配者及び体が不自由な方にとっては危険。</li> <li>エレベーター若しくはエスカレータを設置できないか。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<p>（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</p>	
		メイン裏廊下		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>1階正出入口（上手側）から舞台事務所までメインホールを通過しない動線がほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子錠への変更対応済み。</li> <li>要現地調査</li> </ul>	
		出待ちロビー女子トイレ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>主にメインホール関係者とスタッフが利用している1つしかないため順番待ちになることが多い。</li> <li>1階出待ちロビーの女子トイレの個数を増やしてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<p>（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</p>	
		ホワイエ女子トイレ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイエの観客用女子トイレの数が不足している。</li> <li>可能な範囲で増設を行ってほしい。（管理運営者からの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子トイレ前のホワイエ空間を用いて、女子トイレエリアを広げる検討を行う。</li> </ul>	
		ホワイエ女子トイレ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつを替えられるところが少ない。子どもと一緒にトイレを使用するのが大変。</li> <li>ホワイエと客席裏（松の廊下）の女子トイレにおむつを替える場所と個室内に子どもを座らせるシートがほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	音楽ホール	客席椅子	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化により、椅子の構造体、背及び座面の仕上げ・クッションの傷みが著しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者から椅子の劣化に対する指摘や、座席幅の改善等の要望が多い。（施設管理者からの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客席数を維持する場合は宇都宮の事例のように椅子の工夫等で対応する必要がある。</li> <li>座席幅変更、車いす席増設、縦通路手すり新設を含めて更新できるとホスピタリティ・バリアフリーの強化が期待できる。</li> </ul>
		客席天井			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>現行建築基準法における特定天井</li> <li>法不適合部位の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行法規に適合した状態に改善する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェールセーフによる改修や構造の見直しによる方法等選択肢が複数ある。</li> </ul>
		パイプオルガン入口扉		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール運用管理面の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイプオルガンに入る扉を内開きにしてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</li> </ul>
		楽屋		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール運用管理面の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に楽屋の数が足りていない。</li> <li>楽屋を増やしたい。楽屋 401 が仕切られるようにしたい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</li> </ul>
		上手側倉庫		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール運用管理面の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可燃性の道具置場として活用できるように、上手側の倉庫内にスプリンクラーを設置してほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可燃性道具の内容を確認する。（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</li> </ul>
		ピアノ庫		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール運用管理面の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シヤッターを内側からも開けられるようにしたい。除湿器がシヤッターを開けていても水が噴き出さないように。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化が生じているシヤッター本体を更新するとともに、室内側にも開閉操作が行える操作部を設置する。</li> </ul>

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		下手側通路床					・安全性の確保 ○	・扉下のプレートと段差が噛み合う原因になりえる。台車の通過時にも危険。 (舞台チームからの要望)	・小扉側は修正済み。大扉側は天井の解体工事が必要となる。
		下手袖階段				○	・バリアフリー対応	・下手袖からロビーに出る際、階段しがなく、車いすの方や荷物の移動などが大変。 ・下手の舞台袖からロビーに出るスロープがほしい。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		ステージ入口扉	○				・経年劣化による歪み	・下手の大きい扉が歪んでいる。開閉調整が必要。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		搬入用エレベーター		○			・ホール運用管理面の向上	・出演者の出入りを目視できるように、扉に開口を設けてほしい。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		搬入用エレベーター		○			・ホール運用管理面の向上	・搬入用エレベーターの間口を広げたい（3.7m、2間以上を希望）。 ・開延長ボタンがほしい。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		ピアノ庫—舞台間扉		○			・ホール運用管理面の向上	・現在ピアノがギリギリ通過できる幅になっているため、2.3m程度に扉巾を広げてほしい。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		下手袖スペース		○			・ホール運用管理面の向上	・ピアノをピアノ庫に収納する際、カガアナの机を移動しなくてはよい位置関係にできないか。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)
		バルコニー手すり					・安全性の確保 ○	・主催者や出演者が寄り掛かるため、バルコニー手すりの強度を高めたい。 (舞台チームからの要望)	・既存手すりの補強は難しいため、強度のある形状の手すりに更新する必要がある。

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		客席階段ノンスリップ					<ul style="list-style-type: none"> <li>客席階段のノンスリップ部に照明を設置したい。</li> <li>踏面寸法が均一でないため踏み外す確率が高い。本番中客席照度が落ちていると特に分かりづらい。</li> <li>照明は調光可能な仕様としたい。（舞台チームからの要望）</li> <li>階段の踏面部分に LED（ダークブルー）の足元灯をつける。（照明チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンスリップ LED の設置は可能と判断するが、給電ケーブルの敷設が可能かどうかの判断が必要となる。</li> </ul>	
		フロントサイドスポットライト					<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、フロントサイドスポットライトの設置環境上、灯体に不具合があった場合でも室外に出すことができない。また、無理な体勢での作業が強いられた危険であるため、環境の改善を行ってほしい。（照明チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントサイドスポット設置用の固定パイプの形状を変更して更新する。また、ムービングガススポットライト等の導入について検討が必要。</li> </ul>	
		音響調整室窓					<ul style="list-style-type: none"> <li>音響調整室のガラス窓が上下に閉まる形状で、かつ重量が重い。</li> <li>閉閉の際には、音響調整卓を避けて窓の前まで入り込まなければならぬ。</li> <li>閉閉が安全かつ容易な形にできないか。（音響チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）</li> </ul>	
		M3階			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、倉庫として使用しているが、全体的に狭い。</li> <li>M3階をもう少し広くしたい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積変更が発生するため実現は困難。</li> </ul>	
		シャッター脇非常口					<ul style="list-style-type: none"> <li>現在関係者スタッフの出入りができない。</li> <li>音楽ホールシャッター隣（駐車場への通路側）の避難時のみ開閉可能な出入口を、関係者スタッフは出入りできるようにしてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防との協議が必要。</li> </ul>	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
	メインホール ・音楽ホール楽 屋口	楽屋口		○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽屋口が同じなため、9時より前にオープンになった場合、許可を受けていないホール利用者も入ってきてしまう。</li> <li>・メインホールにイベンターが入っている場合、出入口を占領してしまう。</li> <li>・メインホールと音楽ホールの出入口を分けることができないか。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽屋口自体がそれぞれ独立しておらず、避難口となっているため、固定的な区画は困難である。ただし、扉形状等を工夫し、簡易パーテーション等で区画する対応は可能。</li> </ul>	
	メインホール ・音楽ホール動 線	シーリングスポットライ ト投光室動線				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違えてメインホールの照明スタッフが音楽ホールまで入ってくる可能性がある。</li> <li>・メインホールのシーリングへ行く動線と、音楽ホールへ行く動線を分けてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
	展示ホール	ホール床仕上げ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化によるキズや汚れが目立つホール床材を更新することが望まれる。（施設管理者からの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示ホールの利用状況を踏まえた上で、適正な床材を選定する必要がある。</li> </ul>	
		ホール天井仕上げ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化による汚れ等が目立つため、再塗装若しくは仕上げ材の更新を検討する必要がある。（施設管理者からの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上げ材の状態が良ければ再塗装とするが、状態が悪いようであれば更新を検討する。</li> </ul>	
		天井クレーン撤去					<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在使用していない機能であることから撤去。（施設管理者からの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	催し広場	室全体		○			・ホール基本性能の改善	・天井及び壁を二重化して防音性能を高めることが考えられるが、面積が現状よりも小さくなるため、検討が必要となる。	
		ロールバックチェア	○				・通路配置がアンシントリーなため、センターが取りにくい。 ・引き出し段数の調整（途中ストップ）仕様がほしい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	
		倉庫の増設		○			・機械室にスプリングラックを設置し、備品などの機材を置くようにしたい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	
		控室-操作盤スペース			○		・控室-操作盤スペース間にカーテン等、区切れるものがほしい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	
		控室カーテンレール			○		・控室の黒カーテンレールをストレートにしてほしい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	
		控室扉			○		・控室の扉のドアノブをレバーハンドル式にしたい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	
		ホール-控室間の段差				○	・ホール-控室間にある段差を解消してほしい。 （舞台チームからの要望）	（現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの）	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		扉の新設		○			・音響室に行く中通路と、機械室が通じるように扉を新設してほしい。 ・調整室から客席を通らずにトイレへ行けるようにしたい。 (舞台チームからの要望)	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	舞台事務所	舞台事務所		○			・スタッフの人数に対し手狭である。 ・増員を呼んでいる時に待機する場所がなく、事務所前階段で待機してもらいたい。 ・事務所を広くしたい。 (舞台チームからの要望)		
	アトリウム	アトリウム天井		○	○		・現行建築基準法における特定天井 ・法不適合部位の改善	・フェールセーフによる改修や構造の見直しによる方法等選択肢が複数ある。	
	タワー棟	特別会議室 円卓		○			・主催者が中央に持込プロジェクターを設置する際、円卓の中に入ろうとしても下をくぐるしかない。 ・円卓の一部を動かせるようにしてほしい。 (音響チームからの要望)		
		中会議室 スクリーン		○			・現在、移動用スクリーンを設置している。 ・常設で天井に巻取り式のスクリーンを設置したい。 (音響チームからの要望)		
		小会議室 スクリーン		○			・現在、移動用スクリーンを設置している。 ・常設で天井に巻取り式のスクリーンを設置したい。 (音響チームからの要望)		
		和室		○			・近年和室の利用頻度が著しく低下している。 ・練習室等、利用率の高い機能として再整備することが考えられる。 (管理運営者からの要望)		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
電気設備		エレベーター		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターがなかなか来ない。来ても満員で乗れないことが多い。</li> <li>タワー棟のエレベーターを増設したい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターシャフトはあると思われるが、床面積が増えるため検討が必要。</li> </ul>	
	メインホール	舞台袖コンセント		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ちよつとした雑電（掃除機など）で使用できるような平行電源口がない。</li> <li>平行電源口を増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
	音楽ホール	下手袖操作盤電源		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>下手袖操作盤位置に雑電で使用できるような平行電源口がない。</li> <li>雑電で使用できる平行電源口を増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
			ホール内不滅電源		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール内の不滅電源がコンモになっているところが多いので、知らずに容量オーバーになっていることがある。</li> <li>ホール内の不滅電源の系統をもっと分けてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
	舞台事務所	共用電気系統			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホール（舞台側）と関係ない電気スイッチがある。</li> <li>シャンデリア等（全ての電気スイッチ）の電気スイッチ割り振りの見直し。</li> <li>特にギャラリーのスイッチは無くしてほしい。</li> <li>舞台に絡まない電気スイッチは、警備室などに移動できないか。また双方で点け消しできる箇所もできれば良い。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		



区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
	展示ホール	電源廻りの再整備	○	○			・コンセントレール等の交換や、現在のホール使用に応じた形での電源環境の整備が求められる。 (施設管理者からの要望)		
		音響機器	○	○			・ワイヤレスマイク、ワイヤードマイク、CD、アンプ等の音響機器一式について経年劣化が生じているため更新が必要。 (施設管理者からの要望)	・一式更新を行う。	
	催し広場	客常天井照明	○	○			・客電が暗いため、展示会などでパンチライトを別途点灯することが多い。消費電力も大きく不経済。パンチライトは移動できる範囲も限られており、明るさのムラが出やすい。 ・客電をLED化し、パンチライトを廃止したい。 (照明チームからの要望)		
	アトリウム	照明電源			○		・アトリウムでオブジェ用照明を仕込むことがあるため、専用の電源がほしい（C型でなるべく人の通過を妨げない位置）。 (舞台チームからの要望)		
	タワー棟	監視モニター			○		・施設運用管理面の向上		
空調設備	タワー棟	13階・14階飲食店空調機	○				・空調機の設置位置が屋上で、かつ、熱だまりの環境の中に設置してあるため、空調効率が悪く、夏場における飲食店の営業に支障をきたしている。 ・機器の撤去撤出が困難なため、別のシステムにて改修を検討することが望まれる。 (管理運営者からの要望)	・高層階に空調機が設置してあるため、空調機の撤去撤出が困難な状況。 ・新たな方式による空調機の設置を検討する必要がある。	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
給排水衛生設備	メインホール	地流し		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈落の作業場から水を汲んだり、汚れた水を捨てたりできる場所がほしい。</li> <li>・現在は男性用のお手洗いにしか設置がない。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	
				○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にメインホール関係者とスタッフが利用している1つしかないため順番待ちになることが多い。</li> <li>・1階出待ロビーの女子トイレの個数を増やしてほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
	展示ホール	地流し		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いけばな展などの利用の際に使用することのできるSK等の設置が望まれる。（施設管理者からの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水設備を整備できる可能性について検討を行う必要がある。</li> </ul>	
舞台機構設備	(1) メインホール舞台機構設備								
	1) 吊物機 構設備	中割幕	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・中割幕開閉の手動化。</li> <li>・開閉電動モーター機構の廃棄、引綱の追加。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
		暗転幕	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・暗転幕の追加機能として、上限リミット設定、可変速機能がほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
		美術バトン	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術バトンのパイプ径を42.7φ若しくは48.6φとし、ラダー又はトラス形状としたい。（舞台チームからの要望）</li> <li>・美術バトンの積載荷重を1,000 kgに上げたい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		正面音響反射板		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>正面音響反射板の上下に、H=1,800、W=2,700程の扉を新設してほしい。（舞台チームからの要望）</li> <li>正面音響反射板の飛切を現状よりも3m上げたい。</li> <li>客席前方からの見切れが気になる。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
		照明ブリッジ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>各照明ブリッジ下に照明用吊り込みバトンを追加したい。（照明チームからの要望）</li> </ul>		
	2) 床機構設備	埋め台		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>埋め台の足と天板を一体型とし、キヤスター移動を可能としたい。</li> <li>ピアノが乗せられる強度としたい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
		道具迫り		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>段差が生じているため、レベル調整を行ってほしい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
	3) 幕設備	ホリゾント幕 中ホリゾント幕			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホリ幕、中ホリ幕を更新したい。</li> <li>筋が目立たないもの。（舞台チームからの要望）</li> <li>中ホリはリア照射可能なものほしい。（照明チームからの要望）</li> </ul>		
		袖幕、中割幕、一文 字幕、大黒幕			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>別珍以外で強度のある素材（モルトン、スーパーステージなど）で更新したい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
	4) 制御、操作系設備	操作卓		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>移動式操作卓とし、コンパクトな形状としたい。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	(2) 音楽ホール舞台機構設備								
	1) 吊物機 構設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	2) 床機構 設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	3) 制御、 操作系設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	(3) 催し広場舞台機構設備								
	1) 吊物機 構設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	2) 床機構 設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	
	3) 幕設備	袖幕	○	○				・袖幕を東西幕ではなく、普通の袖にしてほしい。 (舞台チームからの要望)	
	4) 制御、 操作系設備							(現状視察を踏まえ、改修の必要性について現地確認が必要と思われるもの)	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類			劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化			
舞台照明 設備	(1) メインホール舞台照明設備							
	1) 調光設備	調光ユニット	○	○		・経年劣化、機能改善	・LBr、SUS、客 SUS、FC 等の回路について半分程度を純直回路に変更し、移動型調光器を導入したい。 (照明チームからの要望)	・既存調光器盤を廃止し、全ての負荷に対し直電源（1φ3w 100/200V）を供給、移動型調光器及び直電源ボックスを整備。
		信号系	○	○		・経年劣化、機能改善	・LAN システムの導入 ・近年のスロットは多チャンネル化が進んでおり、DMX のチャンネル数では賅いきれなくなってきた。また、片側通行の信号で、トラブル時に原因究明に時間が掛かるため。 (照明チームからの要望)	・Ethernet 回線の敷設を行う。 ・回線はリング配線、二重化など、冗長性を有した回線として整備する。
	2) 負荷設備	各所コンセント	○	○		・経年劣化、法不適合部位の改善	・現行の電気用品取締法で禁止されている T 型コンセントを C 型 20A コンセントに更新。 (照明チームからの要望)	・全てのコンセントを C 型（200V は D 型）として改修を行う。
		プラグ	○	○		・経年劣化、法不適合部位の改善	・コンセントの C 型変更に伴い、各照明器具、ケーブル類のプラグについても C 型に変更する必要がある。 (照明チームからの要望)	・基本的にはほぼ全ての照明器具、ケーブル類の更新を行う。
		舞台奥 FC	○	○		・経年劣化、機能改善	・舞台奥側のフロア回路が少ないため、ギャラリ回路をバラって舞台奥 FC の回路を増設したい。 (照明チームからの要望)	
		PIN ルーム回路新設		○		・機能改善	・PIN ルームに、2kW エリアンダイダルスポットライト（Zoom）×12 台整備し、CL 機能を持たせる。 ・前舞台使用時の前明かりが無い場合、PIN ルームから照射したい。 (照明チームからの要望)	
		200V 直電源		○		・機能改善	・LBr、上手袖に 200V 直電源を増設したい。 ・持込の海外製スポットに対応可能な環境とするため。 (照明チームからの要望)	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
		アッパーホリゾントライト	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各色を上・中・下の3分割にする。</li> <li>・D/Lスイッチ (Dimmer/Line) を設け、回路はスイッチ部と同じBOXにする。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
		スポットライト	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1CL (30台)、Fr (64台) の灯具をコールドレフ (Low Noise) 1.5KWに変更したい。</li> <li>・灯体の経年劣化、照射効率の低下、熱収縮によるノイズ等が発生している。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
		ピンスポットライト	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンスポットライトの更新。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
		袖明かり		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の袖明かりではカバーできていない空間があるため、ギヤラリーの下端に調光可能なLED照明の設置が求められる。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
	(2) 音楽ホール舞台照明設備								
	1) 調光設備	調光ユニット	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・回路について半分程度を純直回路に変更し、移動型調光器を導入したい。 (照明チームからの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存調光器盤を廃止し、全ての負荷に対し直電源 (1φ3w 100/200V) を供給、移動型調光器及び直電源ボックスを整備。</li> </ul>	
		信号系	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・LANシステムの導入</li> <li>・近年のスポットは多チャンネル化が進んでおり、DMXのチャンネル数では賄いきれなくなっている。また、片側通行の信号で、トラブル時に原因究明に時間が掛かるため。 (照明チームからの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ethernet回線の敷設を行う。</li> <li>・回線はリング配線、二重化など、冗長性を有した回線として整備する。</li> </ul>	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	2) 負荷設備	ステージ回路	○	○			・ステージサイドの壁にウォールコンセントの増設又はフロアコンセントからの分岐回路を設置したい。 (照明チームからの要望)		
		バルコニー回路	○	○			・バルコニーのサイドの壁にウォールコンセントの増設又はフロアコンセントからの分岐回路を設置したい。 (照明チームからの要望)		
		フロントサイドスポットライト	○			○	・現在は、フロントサイドスポットライトの設置環境上、灯体に不具合があった場合でも室外に出すことができない。また、無理な体勢での作業が強いられた危険であるため、環境の改善を行ってほしい。 ・またコンパクトタイプの灯体（コールドレフ）へ更新したい。 (照明チームからの要望)		
		天井音響反射板ライト	○			○	・現在の状況では電球交換が非常に困難であり、加えて球切れが多い状況である。このため灯体の交換（例：LED灯具）及び設置部分の改修が求められる。 (照明チームからの要望)		
		客席後方回路					○	・現在、ピンスポットやプロジェクターを使用する場合、舞台から客席後方まで仮設ケーブルを敷設して対応しており、観客通行に支障をきたしている。 ・客席上下の60A回路各1口を客席後方に移設又は分岐して回路を整備してほしい。 (照明チームからの要望)	
								・客席後方のサイドの壁面部に、LAN 回線及びインカム回線を敷設してほしい。 (照明チームからの要望)	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	(3) 催し広場舞台照明設備								
	1) 調光設備	調光ユニット	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>回路について半分程度を純直回路に変更し、移動型調光器を導入したい。 (照明チームからの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存調光器盤を廃止し、全ての負荷に対し直電源（1φ3w 100/200V）を供給、移動型調光器及び直電源ボックスを整備。</li> </ul>	
		信号系	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN システムの導入</li> <li>近年のスポットは多チャネル化が進んでおり、DMX のチャネル数では賄いきれなくなっている。また、片側通行の信号で、トラブル時に原因究明に時間が掛かるため。 (照明チームからの要望)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ethernet 回線の敷設を行う。</li> <li>回線はリング配線、二重化など、冗長性を有した回線として整備する。</li> </ul>	
	2) 負荷設備	特別電源盤		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の特別電源盤の位置（下手）だけでは、上手での使用時に下手から上手へと電源ケーブルを渡すことになり、養生等で支障をきたしている。</li> <li>上手壁面に C 型×4 口のコンセントボックスを 2 面設置してほしい（下手盤からのバラ回路）。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
				○			<ul style="list-style-type: none"> <li>特別電源盤下部のネジ止め式の蓋について、ネジ自体が潰れており、無理やり固定している状態。</li> <li>使用に便利な音楽ホールタイプの蓋に改修してほしい。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
		フロア回路		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>追加設置したバトンの上手・中央・下手にフロア回路の一部を移設したい。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		
		ホリゾン幕裏回路		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の状況では、ホリゾン幕裏の回路は幕が下りていると使用できない。</li> <li>幕裏にある調光回路を上手に移設したい。 (照明チームからの要望)</li> </ul>		



区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
舞台音響 設備	(1) メインホール舞台音響設備								
	1) 音響設備	分電盤リモートスイッチ	○	○			・リモートスイッチが故障しているため、システムの立ち上げの際、アンプ室まで行って電源を入れなければならない。 ・既存スイッチの復旧若しくは音響室からアンプ室の電源を立ち上げられるようにしたい。 (音響チームからの要望)		
		音響調整卓	○				・システムが老朽化している。ステージ・客席等で遠隔操作ができない。 ・iPad などのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。 (音響チームからの要望)		
		プロセニアムスピーカ、 サイドスピーカ	○				・サイドスピーカは改修から10年以上経過しており、改修時期も違うので、プロセニアムスピーカとメーカーが異なる。 ・プロセニアムスピーカと同じ d&b のスピーカで統一したい。サイドスピーカは可能であれば壁に埋込式のコラムスピーカの形で使えるようにしたい。 (音響チームからの要望)		
		プロセニアムスピーカへの 割り込み回線		○			・プロセニアムスピーカに関して、使用状況に応じて遠・中・近のON/OFF をしているが、外部音響業者が使用する際に、一部をOFF にしてしまうとホール音響側の使用が制限されてしまう。 ・プロセニアムスピーカへの割り込み回線を作れるシステムとしてほしい。 (音響チームからの要望)		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
		エアモニターマイク	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化及びダイナミックマイクを使用しているため、明瞭度に欠ける。</li> <li>明瞭度の高いコンデンサ型のマイクに更新したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		三点吊マイク装置	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>三点吊装置・マイクが老朽化している。</li> <li>各吊装置の数値を確認でき、位置をメモリーできるものにした。また、三点吊装置とトップサスが干渉しないようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		チャームユニット	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のプザーは音量を調節できない。客席が騒がしいと聞こえにくい。</li> <li>チャームと同様音声ファイル出しにし、下手袖操作盤と音響室両方で操作できるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		ギャラリ回線	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>吊マイクや吊スピーカを設置する際、現状では回線をギャラリに一度引き上げてから大臣裏まで立下げなければならぬ。</li> <li>ギャラリで上手、下手で 16ch 程度直接回線を取れるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		フロアコンセント					<ul style="list-style-type: none"> <li>床の 16ch マルチ回線にマルチケーブルを差すと、ケーブルが干渉して蓋が閉まらず半開きの状態になり非常に危険である。</li> <li>CANARE の標準的なマルチケーブルを差した状態で蓋が閉められるように変更したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
		調光用ガナリ	○				・調光室から舞台上とやり取りできるトークバックマイクを増設したい。音響卓に立上げる方法もあるが、できれば音響卓を介さなくても良い方式が良い。 （音響チームからの要望）		
		袖中運用モニター スピーカ	○				・がなりやチャイムなどの音声が袖中で聞こえづらいためが多い。 ・袖中向けの運用用モニタースピーカをもっと出力あるものにした。また、舞台奥壁面にもスピーカがほしい。 （音響チームからの要望）		
		舞台内ウォール コントロール	○				・舞台後方について、動線の関係で床から回線が取れなくなるときがある。 ・舞台後方の床面でないところにマルチ回線を増設したい。 （音響チームからの要望）		
		前舞台向けモニター スピーカ	○				・前舞台使用時、モニタースピーカを仮設しないとマイクの音声が聞き取りにくい。演出上や見た目等の理由でスピーカが舞台上に立てられない場合がある。 ・前舞台使用時にモニター用で舞台中に向いた壁面埋込スピーカを増設したい。 （音響チームからの要望）		
		舞台中向けモニター スピーカ	○				・現在は催事ごとにモニタースピーカを仮設している。 ・舞台中に跳ね返りのスピーカを常設したい。 ・ポータルやブリッジに設置し、邪魔にならないような形が望ましい。 （音響チームからの要望）		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合			
		エレベーターマイク	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターマイクの低限高が現在 80cm で、催事によって対応しきれない状況。</li> <li>設置位置が縦帳の真下になるため、縦帳が下りている場合は使用できない。</li> <li>エレベーターマイクの低限高の変更及び、それに係る箇所の交換・改修・位置変更を行ってほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		舞台フロアコンセント		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージ袖上手・下手のフロアマイク回線、スピーカ回線の移動及び増設。</li> <li>床のマイク・スピーカ回線の位置が悪く、舞台装置等の出し入れがある場合など、コンセントの真上を通過する場所がある。また、バレイなどの催事時リリウムが敷かれてコンセントが使えない。</li> <li>フロアコンセントの位置を舞台の外側に移動したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		ブリッジ回線		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>現状ではポータルと 2 ブリッジに 2 回線ずつマイク回線があるが、各ブリッジにマイク・スピーカ・電源回線を増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		客席音響回線	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能劣化、安全性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席 19 列座席下のマルチ回線 A は 8 ch までしか個別に出していない。また外部業者がブースを設置することの多い客席最後列（28 列以降）付近にマイク回線が無いため、音響室から直接引き回している。電源も客席後方壁にあるので、引き回して床を養生する必要がある。2・3 階席にはマイク回線が無い。</li> <li>・19 列座席下のマルチ回線 A の個別に出ているチャンネル数を 8 ch から 16 ch にしてほしい。</li> <li>・28 列 21-32 席の座席下に、マイク回線・音響専用の C 型電源の増設、2・3 階席にマイク回線の増設を希望。（音響チームからの要望）</li> </ul>	
		ホール間トランク回線	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能劣化、安全性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインホールの同時中継が音楽ホールで行われることがある。その都度、メインホールから音楽ホールへの回線を引き回している。</li> <li>・メインホール、音楽ホール、催し広場を繋ぐトランク回線を増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>	
	2) 連絡設備	ITV カメラ 搬入口カメラ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入口に監視カメラを新設したい。</li> <li>・搬入物の有無の確認、シャッター付近の安全確認のため。（舞台チームからの要望）</li> </ul>	
		ITV カメラ 正面カメラ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能劣化、安全性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台正面 ITV カメラの設置位置が、現状の映写室内の位置では、客席後方に映像業者等がくると画面にかぶってしまうのと、バルコニーがかかってプロセニアムが見えない。</li> <li>・映写室内で外部業者がプロジェクターを設置したい場合に邪魔になってしまうことがある。</li> <li>・舞台正面 ITV カメラの位置を変更してほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		ITVカメラ オペレーター カメラ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者用カメラに経年劣化が生じているとともに、カメラ回線の位置が山台や楽器等で塞がれてしまう。</li> <li>・カメラ回線を塞がれない位置に移設するとともに、更新カメラ回線は遅延が無い（アナログ）仕様とする。 （音響チームからの要望）</li> </ul>		
			○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面的に更新したい。</li> <li>・インカムの不調が多く見られると、子機が新しくなることでシステムが不安定になる可能性がある。 （音響チームからの要望）</li> </ul>		
		インカム		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤレスインカムの系統を切替えて（例えば系統をスイッチで切替える）使えるシステムがほしい。</li> <li>・ワイヤレスインカムは照明チームが使用しているが、総合系にのせて使用しているため、系統を分けて照明系で使用してもらいたい。 （音響チームからの要望）</li> </ul>		
		楽屋等運営系スピーカー	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽屋スピーカーの出力が弱く、アッテイナーも軒並み効きにくくなっている。楽屋以外の運営系スピーカーも同様。また、地上デジタルによるテレビモニターとの時間差の影響で、現状楽屋の運営系の音声をテレビで聴いている。</li> <li>・楽屋等運営系スピーカーを更新し、楽屋についてはテレビモニターの音声に依存せずに運営系を流せるようにしたい。 （音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	(2) 音楽ホール舞台音響設備								
	1) 音響設備	音響調整卓	○	○			・ステージ・客席等で遠隔操作ができない。 ・システムを含めてのデジタルミキサーへの変更。iPad などのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。 (音響チームからの要望)		
		サイドスピーカー	○	○			・使用する際に毎回仮設している状況。 ・指向角度が広く、残響の多い音楽ホールにはあまり適さない。 ・残響が少なく明瞭度が上がるようなシステム（例えばラインアレイ）が望ましく、加えて仮設しなくても良いようなシステムが望ましい。 ・サウンドスピーカーを壁に埋め込み、コラムスピーカーの形で使えるようにしたい。 ・埋め込みが難しく、現状のように出し入れする形であれば、ホールの見栄えを損なわないコンパクトなもので、回線の接続も簡単にできるものが望ましい。 (音響チームからの要望)		
		シーリングスピーカー	○				・老朽化している。 ・残響が少なく、明瞭度が上がるようなシステムが望ましい。 (音響チームからの要望)		
		ステージ中向けモニタースピーカー	○				・現在、ステージモニタースピーカーを仮設で舞台にスタンドで立てている。 ・ステージ中に跳ね返りのスピーカーを常設したい。 (音響チームからの要望)		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		ワイヤレスマイク	○				・現在使用しているB帯のマイクは、2022年11月以降ほとんどのものが使用できない。また、システムが老朽化している。 ・周波数（B帯なら6波）を確保したい。 （音響チームからの要望）		
		三点吊マイク装置	○				・経年劣化及び、装置の設置状況が良くないため年数がかさむとケーブルがよれてきてしまう。 ・音楽ホールのスノコ状況に適するよう装置へ変更したい。 ・吊り装置の数値を確認でき、位置をメモリーできるものにしてほしい。また、三点吊装置とトップサスが干渉しないようにできないか。 （音響チームからの要望）		
		エアモニターマイク	○	○			・経年劣化及びダイナミックマイクを使用しているため明瞭度に欠ける。 ・明瞭度の高いコンデンサ型のマイクに更新したい。 （音響チームからの要望）		
		上手袖音響回線		○			・舞台上手袖に音響回線を増設したい。 （音響チームからの要望）		
		ステージ回線		○		○	・ステージ上のマイク回線が床面にしないため、マイク回線を取るたびに養生しなければならぬ。 ・バルコニーには床面にマルチ回線しかないので、回線を取るためにはマルチケーブルを介さなければならぬ。 ・ステージ上手・下手の壁面にマイク（マルチ）回線、スピーカー回線を増設したい。 ・バルコニーに個別のマイク回線を増設するとともに、上手側に平行電源を増設したい。 （音響チームからの要望）		



区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		客席回線	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・演出家等が座ることの多い客席 H 列付近の回線がインカムしか出ていない。</li> <li>・また外部業者がブースを設置することの多い客席最後列（X 列以降）付近に回線がないため、ステージや音響室から回線を直接引き回している。（音響チームからの要望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席 X 列 7-18 席の座席下にマイク回線、音響専用 C 型電源、インカム回線の増設。</li> <li>・客席 H 列 7-18 席の座席下にマイク回線、平行電源の増設。（音響回線及び電源ルートの検討が必要）</li> </ul>	
		下手袖操作盤回線	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・下手袖操作盤位置にマイク回線がない。</li> <li>・マイク回線の増設あるいはカゲアナバッチ盤位置からジャンプして渡せるようなフックを設置してほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		チャイムユニット	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のブザーは音量を調整できず、客席が騒がしいと聞こえにくい。</li> <li>・チャイムと同様に音声アイル出しにし、下手操作盤と音響室両方で操作できるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		フロアコンセント					<ul style="list-style-type: none"> <li>・床の 8 ch マルチ回線にマルチケーブルを差すと、ケーブルによって干渉して蓋が閉まらず半開きの状態になり非常に危険である。</li> <li>・CANARE の標準的なマルチケーブルを差した状態で蓋が閉められるように変更したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
	2) 連絡設備	楽屋スピーカー	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が生じており、保守点検でも更新をすすめられている。</li> <li>・楽屋スピーカーの更新。また、楽屋呼出が楽屋の廊下に聞こえないことがあるため、楽屋廊下の天井にもスピーカーを増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリアフリー 安全性			
		インカム	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が生じている。</li> <li>・システムが全体的に老朽化しているため、全面的に更新をしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		客席インカム回線				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席後方のサイドの壁面部に、インカム回線を敷設してほしい。（照明チームからの要望）</li> </ul>		
		上手袖インカム回線				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台上手袖にインカム回線を増設したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		ガナリマイク		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・調光室の連絡設備は、インカムを介して舞台上とのやり取りをしている状態。</li> <li>・調光室から舞台上とのやり取りができるトークバックマイクを増設したい。</li> <li>・音響卓に立上げる方法もあるが、できれば音響卓を介さなくても舞台上になるような形になると良い。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		運営系音声		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITVに関して、メインホールと催し広場の音声は下手袖まではきていないが、音響調整室のテレビでは音声が聞けない。</li> <li>・音響調整室のテレビでメインホールと催し広場の音声を聞けるようにしてほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	法令適合性	安全性			
	(3) 催し広場舞台音響設備								
	1) 音響設備	音響システム	○				・音響調整卓をはじめとしたシステムが全体的に老朽化している。 ・システムを含めてデジタルミキサーへの変更。iPad などのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。 (音響チームからの要望)		
		シーリングスピーカー	○				・鳴らない個体があるなど全体的に老朽化している。また、現状では系統がステージから見縦列で3系統になっている。 ・横列の系統分け（例えば1：ステージ上、2：客席前列、3：客席中列、4：客席後列のような系統）にしてほしい。 (音響チームからの要望)		
		ステージ中向けスピーカー				○	・ステージモニタースピーカーを仮設で舞台にスタンドで立てている。 ・ステージ中に跳ね返りのスピーカーを増設したい。 (音響チームからの要望)		
		ワイヤレスマイク	○				・現在使用している B 帯のマイクは、2022 年 11 月以降ほとんどのものが使用できない。また、システムが老朽化している。 ・周波数（B 帯なら 6 波）を確保したい。 (音響チームからの要望)		
		エアモニターマイク	○	○			・経年劣化及びダイナミックマイクを使用しているため明瞭度に欠ける。 ・明瞭度の高いコンデンサ型のマイクに更新したい。 (音響チームからの要望)		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		上手袖回線	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの回線を上手側で使用する場合、下手袖まで引き回している。</li> <li>・電源は下手から引き回したり、ピアノ庫内から扉を半開きにして引き回したりしている。</li> <li>・上手袖位置にマイク・スピーカー・平行電源・プロジェクト回線を増設したい。 (音響チームからの要望)</li> </ul>		
		ステージ奥回線	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、上手、下手ともに8chマルチ回線と個別2回線のみとなっている。</li> <li>・8chを個別で出してほしい。また、プロジェクト回線と平行電源も増設してほしい。 (音響チームからの要望)</li> </ul>		
		客席後方回線	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席ロールバック後方でマイクや電源を使用する場合、ロールバック下から回線を引き回している。</li> <li>・客席ロールバック後方壁面にマイク（マルチ）回線、平行電源を増設したい。 (音響チームからの要望)</li> </ul>		
		ワンポイント吊装置	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が生じている。</li> <li>・マイクも含め全面的な更新が求められる。 (音響チームからの要望)</li> </ul>		
		マイクコンセント	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・下手袖のマイクコンセント及びステージ後方上手・下手のマイクコンセントも同様に鍵付きの蓋が付いているが、使用するたびに蓋を開けなければならぬ。</li> <li>・コネクタにキャップが付いているような形にして、蓋をなくしてほしい。 (音響チームからの要望)</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
		チャムユニット	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のブザーは音量を調整できず、客席が騒がしいと聞こえにくい。</li> <li>チャムと同様に音声ファイル出しし、下手操作盤と音響室両方で操作できるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
	2) 連絡設備	ITV モニター	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台カメラを増設したい。</li> <li>平土間状態で死角が多いので、舞台カメラを2つにして客席側も監視できるように。（舞台チームからの要望）</li> </ul>		
		運営系スピーカ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化が生じている。</li> <li>保守点検でも更新をすめられている。</li> <li>調光卓付近のスペースに関しては、手で音量が調節できるパワードスピーカにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		インカム	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化が生じている。</li> <li>下手袖のコネクタがやや高い位置にある。</li> <li>全面的に更新し、上手・下手袖のコネクタはマイクと同じような位置にしてほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		ガンマイク		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>調光室の連絡設備は、インカムを介して舞台上とのやり取りをしている状態。</li> <li>調光室から舞台上とのやり取りができるトークバックマイクを増設したい。</li> <li>音響卓に立上げる方法もあるが、できれば音響卓を介さなくても舞台上になるような形になると良い。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合性			
	(4) 会議室・スタジオ関係舞台音響設備								
	1) 大会議室	音響システム	○				・経年劣化	・音響調整卓をはじめとしたシステムが全体的に老朽化している。 ・システムを含めてデジタルミキサーへの変更。iPadなどのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。 (音響チームからの要望)	
		スピーカ	○				・機能劣化	・稀に横向きに使用することがあるが、スピーカの位置は変わらないので横方向からマイクの音が聞こえることになる。 ・後方にもスピーカを増設して、使用するスピーカを切替えられるようにしたい。 (音響チームからの要望)	
		ワイヤレスマイク	○				・経年劣化	・現在使用しているマイクで、平成34年(2022年)11月以降使用できない型番のものがある。また、システムが老朽化している。 ・全面的な更新を行いたい。 (音響チームからの要望)	
		マイク回線	○				・機能劣化、安全性の確保	・後方(特に入口側)で有線マイクを使う際に、現状では窓側から引き回さなければならぬ。 ・入口側にマイク回線がほしい(2回線程度)。 (音響チームからの要望)	
		監視カメラ					・安全性の確保	・監視カメラが無いため、現場に行かないと利用状況が分からない。 ・各部屋に監視カメラを増設し、舞台事務所から催事の様子を確認できるようにしたい。 (音響チームからの要望)	

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）	
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合				安全性
	2) 特別会議室	音響設備	○				・経年劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者台に内蔵のPAシステムが老朽化している。</li> <li>・マイクのガリが酷い。</li> <li>・新規購入若しくは内蔵のマイクシステムの更新。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
			○				・経年劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響調整卓をはじめとしたシステムが全体的に老朽化している。</li> <li>・システムを含めてデジタルミキサーへの変更。iPadなどのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
			○				・経年劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円卓内のマイクが老朽化している。また集音しにくく補助的な拡声しかできない。</li> <li>・テーブルに卓上マイクが並んでいて、スイッチが付いているような会議用のシステムを導入したい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
	3) スタジオ3号	音響設備	監視カメラ					・安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラが無いため、現場に行かないと利用状況が分からない。</li> <li>・各部屋に監視カメラを増設し、舞台事務所から催事の様子を確認できるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>	
			○				・経年劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響調整卓をはじめとしたシステムが全体的に老朽化している。</li> <li>・システムを含めてデジタルミキサーへの変更。iPadなどのタブレットで遠隔操作できるものになりたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
			○				・機能劣化、安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が調整卓を触れないことになっているが、音量を調整したときに不便。</li> <li>・調整卓を大会議室のように室内に配置して、利用者がフェーダーで音量を調整できるようにしたい。</li> <li>・調整卓には無断で使われないように鍵を閉められるような機構にしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		

区分	部位・設備		劣化及び課題分類				劣化課題状況等	要望等	備考（方策・課題・留意点等）
	部位 設備名称	構成機器名称	経年劣化	機能劣化	性能劣化	法令適合 バリア 安全性			
		監視カメラ				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラが無いため、現場に行かないと利用状況が分からない。</li> <li>・各部屋に監視カメラを増設し、舞台事務所から催事の様子を確認できるようにしたい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		
		コントロールルーム 線		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタジオ内とコントロールルームの回線が老朽化し、ノイズやガリが出たりすることがある。</li> <li>・現状の使用状況から考えると回線数が多いので、更新は最小限とし、スタジオとコントロールルームの間に新たに猫窓を増設してほしい。（音響チームからの要望）</li> </ul>		



### 3 少子高齢化等に係る要件に対する対応状況

#### (1) 高齢者向けサービス要件に対する対応状況

第3章2(2)①の高齢者向けサービス要件に対する川口総合文化センターでの対応状況をまとめたものが下表である。

図表 4-3-1 バリアフリー(高齢者対応)要件への対応状況一覧

項目	区分等	内容	実施状況	
サービス・機能	時間的に、アクセスを容易にするサービス(工夫)	高齢者の鑑賞しやすい時間帯の公演(例:公演を平日の昼間にして、高齢者に配慮)	済	
		場所的に、アクセス等を容易にするサービス(工夫)	済	
	高齡者の経済的負担を軽減するサービス(工夫)	高齡者への客席案内などの積極的な手助けや協力		
		足の不自由な方への福祉関係のタクシーの活用(送迎)		
	その他の施設利用をサポートするサービス(工夫)	公演チケット予約者に対する「観劇バス」の運行(静岡県舞台芸術センター)		
		高齡者割引(一定年齢以上の割引、シニア料金の設定、老人会の一部負担によるチケットの安価な設定等)	済	
		高齡者にも使いやすい形でのインターネットの活用の検討		
		読みやすいプログラム(文字サイズの拡大、文字量への配慮)		
		高齡者向けの情報だけを抽出したチラシを作成		
		補聴器のハウリング防止案内、日本語の演劇作品における日本語の字幕(高齡者向け)など、聴き取りに支障のある方に対する適切な対応		
	施設・設備	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	高齡者向け先行予約	
			車いすの貸出	済
			階段の幅、高さの見直し	一部済
手すりの設置			一部済	
段差の解消			一部済	
動線の簡素化				
サイン表示				
エレベーター設置			済	
エスカレータ設置			済	
車いす用のスロープ設置			済	
トイレの改善(洋式化、水回りの使用方法改善)	一部済			
照明の照度改善	一部済			
自動ドア設置	済			

項目	区分等	内容	実施状況
		駐車場の十分なキャパシティの確保	済
		入口付近の車寄せ設置	済
		避難路の確保	済
		その他	
職員研修	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	高齢者対応に関する職員研修	
		災害時等非常時の対応方法の検討、避難訓練	済
		ガイドライン、マニュアル、Q&A等の作成	
高齢者を対象とした事業	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	高齢者を対象とした事業内容の検討（鑑賞事業、参加型事業、アウトリーチ）	済
		事業を行う上で連携するパートナーの検討（地域のアーティストや文化活動団体等）	済

多くの要件について現状でも対応してきている。送迎に係る交通手段など、施設個別でのサービスというよりも公共施設全般として、あるいは市としての対応検討が必要なものや、主催者側での提供が適当なものなどについては個別の施設としての対応は見送られている。

それでも十分ということではなく、一部実施済みを含めて、以下のような声が挙がっている。

- ・川口市民への割引や優先予約
- ・ホール入口、スタジオ入口、控室とホールの段差解消
- ・座席ナンバープレートの視認性向上
- ・楽屋からホール舞台まで車いす移動できる動線の確保
- ・トイレ改修（エアータオル）
- ・2階に休憩できる椅子等の増設

改修課題にみられるように、段差の解消など一部未対応部分があるものについては今後対応することが期待される。

(2) 障がい者向けサービス

第3章2(2)②の障がい者向けサービス要件に対する川口総合文化センターでの対応状況をまとめたものが下表である。

図表 4-3-2 バリアフリー(障がい者対応)要件への対応状況一覧

項目	区分等	内容	実施状況
サービス・機能	場所的に、アクセス等を容易にするサービス(工夫)	客席案内などの積極的な手助けや協力、誘導	
		車いすなどの介助	
		送迎	
	経済的負担を軽減するサービス(工夫)	料金の割引、減免	一部済
	その他の施設利用をサポートするサービス(工夫)	筆談、要約筆記	
		手話通訳	済
		車いすや補聴器などの貸出	済(車いす)
		盲導犬の受入	済
		席の変更	済
		優先入場	
		通常禁止されている場所での飲食の許可	
		車いす用席の先行販売	
		主催者、観客への情報提供	
		障がい者対応可能内容の周知	
施設・設備		バリアフリー・ユニバーサルデザイン	障がい者用の駐車場の設置、確保
	車いす専用座席の設置、確保		済
	オストメイト、音声ガイドなどトイレ設備の改善		済
	スロープの設置		済
	介助者用の座席確保		済
	館内表示、解説書などの点字化		済
	磁気ループの設置		一部済
	防音室、親子鑑賞室の設置		
	多目的トイレの設置		済
	車いす用エレベーターの設置		済
	エレベーターの音声案内		済
	点字ブロックの設置		済
	その他(搬入経路の段差解消など)		簡易対処済
職員研修	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	障がい者対応に関する職員研修	
		障害者手帳の見方の周知(駐車場警備員含む)	済
		関係する法律の周知(障害者差別解消法等)	
		介助のための資格取得補助	
		災害時等非常時の対応方法の検討、避難訓練	済
		ガイドライン、マニュアル、Q&A等の作成	済

項目	区分等	内容	実施状況
障がい者を対象とした事業	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	障がい者を対象とした事業内容の検討	
		事業を行う上で連携するパートナーの検討	

高齢者向けの対応と同様に、ハード面では障がい者向けの要件についても既に対処済みのものが多いが、

- ・ホール内1階に障がい者用トイレの設置
- ・ホール客席後方身障者席の収納場所の確保

など、更なる対応を求める声もある（利用者等へのアンケート調査より）。

## 4 少子高齢化等に伴う施設サービスの拡充について

主としてソフト面での取組であるため、実現時期等については大規模改修時に限るものではないが、本調査研究を通じて気づいた今後の改修課題として記すこととする。

### (1) 世代間の格差への考慮

#### ① 動作速度の違い

広い心で譲り合う精神を育むことが望ましい解決であるが、昨今の社会現象をみると、多くの利用者が同時に訪れるイベント等、主に劇場やホール利用において、扉付近や幅の狭くない通路箇所では高齢者や障がい者等の動作速度と若者等の動作速度の違いから、思わぬトラブルが生じる可能性もある。

そのため、将来的には歩行通路等においても歩行速度等に考慮した通路ルールを設け、床面に目安となる区分け帯を設けることも有効である。

#### ② 価値観の違い（丁寧さと合理性）

若者世代であればネットを活用した利便性の高いサービス、高齢者では人的なコミュニケーション等による丁寧で分かりやすいサービスなど、世代によって求めるサービスの質が異なる。

提供する側では無理に区別する必要はなく、広範囲な対応ということになるが、限られた資源での対応となるため、定期的に利用者の声を拾い、最適な対応に取り組むことが期待される。

### (2) 利用しやすさと居心地の良さ

#### ① 付帯サービスの拡充

「図表 2-1-12 平成 29 年度 月別利用料収入推移（全体）」にみるように、施設利用収入の構成において、貸出資機材の利用料収入が 25%を占めていることから、使い勝手の良い貸出資機材の更新も必要に応じて検討すべき対象といえる。

現在、施設内の飲食サービスについては施設の窓口を通じて建物内外の複数の事業者から必要な飲食物を出前することが可能な対応となっている。そのため、引き続き対象店舗の拡大や健康バランスに配慮した食事等のサービス提供情報を拡充し、利用者に提供することが期待される。

#### ② 居心地の良い環境演出

居心地の良さは人により様々であるといわれる。また、同じ人でもその時々で異なる。刺激のない静けさを好むときもあれば、反対に刺激にあふれたにぎわいを好むときもある。

また、人々が集まる施設では季節感を醸し出すための装飾や演出が行われるのが一般的である。

そのため、臨機応変に空間を演出する仕掛け機能について、必要な設備や機器等を含めて、今後の更新での機能選択において考慮することも有効である。



## 第5章 大規模改修に伴う課題と対応





## 第5章 大規模改修に伴う課題と対応

### 1 大規模改修要件に関する今後の検討課題

#### (1) 改修要件の精査

施設・設備に関する改修要件の具体化に向けては、今後、基本計画、概要設計等を行い、改修方法を絞り込む必要がある。そのためには、専門家による現地調査を通じて、改修要件を精査する必要がある。

なお、改修候補の絞り込みに際しては、本調査研究における考え方を手掛かりとすることができる。

本調査研究では改修すべき要件のアウトラインの整理により、例えばバリアフリー関連については網羅的に棚卸調査した今日的要件との突合等を行っていることから、ソフト面からのアプローチとしての検討が課題である。

#### (2) 優先順位付け

本調査研究において改修実施に向けての考え方を整理していることから、安全性を第一に、利便性や経済性に配慮し、最適な方法でバランスの取れた取組とすることを示している。

休館を伴う大規模改修の実施では、利用者全体への影響面から、エレベーターの改修や椅子の入替など、休館時に行うことが適当である改修を優先する必要がある。

しかしながら、改修内容については、休館期間をどの程度設けることができるか、どの程度の費用と期間でできるかも影響する。

また、休館せずに対応が可能な改修については、今後どのように優先順位付けするか、利用者の声を定期的に収集分析し、投資利益率の観点からも検討していくことが必要である。

上記のような今後の課題を踏まえ、大規模改修に伴う影響課題について考察する。

## 2 大規模改修に伴う影響課題

### (1) 一般の市民利用者への影響について

大規模改修に係る影響評価のため、利用者アンケートについては、ホール棟施設の主要利用者として学校関係者、タワー棟を含めた施設利用者として一般利用者（市内外の個人又はグループ等）に対してアンケート調査を実施した。

#### 〈調査概要〉

調査方法：一般来館者への手渡しアンケート、学校関係者（主として市内の幼稚園～高校）へは郵送によるアンケート

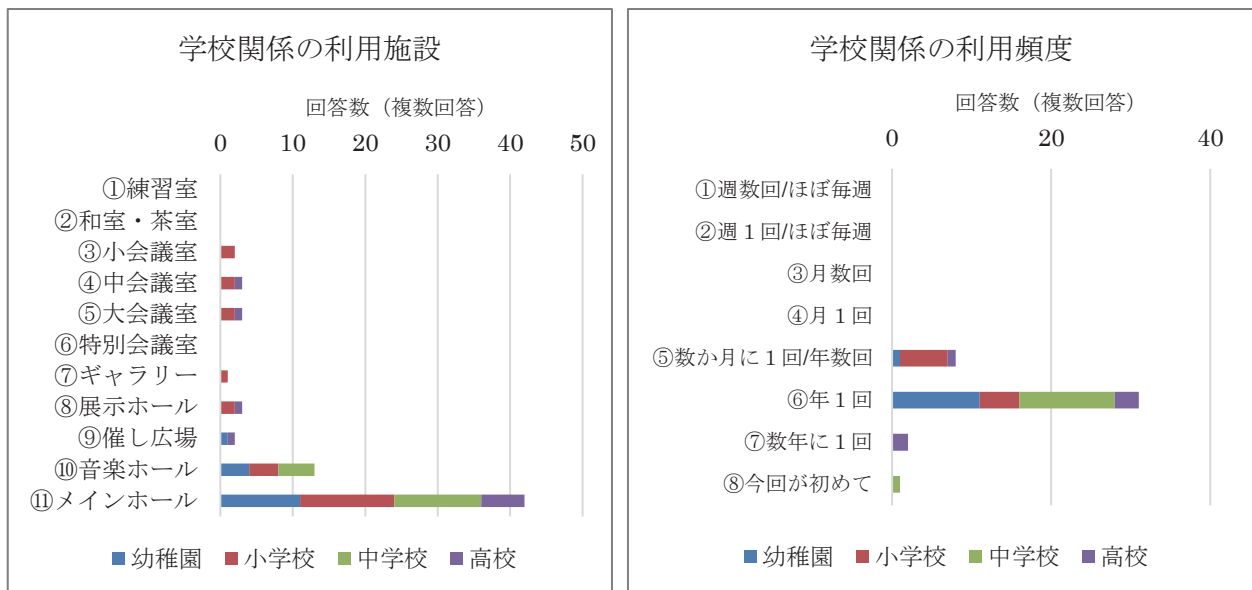
調査期間：平成 30 年 12 月中旬～平成 31 年（2019 年）1 月中旬

回答件数：146 件（学校関係 50 件、その他一般利用者等 96 件）

#### ① 学校関係者

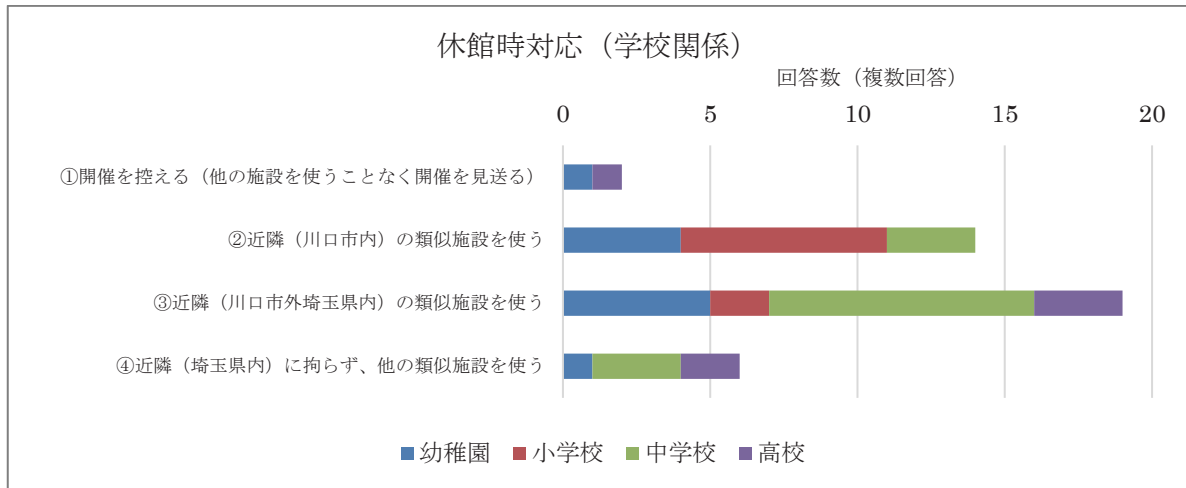
学校関係者の主な利用施設（複数回答）はメインホールや音楽ホールが多く、利用目的は音楽関係の発表会・コンクールが多かった。そのため、年 1 回の利用が多い回答となっている。

図表 5-2-1 学校関係のアンケート結果(利用施設と頻度)



休館した場合の対応（複数回答）に関しては、近隣の類似施設を探して利用するところや、自由回答では体育館など学内施設があるところでは数回に分けるなどして学内での対応を検討する回答も見受けられ、また中には開催を見送るとする回答もあった。多くのところでどうするかはそのときにならないと分からないものと思われる。

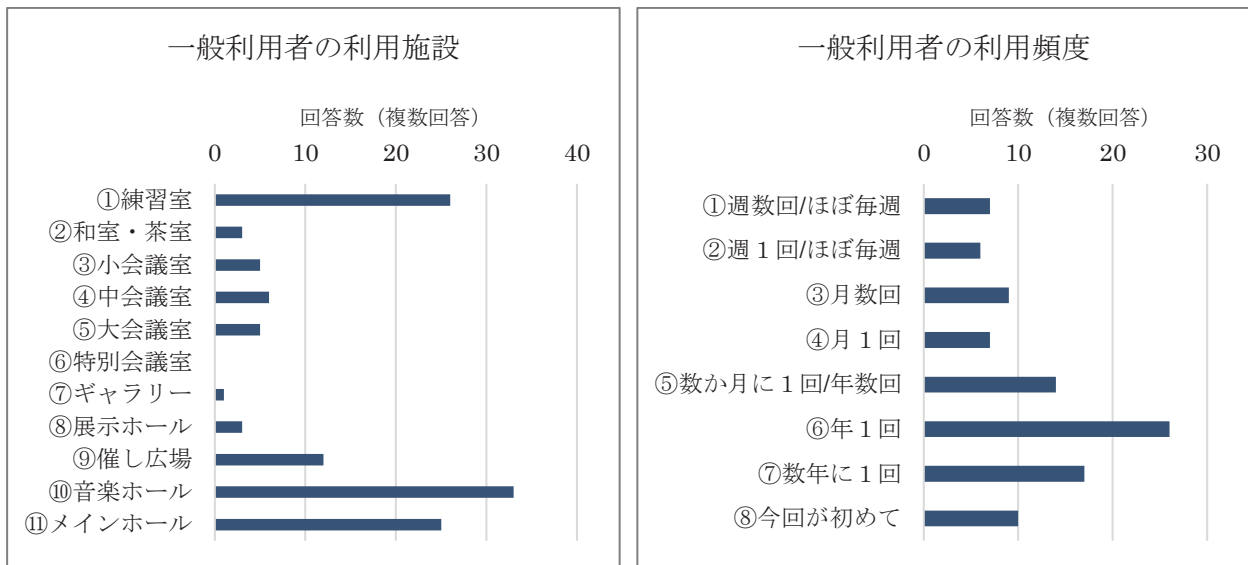
図表 5-2-2 学校関係のアンケート結果(休館時対応)



② 学校関係以外

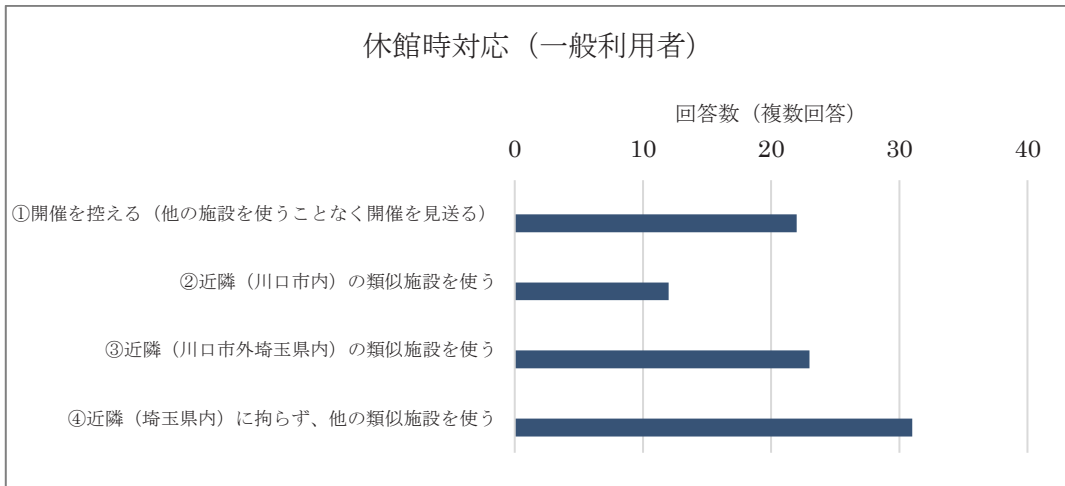
学校関係以外の一般利用回答者の属性をみると、市内が4割、市外が6割であった。回答者には大学のサークルや地元のオーケストラ、各種団体が含まれる。そのため、学校関係以外であっても発表会や演奏会等での利用も多く、音楽やダンス等の練習など、定期的な利用では音楽や舞踊のサークル活動での利用が多くなっている。

図表 5-2-3 一般利用者のアンケート結果(利用施設と頻度)



休館時には市内外の近隣での類似施設利用とするところが多いが、他を使うことなく開催を見送るとの回答も多かった。

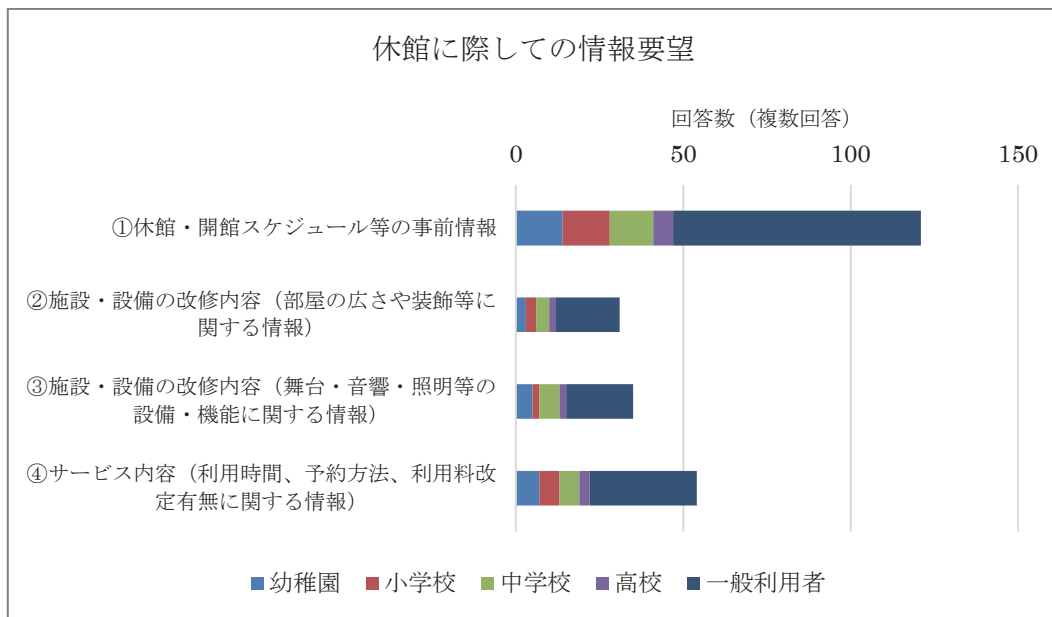
図表 5-2-4 一般利用者のアンケート結果(休館時対応)



### ③ 休館対応要望

休館となった場合の対応として求める情報についての回答では、休館・開館のスケジュールに関する事前の情報提供の要望が最も多く、次いでサービス内容に関する情報となっている。

図表 5-2-5 改修等で休館することになった場合に欲しい情報



## (2) イベント主催等の民間事業者への影響について

主としてメインホールを利用する大口ユーザであるイベント主催会社3社に対する調査結果より、参考とすべき内容を以下に示す。

### ① 川口総合文化センターを選択する理由

プロモーターが川口総合文化センターを選択する理由として、立地・アクセス、客席数(2,000席)、搬入面、職員・会場スタッフの対応に関する評価が高いことが挙げられている。一方、音響、照明、バリアフリー面に関しては選択理由とされていなかった。これは、コンサート等で必要な音響や照明に関する資機材については主催者側で準備するためと思われる。

#### 【その他参考回答】

- ・ 川口総合文化センターでないと満たされない点としてスケジュールの確保、リハーサルスケジュールの融通性、ツアー初日の場合などの仕込み。
- ・ その他「事務職員の対応の良さ」

### ② 改修に伴う休館について

川口総合文化センターが休館した場合でも、全社ともに県内外に関係なく開催を行う予定との回答であった。

休館する場合に希望する情報については休館・開館スケジュールの事前情報、次に改修内容に関する情報、利用料改定に関する情報であった。イベント主催者は条件に合う施設詳細を広く把握しているためといえる。

一方、他の施設の空き情報など代替施設の情報は求められていない。

代替施設はプロモーターが自ら手配することが想定されるため、代替施設の情報提供よりも、休館・開館スケジュールの事前情報について可能な限り早い段階で告知することが、改修影響の抑制につながると考えられる。

#### 【その他参考回答】

- ・ 休館を避けてほしい年・時期については、通年、オリンピック開催期間前・開催期間中、春・秋。
- ・ 休館に関する対応が優れていた施設とその対応方法については特に回答はなかった。
- ・ 休館に関するアナウンス時期に関しては、最低1年半～2年以上前までに企画会社及び担当者宛に希望。

### ③ ホールの座席数について

メインホール及び音楽ホールの座席数に関して、全社とも現状の座席数以上を望む回答であった。また、メインホールについては2,300～2,500席程度への増席が有効との意見があった。

席数が多い方が1回の開催当たりの収入が増えるためであり、先の川口総合文化センターを選択する理由から、ホール選択時の目安として各席数2,000席以上ということがあるようである。

### (3) テナント等の民間事業者への影響について

学校関係者及び一般利用者へのアンケートと同時期に実施した入居テナントへのアンケート調査結果（回収5件）をみると、休館期間によっては入居見直し検討を行うとするところは1件であり、休館しても再開時は今まで同様に入居していきたいとするところが4件であった。

休館影響については、なるべく早い時期に（できれば2年以上、遅くとも1年前に）情報提供してもらうことを希望する回答であった。

### 3 大規模改修の実施に向けた今後の検討課題

Web 等で大規模改修の事例を調査する中で、改修要件とは別にいくつかの課題が指摘されていたことから、ここでは今後留意すべき課題や取組について示す。

#### (1) 利用者への対応について

第5章2(1)の学校関係者や一般の利用者へのアンケートの中で、要望等に関する自由回答により声を拾った。昨年度のアンケートと同様にトイレの数やエレベーターへの要望が多かった。

学校関係者では、特に幼稚園については園児が一斉にトイレ利用することになり、トイレの数だけでなく高さの問題についても意見があった。トイレ用に安全な台座を用意するなど、利用者の様々な利用シーンを想定し、付帯設備や備品等で柔軟に対応することが必要と考えられる。

一般利用で目立った意見はエレベーターの待ち時間が長いというものであった。エレベーターは主要な大規模改修の検討項目であるが、既に高速エレベーターを導入しており、タワー棟に新たなエレベーターを追加するだけのスペース確保が容易ではないこともあり、1回当たりの輸送能力(搭載人数)を多くすることも含めて検討することが必要である。

影響評価のアンケートから、早めのアナウンスが関係者に共通した要望であり、大規模改修の工程の具体化に合わせ、適時的確な情報提供に努めることが肝要である。

宇都宮市文化会館事例にみる休館中の影響と対策は以下のとおりである。

#### 【再掲】

- 改修工事に関するアナウンスの時期と方法
  - ホールの予約抽選を1年前から行うため、改修工事開始の1年3か月程度前から利用者や予約抽選者へ口頭での連絡、及び1年前からホームページでの予定告知。
  - 宇都宮市広報や毎月会館で発行している行事予定での周知。
- 改修工事に伴う休館中の影響と対策について
  - 事前の影響把握について
    - ◇ 市や財団が主催する事業を事前に把握し、栃木県総合文化センターなどに対して優先予約を依頼。
    - ◇ 一般の利用者から休館期間に対する予約があった際には、近隣の文化施設等を案内。
  - 代替施設の確保について
    - ◇ 機材の置場等→宇都宮市文化課にて市内の倉庫を別途確保。
    - ◇ 代替施設との連携→栃木県総合文化センター、各地区市民センターやホールなど。

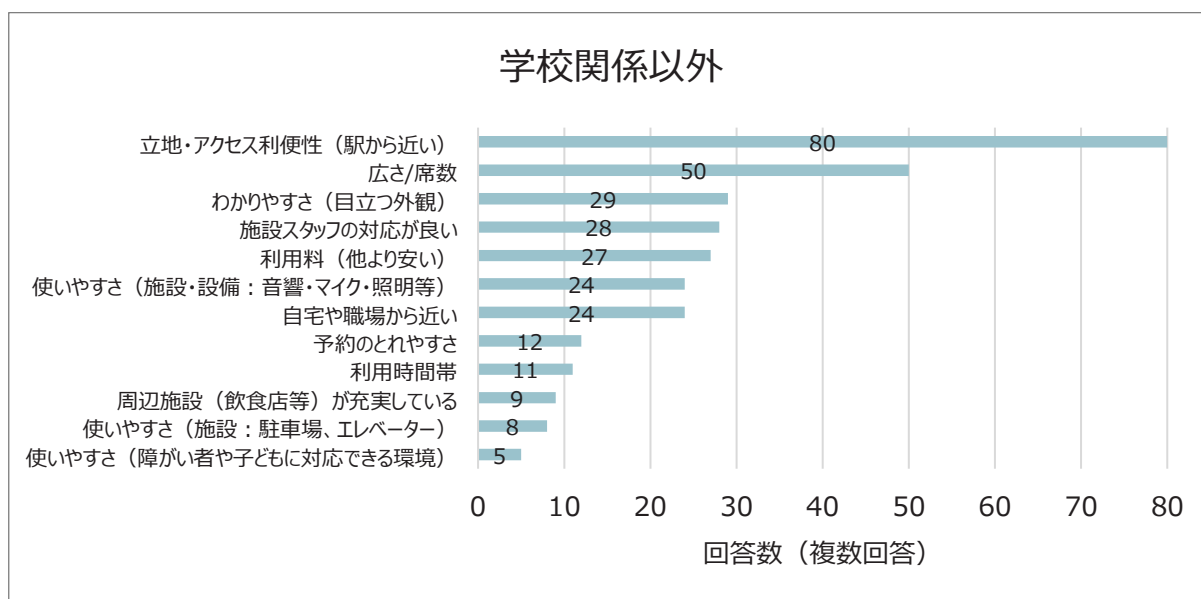
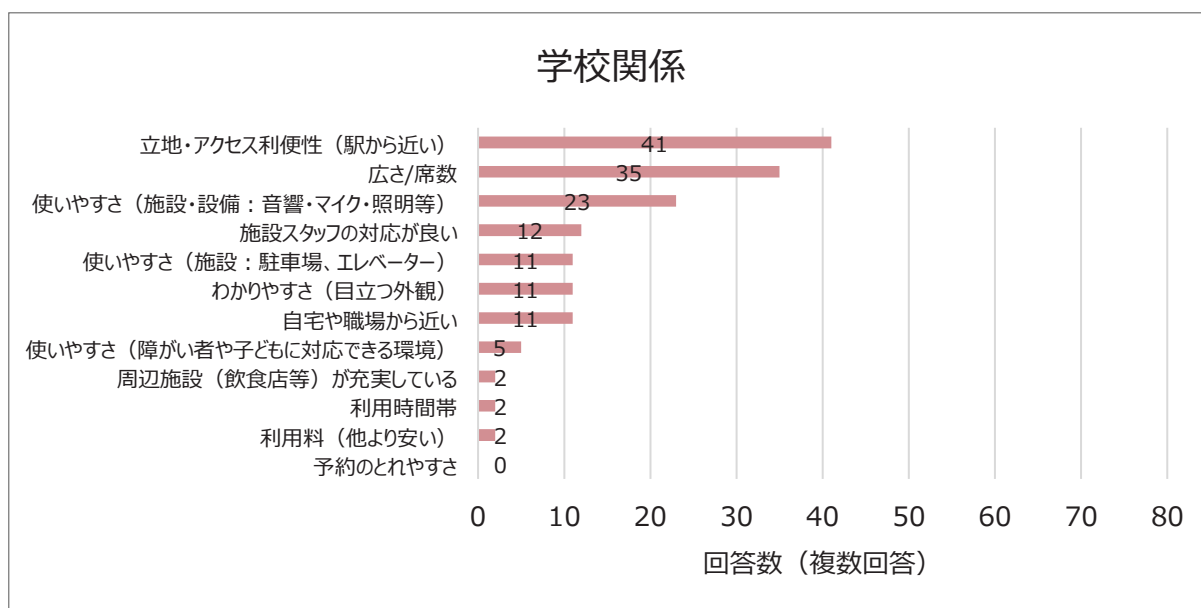
## (2) 恵まれた立地環境を活かした変化するニーズへの柔軟な対応

利用者のアンケート結果では、選ばれる理由として「立地・アクセス利便性」、「広さ・席数」が高い割合を示していた。

展示ホールは多目的な用途に対応可能なフラットで広い屋内スペースを持つことから、様々なニーズに合わせた使い方が期待できる。

比較的予約が少ない時期に適したイベントなど、様々な活用シーンを考えた設備等の検討が期待される。

図表 5-3-1 川口総合文化センターを選ぶ理由(利用者アンケートより)





### (3) 今後の調達実施に向けた対応について

#### ① 改修要件に対する設計仕様、工法選択の適正化

同じ要件を満たすための方法については、複数の工法が存在し、その工法によって工期も人材も必要な資機材も異なるため、費用が大きく異なるものも少なくない。

例えば特定天井の改修であれば、直天井による方法、天井仕上げ材撤去等軽量化による方法、落下防止ネット等による対策などの対処方法があり、直天井による方法では、支柱の組み方による強度設計による方法では資材の選択によっても費用が異なるなど専門的な知識を必要とする。また、改修時のことだけでなく、改修後の保守費用など、将来的なライフサイクルコストでの最適化を含めた工法選択やスペック等の詳細仕様の検討が期待される。

#### ② 最適な改修実施に向けた推進体制の構築

①の実現のためには、発注者の立場を支援する建築に係る専門家（建築設計事務所やコンサルタント等）と実際に工事を請け負う（工事設計を行う）建設業者とを調達し、前者については設計から施工終了まで一貫して工事監理を支援してもらうことが重要である。

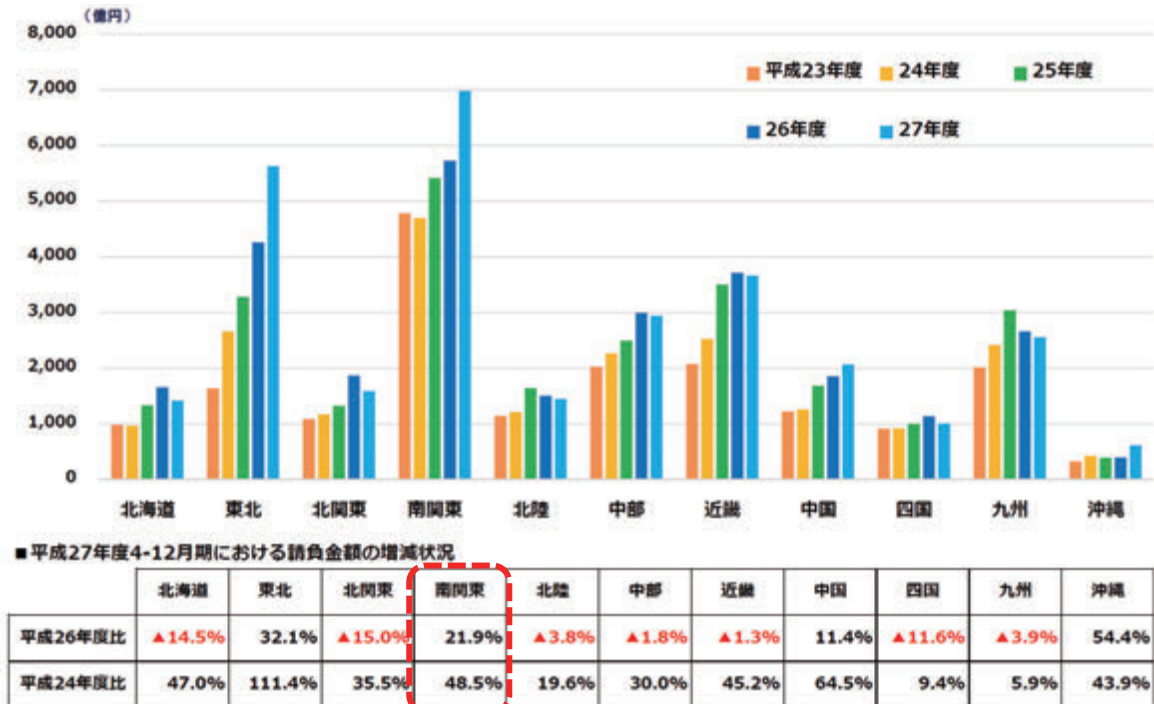
目先のことを考えれば費用や調整時間の増加に映るかもしれないが、トータルで見れば最適な工法等の選択により、将来のライフサイクルコストを含め、発注者にとっての安全性をも含めた改修の実施が期待できる。

(4) その他留意事項

① 建設業を取り巻く環境変化

図表 5-3-2 は、公共事業の事業量の推移である。オリンピックに向けた建設ラッシュの影響もあり、南関東における請負金額は増加傾向にあり、金額的にみて最も大きい。また、ややペースは緩くなったものの、震災後の復興のため東北での請負金額の増加もある。

図表 5-3-2 建設投資の状況 公共事業の事業量の状況(建築工事)



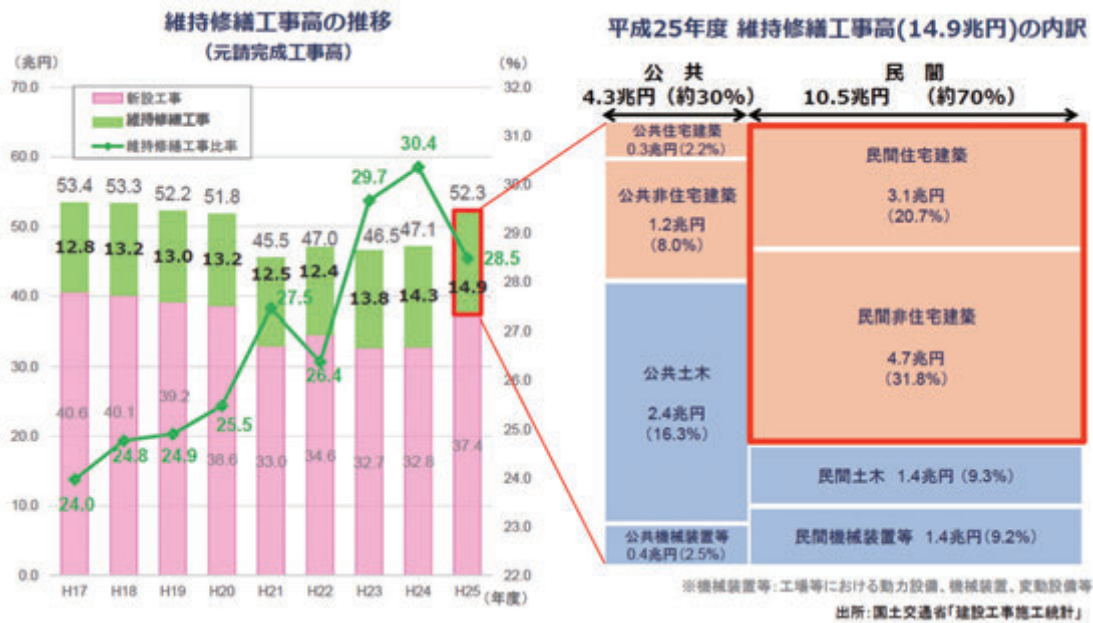
※「請負金額」は、建築に関する公共工事に係る請負金額を集計したもの。  
出所：北海道建設業信用保証株式会社・東日本建設業保証株式会社・西日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(出所)「建設業を取り巻く情勢・変化 参考資料」(平成 28 年3月2日 国土交通省)より

新設と修繕を区別した工事高の推移を示したものが図表 5-3-3 である。

これをみると、新設工事のみならず維持修繕工事も増加傾向にあることが分かる。高度成長期の建設ラッシュで整備された各種公共施設の老朽化が進み、施設・設備については、全国的に更新に係る需要が今後も急速に増加することが見込まれている。

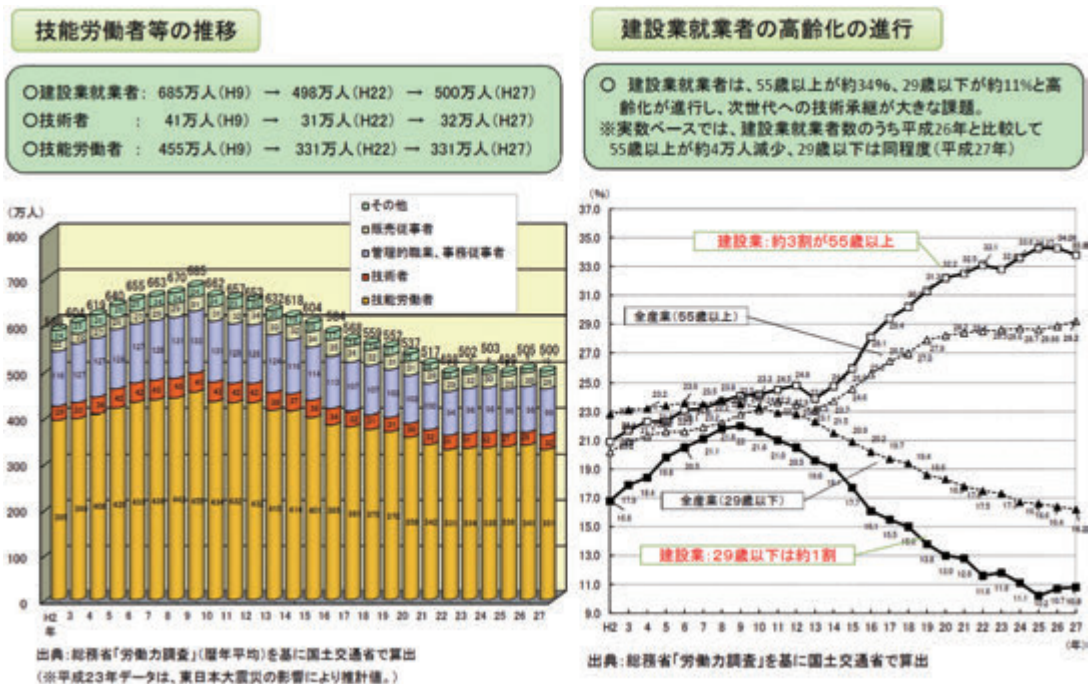
図表 5-3-3 維持修繕の工事高推移



(出所)「建設業を取り巻く情勢・変化 参考資料」(平成 28 年3月2日 国土交通省)より

工事等の需要量が増加し、今後も需要が増大することが見込まれる中、図表 5-3-4 にみるように、建設業における就業者は減少から微増に変化してきてはいるものの (海外労働者に支えられている部分あり)、就業者の高齢化に伴う大量退職など、将来的な労働力不足と技能の質の低下は今後拡大する可能性が高い。

図表 5-3-4 建設業従事者数の推移



(出所)「建設業を取り巻く情勢・変化 参考資料」(平成 28 年3月2日 国土交通省)より

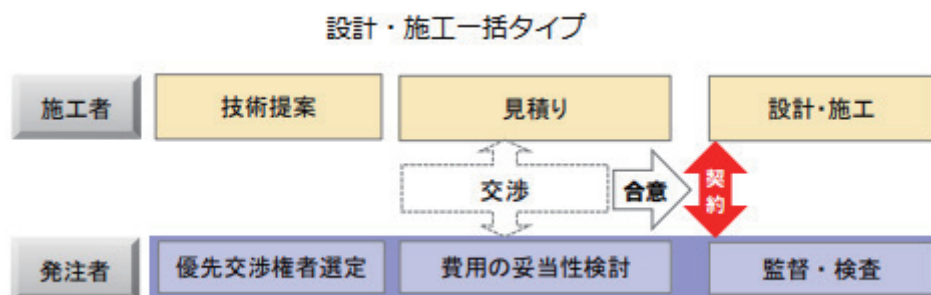
## ② 実現性のある費用と仕様とするために

小田原市市民会館の建て替え発注で不落札を繰り返す事例など、思うような調達ができないケースが各地で生じたこともあり、今後の建設業関係の工事需要の増加と人員の減少により、質を確保した発注での受注確率が低下することが懸念されることから、民間の建設事業で行われている柔軟な発注・契約方式を公共工事に導入するため、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（平成 26 年 6 月 4 日に施行）において、「公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成 17 年法律第 18 号）」（以下「品確法」という）の第 18 条に「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」（以下「技術提案・交渉方式」という）が規定された。通称「技術提案・交渉方式」と呼ばれている。国土交通省より運用ガイドラインも示されている。

「技術提案・交渉方式」として、「設計・施工一括タイプ＝デザインビルド方式」と「技術協力・施工タイプ＝ECI 方式」、「設計交渉・施工タイプ」の 3 種類が示されている。

設計・施工一括タイプであるデザインビルド方式は、設計段階から施工業者が関与・参画するものであり、受注者が設計・施工ともに担い、選定時に工事価格を決定し、発注者と契約を済ませてから設計を開始することで手戻りを無くそうというものである。優先交渉権者選定後、価格交渉を経て、設計と施工を一括して契約することから、比較的短い期間で設計と施工を一括で契約するための交渉能力が発注者側に必要となる。調達時の不調は軽減されるが、工事価格を見据えた設計内容に抑制される可能性は残る。

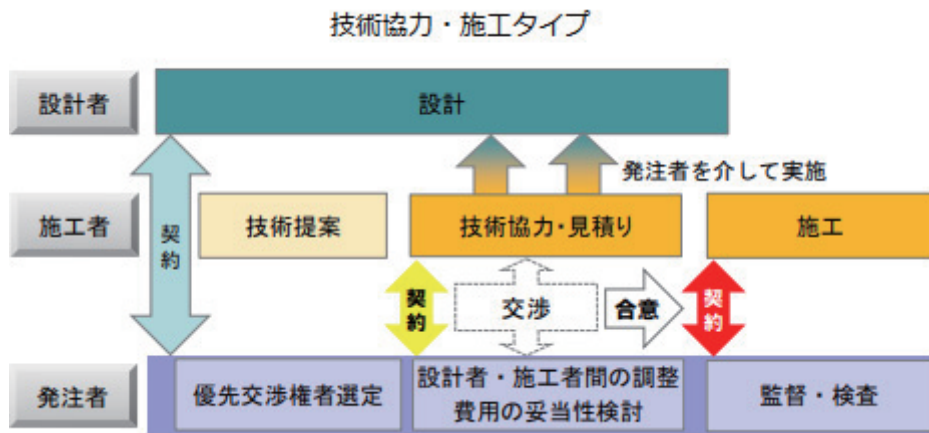
図表 5-3-5 設計・施工一括タイプ



（出所）「技術提案・交渉方式に関する運用ガイドライン」より

技術協力・施工タイプである ECI 方式（ECI は「アーリー・コントラクター・インボルブメント」の略）は、設計段階から施工業者が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行うものである。優先交渉権者選定後、別途契約している設計業務に対して技術協力業務により当該技術提案を反映させた後に優先交渉権者と施工の契約を行う。そのため、技術協力と見積りを始める前に、発注者と施工者は「技術協力委託契約」を結ぶとともに「基本協定書」を交わす必要がある。その上で、実施設計完了後に施工業者と価格交渉し、合意に至った場合に工事契約を結ぶ流れである。発注者側に高い調整能力が求められるため、別途建設コンサルタントを調達することも必要である。建設コストの縮減、工期短縮を図れる点がメリットとされる。

図表 5-3-6 技術協力・施工タイプ



(出所) 「技術提案・交渉方式に関する運用ガイドライン」より

設計交渉・施工タイプは、優先交渉権者選定後、優先交渉権者による設計を実施し、その後に施工の契約を行うものである。優先交渉権者が実施する設計に対する的確な判断や指示を行う能力が発注者側に必要となる。そのため、この場合も必要に応じて建設コンサルタントを調達することも必要である。

図表 5-3-7 設計交渉・施工タイプ



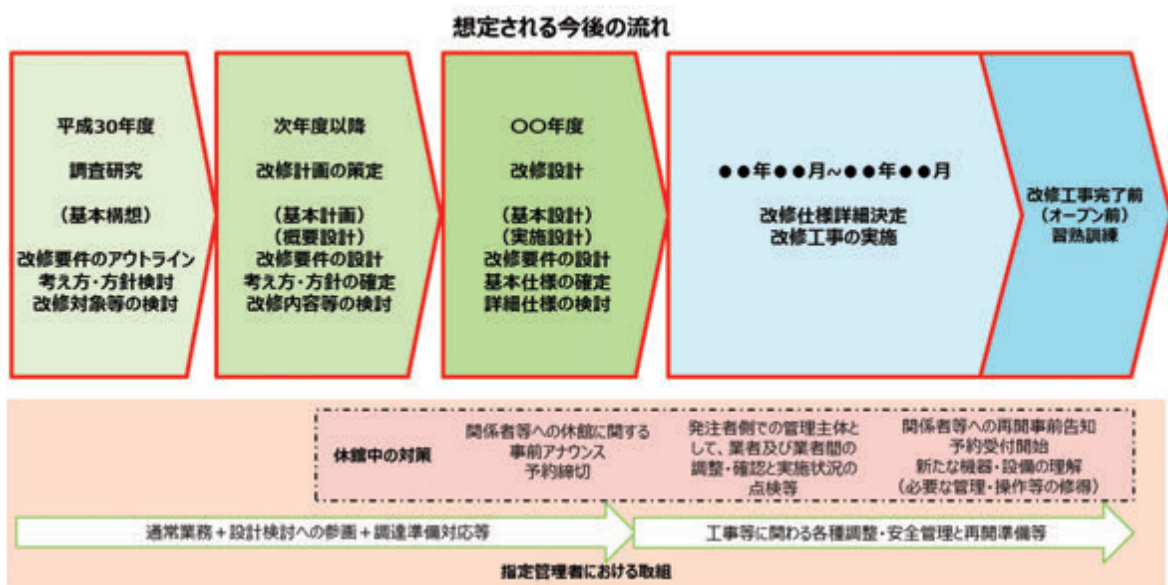
(出所) 「技術提案・交渉方式に関する運用ガイドライン」より

要求仕様等の条件が明確である場合には設計・施工一括タイプの選択が可能であるが、不確定要素が多い場合には、その他の方法を採用することが適当であり、図をみて明らかなように、どのタイプであったとしても施工業者との交渉と合意が必要であることから、建設コンサルタントの支援を仰ぐことが適当である。発注者の立場に立ち、仕様内容を熟知した専門家であることが望ましいため、計画段階から関与している建築設計事務所等（建設コンサルタント等）が継続的に関与する体制とすることが適当である。

#### 4 大規模改修の実施に向けた今後の流れ

今回の共同調査研究は、今後進めるべき大規模改修に向けて、基本的な考え方や方針、改修対象に関するアウトラインを確認することが目的であり、その中で少子高齢化に係る要件を広く確認するなど、構想としての位置付けであり、今後、しかるべき手順において実施の考え方や方針、さらには改修要件について決定していくこととなる。何をどこまで更新するのか、どのような方法で実現するかなど、今後検討する中で費用等も明らかになるため、本調査研究においては費用については言及することはしていない。

図表 5-4-1 今後の流れ



## 調査研究委員会名簿





## 調査研究委員会名簿

委員長	さとう 佐藤	しんや 慎也	日本大学理工学部建築学科 教授
委員	さわだ 沢田	たつや 龍哉	川口市 市民生活部長
	ふるさわ 古澤	みつぎ 貢	川口市 生涯学習部長
	こにし 小西	しげる 茂	公益財団法人川口総合文化センター 専務理事
	ほり 堀	しゅんすけ 俊輔	指揮者
	おかだ 岡田	きみこ 公子	川口四季倶楽部 代表
	こがわ 古川	まきお 牧雄	一般財団法人地方自治研究機構調査研究部 上席研究員 兼法制執務部長兼研修部長
事務局	せぎり 瀬切	ゆうこ 裕子	川口市 市民生活部次長 自治振興課長
	はすぬま 蓮沼	ひでき 英樹	川口市 市民生活部 自治振興課 課長補佐
	たかはし 高橋	ひろまさ 弘昌	川口市 市民生活部 自治振興課 主査
	よしだ 吉田	かよ 佳代	川口市 市民生活部 自治振興課 主任
	くぼた 久保田	さとし 智	一般財団法人地方自治研究機構調査研究部 主任研究員
	まちだ 町田	ゆうた 祐太	一般財団法人地方自治研究機構調査研究部 研究員
基礎調査 機関	よねもり 米森	けんじ 健二	有限会社空間創造研究所 取締役／一級建築士

(順不同 敬称略)



## 資料編

- 1 首都圏の文化会館・音楽ホール一覧（参考）
- 2 アンケート調査票



## 資料編

### 1 首都圏の文化会館・音楽ホール一覧（参考）



## 注意

本資料の使用に当たっては次の点に留意されたい。

- ・ 平成 30 年 7 月時点で Web 上に公開されている情報を基に作成しているため、既に廃止又は名称が市町村合併前の旧施設名のままの場合があること
- ・ 公開されている限られた一部情報、関連する複数の関係情報から記載している施設もあり、古い情報が含まれている可能性もあるため、現状等とは合致しない情報内容の可能性が  
あること

※ 掲載順序については、所在別＞最大ホールの収容人員規模別に整理した。



首都圏の文化会館・音楽ホール一覧（平成30年7月調べ）

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
東京国際フォーラム	東京	5,012		132	1997	21		平成21年から10ヶ年計画で、大規模改修工事を実施。 HPに大規模改修の専用ページあり <a href="https://www.t-i-forum.co.jp/general/repair/">https://www.t-i-forum.co.jp/general/repair/</a>	
NHKホール	東京	3,742			1973	45		「現在地で建て替え」発表 ホール含め工事に約20年 平成32年（2020年）の東京五輪・パラリンピック後に着工 し、平成37年（2025年）に報道スタジオなど一部施設の 運用開始を目指す。同じ敷地内にあるNHKホールの建て替 えを含めると、全ての工事が終わるまでに20年近く掛かる見込 み	
日比谷公園大音楽堂	東京	3,114			1929	89	休館中		
東京文化会館	東京	2,303	649		1961	57	1997 2014	平成9年から11年、17か月（15か月休館）：大ホールの 舞台奈落を下に掘削し、舞台反射板を舞台床下格納式に変 更、フライの吊下げ機構を増設等 平成26年（6か月間）：裏方廻り部分（1F事務室や4 F会議・応接室等）の改修	
昭和女子大学人見記念講堂	東京	2,230			1980	38		参考：外壁タイルを改修（平成29年10月完了予定）（出 所：2017年度事業計画）	
Bunkamura オーチャードホール	東京	2,150			1989	29	2011	舞台機構、照明設備、音響設備、空調設備の改修をはじめ、 一部の客席、来館者用トイレ、楽屋なども改修	
渋谷公会堂	東京	2,084			2019		建替え中	平成31年度（2019年度）オープン予定	
府中の森芸術劇場	東京	2,027	522	520	1991	27			
サントリーホール	東京	2,006	432		1986	32	2007	平成19年4月2日から同年8月31日まで改修工事のた め休館し、同年9月1日にリニューアルオープン	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
東京芸術劇場	東京	1,999	841	300	1990	28	2011	ホワイエにスロープや昇降機を設置するなど、車いすのまま正面玄関から直接大ホール1階客席にたどり着けるようになった他、オストメイト対応の多機能トイレ6基も新たに設置するなどといったバリアフリー強化	
オリンパスホール八王子	東京	1,870			2011	7			
新国立劇場	東京	1,810			1997	21			
新宿区立新宿文化センター	東京	1,802	210		1979	39	2007	開館から28年目の平成19年の3月から約1年かけて実施し、平成20年4月にリニューアルオープン	
文京シビックホール	東京	1,802	371		2000	18			
すみだトリフォニーホール	東京	1,801	252		1997	21			
東京オペラシティ	東京	1,632	286		1997	21			
メルパルクホール TOKYO	東京	1,582			1971	47			
江戸川区総合文化センター	東京	1,497	500		1983	35			
練馬文化センター	東京	1,486			1983	35		平成34年度（2022年度）目標、音響等設備及び天井の改修計画の決定	



ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
練馬文化センター	東京	1,486							平成18年5月リニューアルオープン。
太田区民ホール／アブリコ	東京	1,477		400	1999	19			
パルテノン多摩	東京	1,414			1987	31	2020		平成30年5月基本計画素案策定、平成30年8月頃に基本計画として決定する予定。基本実施設計は平成30年10月以降に着手予定。基本計画素案では、平成32年度（2020年度）～平成33年度（2021年度）にかけて1年6か月施工、大ホール使用中止期間1年7か月＋全館休館1年8か月を想定。
板橋区立文化会館	東京	1,400	350		1982	36			平成33年（2021年）～平成37年（2025年）を目標に大規模改修を行う。
日生劇場	東京	1,330			1963	55	2015		平成27年7月～平成28年5月 舞台設備更新に伴い休館
かつしかシンフォニービルズ	東京	1,318	298		1992	26			
調布グリーン・ホール	東京	1,301	300		1977	41			
北とぴあ	東京	1,300	402		1990	28			
なかのZero（中野区もみじ山文化センター）	東京	1,292	550		1993	25	2016-2017		（1）本館① 大ホール天井耐震化工事：建築基準法改正に伴う耐震性能向上② 舞台音響設備の更新（スピーカー・アンプ・釣マイク等）③ 客席照明のLED化※このほか、大屋根葺き替え、外壁タイル一部張りの替え・シーリング、外部床タイル一部張り替え等

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
								<p>(2) 西館① 小ホール天井耐震化工事：建築基準法改正に伴う耐震性能向上② エレベーター設置（2基）によるバリアフリー化</p> <p>○エレベーター（11人乗り）：本館との間に設置 1階から2階ロビーへ</p> <p>○エレベーター（3人乗り）：西館事務室側入り口階段を一部撤去して設置</p> <p>1階・中階・2階に停止</p> <p>* 既存エレベーターに乗り継ぎ可</p> <p>③ 小ホール客席椅子更新：幅48cm→52cm/客席数550席→507席④ 小ホール舞台音響設備の更新（スピーカー・釣マイク等）⑤ 小ホール残響の改善：天井・内装の改修に伴う改善⑥ 客席照明のLED化</p> <p>平成29年4月20日にリニューアルオープン。（ただし、小ホールは平成29年5月18日）</p>	
武蔵野市民文化会館	東京	1,252	425	1984	34		2016		
江東公会堂 ティアラウこう とう	東京	1,234	140	1994	24				
ルネこだいら/小平市民 文化会館	東京	1,229	401	1993	25				
福生市民会館	東京	1,210		1976	42				
世田谷区民会館	東京	1,202		1959	59		2024	<p>平成28年度：基本構想</p> <p>平成30年度：基本設計</p> <p>本庁舎と合わせて整備（概算事業費410億円：建設385億、解体15億、移転・引越3億、調査設計・監理3億）</p>	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
立川市市民会館 アミュ ー立川 (たましん RISURU ホール)	東京	1,201	246		1974	44	2014		
めぐろパーシモンホール	東京	1,200	200		2002	16			
昭島市民会館 KOTORI ホール	東京	1,139	200		1982	36		平成 11 年に舞台照明調光設備の改修 ※平成 29 年計画より。短期目標 (5 年程度 平成 33 年 度(2021 年度) まで) 長寿命化計画を策定。中期目標 (10 年程度 平成 38 年度(2026 年度) まで) 長寿命化 計画に沿った改修事業を進める。	
サンパール荒川 荒川区 民会館	東京	1,120			1975	43	1992 2015	平成 21 年度に天井とアスベスト改修実施 平成 27 年度に 2 回目の大規模改修工事を実施	
ひの煉瓦ホール(日野市 民会館)	東京	1,094	208		1985	33		※平成 27 年長期修繕計画書より。建物部位、設備の修繕、 更新周期を算定し、劣化調査に基づいた建築後 65 年間の修 繕計画を作成し、適正な維持管理を図ることを目的とする	
浅草公会堂	東京	1,085			1977	41		長寿命化対象として今後実施検討	
品川区総合区民会館 きゅりあん	東京	1,074			1989	29			
武蔵村山市民会館 (さくらホール)	東京	1,032	258		1983	35		(仮称) 生涯学習センターの整備の検討に合わせ、市民会 館の再配置等を検討。また、同センターの整備時期を見据え て、建物・舞台設備等に関する中期的な修繕・更新計画を策 定。 平成 35 年度 (2023 年度) を目標に (仮称) 生涯学習セ ンター基本計画を策定	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
瑞穂ビューパークスカイホール	東京	1,010	300		1990	28		平成32年(2020年)更新:17億円試算	
ギャラクシティ西新井文化ホール	東京	902			1993	25			
銀座プロッサム中央会館	東京	900			1974	44	休止中	平成30年6月21日~平成30年10月28日は改修工事のため、仮事務所において営業。 ホール舞台設備・音響機器・調光機器取替, 客席クリーニング等 122,184千円	
町田市民ホール	東京	853			1978	40		※再編計画より。平成30年度~平成38年度(2026年度)に大規模改修に向けた検討及び調整を進める。	
都立多摩社会教育会館ホール	東京	849			1987	31			
紀尾井ホール	東京	800	250		1995	23			
八王子市芸術文化会館 いちよホール	東京	800	288		1994	24			
かめありリリオホール	東京	780			1996	22			
第一生命ホール	東京	767			2001	17			
狛江エコーホール	東京	728			1995	23			
三鷹市公会堂	東京	718					2013	平成25年3月にリニューアルオープン	
東大和市民会館(ハミングホール)	東京	714			2001	17			
羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	東京	700			2005	13			
秋川キララホール	東京	700			1989	29			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
東京カテドラル聖マリア大聖堂	東京	700			1964	54		2007	トップライトとステンレス外装を一新
イイノホール	東京	694			2011	7			
西東京市保谷こもれびホール	東京	662	250		1998	20			
三鷹市芸術文化センター	東京	625	250		1995	23			
日経ホール	東京	596			2009	9			
青梅市民会館	東京	585			1966	52	2017.3.31 閉館		
墨田区曳舟文化センター	東京	582			1987	31			
セシオン杉並	東京	578			1989	29			
小金井市民交流センター - (小金井宮地楽器ホール)	東京	578			2012	6			
浜離宮朝日ホール	東京	552			1992	26			
草月ホール	東京	530			1977	41			
江東区文化センター	東京	524			1982	36			
大田区民プラザ	東京	509			1987	31			
石橋メモリアルホール	東京	508			1974	44		2007	平成22年5月にリニューアルオープン 定評のあった旧ホールの音響を再現し、新たにバルコニー席を設け、また、防振のためホール全体を浮床構造とし、録音にも対応できる音楽空間（株式会社永田音響設計）

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
西東京市市民会館	東京	502			1970	48	RENEW	2019.3 閉館予定	舞台の奥行・幅を拡張し、オーケストラ演奏にも対応（清水建設） 622席から減少
IMAホール	東京	500			1987	31			
大森ベルポート アートリウム	東京	500			1996	22			昭和63年6月に着工 A館及びB館・C館・D館は、輪になって並んでおり、中心部にはアトリウムと呼ばれるイベントスペースがある。（A:オフィス、B:レストラン・ショップ、オフィス、C:レストラン・ギャラリー、オフィス、D:レストラン・ショップ、オフィス）
八王子市南大沢文化 会館	東京	500	270		1996	22			平成30年1月、2月にホール設備の一部改修 幼児室→利用中止 （旧）主催者控室→（新）控室兼幼児室
府中市立府中グリーン プラザ	東京	494			1980	38	2018.3.1 閉館		
清瀬げやきホール	東京	480			1975	43		2010	リアイニング計画（内側増築（50㎡以内）、外側増築（1/2以内）という新たな構造方針を展開） 舞台ホール客席数の増加、音響性能の向上が最優先項目
東村山市立中央公民 館	東京	457			1980	38	RENEW	2016.3.1 開館	耐震化等改修工事、老朽化した空調設備、トイレ、エレベーター、ホール座席等を更新
中央区立日本橋公会 堂／日本橋劇場	東京	424			1999	19			
目黒区民センターホール	東京	417			1981	37			
成城ホール	東京	414			2009	9			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
トッパンホール	東京	408			2000	18			
A B Cホール	東京	400			1975	43	閉館	本社移転に伴い売却 平成22年に地上24階のオフィスビル「芝公園フロントタワー」	
星陵会館	東京	400			1982	36			
日暮里サニール	東京	400			1989	29			
鳥山区民センター	東京	385			1979	39			
国分寺市立いずみホール	東京	370			1990	28			
江東区総台区民センター	東京	350			1979	39			
くになち市民芸術小ホール	東京	340			1987	31			
台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	東京	338			1987	31			
ヤマハホール	東京	333			2010	8			
王子ホール	東京	315			1992	26			
竹の塚地域学習センター	東京	306			1978	40			
HakujuHall	東京	300			2004	14			
七生公会堂	東京	300			1979	39			
JTアートホールアフィニス	東京	256			1995	23			
ルーテル市ヶ谷センター	東京	250			1983	35			
音楽の友ホール	東京	224							

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
大泉学園ゆめりあホール	東京	176			2002	16			
日仏会館ホール	東京	150			1995	23			
関交協ハーモニックホール	東京	148							
ムジカーザ	東京	120			1995	23			
松戸市文化会館 森のホール2 1	千葉	1,955	516		1993	25			
市川市文化会館	千葉	1,945	448		1985	33		ホール等については、市の文化芸術活動の拠点であることを考慮し、利用実態を分析しながら類似施設や他の集会施設との機能統合を検討する。平成 29 年度から個別計画の策定を進めている。	
千葉県文化会館	千葉	1,790	252		1967	51		長寿命化計画にて大規模改修の方針 県施設更新全体の必要経費試算により財源確保検討の段階	
柏市民文化会館	千葉	1,632	300		1972	46	2015	耐震化、大ホールの椅子入替 改修費用は約 12 億 7600 万円	
市原市市民会館	千葉	1,527	495		1974	44		平成 31 年 (2019 年) 2 月～同年 6 月 トイレ改修予定	
習志野文化ホール	千葉	1,475			1978	40	2018	平成 30 年 1 月～同年 12 月休館 平成 30 年 11 月～平成 31 年工事 20 年延命 天井耐震化、客席・舞台の床、照明・音響・空調、防水・外壁	
聖徳大学川並記念講堂	千葉	1,406			1980	38			
野田市文化会館	千葉	1,366			2005	13			
浦安市文化会館	千葉	1,300			1981	37	2016- 2017	平成 29 年天井等改修実施	



ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
八千代市市民会館	千葉	1,262	460		1973	45		2013	平成 25 年 4 月リニューアルオープン 平成 23 年 9 月～平成 24 年 11 月改修工事 天井等耐震補強、大ホール、小ホールの照明、音響、舞台機 構等各種全般、エレベーター設置、フラット化、多機能トイレ、 サイン
銚子市青少年文化会館	千葉	1,250			1971	47			(当面は必要な補修で対応、将来複合化)
東金文化会館	千葉	1,213	340		1987	31			施設の経年劣化が進行してきていることから、いかに長期的な 計画をもって施設整備を図っていくかが、大きな課題になってい るものと捉えている
松戸市市民会館	千葉	1,212			1964	54		1993	平成 5 年森のホール 21 に伴う廃止論もあったが延命化で平 成 25 年まで活用可能とされ、その後も稼働
君津市民文化ホール	千葉	1,200	502		1990	28			
南総文化ホール	千葉	1,200			1997	21			
成田国際文化会館	千葉	1,188	300		1976	42		1989	平成 20 年～平成 22 年 延命化から建替えへ変更検討した まま
四街道市文化センター	千葉	1,157			1981	37			平成 24 年～平成 25 年に耐震化工事実施済 文化センターについては、市のシンボリックな存在でもあるため、 改修、更新時には、民間活力の導入などと併せて、より魅力を 高めるための検討を行う
木更津市市民会館	千葉	1,134			1970	48			平成 27 年から休館 新会館を広域連携で共同建設の方針
ふれあいプラザさかえ	千葉	1,086			1994	24			
茂原市市民会館	千葉	1,030			1968	50			平成 31 年 (2019 年) 3 月 31 日閉館 市民会館と中央公民館の新たな複合施設の整備基本計画を 平成 30 年度に策定予定

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
千葉市民会館	千葉	1,014	316		1973	45		平成18年にアスベスト除却一時休館 市民会館の建替内容及び時期等は、文化交流プラザ廃止後の利用状況等を踏まえ、別途、方針決定	
船橋市民文化ホール	千葉	1,000			1978	40	2012	改修で1116席から1000席に減少（客席幅を5cm拡大） 床をフローリング、フラット化等	
流山市文化会館	千葉	1,000			1969	49			
市川市市民会館	千葉	906			1985	33			
千葉県東総文化会館	千葉	900	302		1991	27			
青葉の森公園芸術文化ホール	千葉	877			1991	27			
芝山文化センター	千葉	802			1989	29			
佐原市文化会館	千葉	800			1980	38	2014	耐震補強・大規模改修工事	
白井市文化会館	千葉	800	300		1994	24			
袖ヶ浦市民会館	千葉	712			1974	44	2018	大ホール棟の外壁・屋根の改修実施	
佐倉市民音楽ホール	千葉	667					2018	平成30年1月22日～同年9月22日 休館 天井、空調、屋上防水、舞台設備、トイレ等の更新	
いすみ市夷隅文化会館	千葉	600			1993	25			
印西市文化ホール	千葉	522			1994	24			
千葉市若葉文化ホール	千葉	511			1991	27			
大栄公民館	千葉	505			1991	27			
富津市民会館	千葉	502			1989	29			
千葉市文化センター	千葉	493			1989	29			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
習志野市民会館	千葉	300			1966	52			平成 29 年度～平成 31 年度 併設している大久保公民館とともに中央公園に一体整備（又は大久保公民館・市民会館・勤労会館・大久保図書館機能を複合化）
神奈川県立県民ホール	神奈川県	2,488	433		1975	43		2017	平成 29 年 7 月 3 日～平成 30 年 5 月 31 日 電気設備工事、大ホール舞台設備改修
横浜みなとみらいホール	神奈川県	2,020	440		1998	20			平成 32 年（2020 年）の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の閉幕後から約 1 年 6 か月間程度、大規模な改修工事を実施する予定
川崎市スポーツ・文化総合センター	神奈川県	2,013	200		2017	1	新設		平成 29 年 10 月 1 日オープン ホール：2,013 席（親子席 12 席及び車いす席 18 席を含む）
ミュージアム川崎シンフォニーホール	神奈川県	1,997			2004	14			平成 31 年（2019 年）1 月 15 日～同年 6 月 30 日 舞台設備等改修に伴う休館
川崎市教育文化会館	神奈川県	1,961	300		1967	51	閉館		教育文化会館の大ホール設備（舞台機構・音響・照明）の各機器類は、耐用年数を超えて使用しているものが多く、旧型なものにあつては、修理対応が困難なケースも見込まれており、事後保全による運営を継続する場合には、使用者（興行事業者を含む。）へのサービス低下を招く恐れがあり、安定的な大ホール機能の提供を保障することができないため閉鎖。教育文化会館の大ホール機能は、改築後の体育館に機能移転する
横須賀芸術劇場	神奈川県	1,806	574		1994	24			
グリーンホール相模大野	神奈川県	1,790	260		1989	29			
鎌倉芸術館	神奈川県	1,500	600		1993	25			
秦野市文化会館	神奈川県	1,455	498		1980	38			施設・設備の改修計画（平成 23 年～10 年間）に基づき改修。平成 28 年再配置計画では、平成 28 年～平成 32 年（2020 年）までソフト面での対応

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
茅ヶ崎市民文化会館	神奈川	1,412	410		1980	38	休館中 2018.10.1	平成 21 年度～平成 22 年度 基本設計及び実施設計 「公共施設整備・再編計画」の見直しにより平成 28 年度以 降実施に変更、基本設計及び実施設計から 5 年が経過したこ とから修正設計 工事期間：平成 29 年 3 月～平成 30 年 7 月（休館期間 平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日） 特定天井の改修、LED 照明採用、バリアフリー対応	
厚木市文化会館	神奈川	1,400	376		1978	40			
平塚市民センター	神奈川	1,400			1962	56	2015 年か ら使用停止	平成 31 年～平成 33 年 新たなホールを整備し平成 33 年 度（2021 年度）に開館	
藤沢市民会館	神奈川	1,380	434		1968	50		平成 30 年度中に建替え又は大規模改修の方針決定（予 定）	
綾瀬市オーインス文化 会館	神奈川	1,356			1980	38			
相模原市民会館	神奈川	1,270			1965	53	RENEW	平成 25 年 6 月～平成 26 年 5 月 ホール棟改修 事業費約 10 億 9 千万円 天井、照明、音響、床、椅子張替、アスベスト除去等 平成 28 年より検討中	
伊勢原市民文化会館	神奈川	1,204	394		1981	37	検討中	市民文化会館については、運営方法の改善や多機能化を進 め、更新が必要となる時期を見据えて、近隣市との広域連携 利用を前提とした施設の廃止又は複合施設化の検討を行う。	
南足柄市文化会館	神奈川	1,110			1995	23			
関内ホール・横浜市市 民文化会館	神奈川	1,102	264		1986	32	休館中 2017	施設長寿命化の改修工事のため、平成 29 年 11 月 13 日～ 平成 30 年 9 月 30 日まで休館予定	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
関内ホール・横浜市市民文化会館	神奈川	1,102							天井、長寿命化（設備等）、トイレ改修、客席更新（50cm→52cm；1102席→1038席）
海老名市文化会館	神奈川	1,100		1979	39		2010	平成22年12月～平成23年10月 大ホール棟の大規模改修実施済 小ホール棟は平成37年（2025年）目途に大規模改修予定	
横須賀市文化会館	神奈川	1,098	250	1965	53	RENEW	1998	平成10年8月1日リニューアルオープン	
小田原市民会館	神奈川	1,098	300	1962	56		建替え予定	市民ホール（1100席以上）の建設計画あり	
神奈川県立音楽堂	神奈川	1,054		1954	64	休館中	2018	平成31年（2019年）3月末まで1年間改修（建築（防水、外壁等）、空調設備、給排水設備、電気設備、舞台機構（吊物、電気制御部等）、照明設備、音響設備の改修等）	
松田町民文化センター	神奈川	1,018		1981	37		2017～	複合拠点施設化を段階的に実施 平成22年度に耐震補強工事実施済	
神奈川県立青少年センター	神奈川	1,002		1962	56		2003-2005	長寿命化（3,079百万円）耐震化・防水工事等	
川崎市麻生市民館	神奈川	1,002		1985	33				
鶴見会館 サン・クレイン	神奈川	934		1969	49	廃止		跡地は多世代・地域交流型住宅	
川崎市宮前市民館	神奈川	910		1985	33				
箱根町仙石原文化センター	神奈川	720		1982	36				
平塚市中央公民館	神奈川	701	250	1982	36				

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
藤沢市湘南台文化センター・市民シアター	神奈川	600			1990	28			
逗子文化プラザ	神奈川	555	160		1989	29			
横浜市教育局会館・エコーレ	神奈川	540			1999	19			
愛川町文化会館	神奈川	535			1983	35			
杜のホールはしもと	神奈川	535	200		2001	17			
二宮町生涯学習センター・ラディアン	神奈川	531			2000	18			
はまぎんホール・ヴィアマール	神奈川	517			1993	25			
青葉区民文化センター・フリアホール	神奈川	500			1993	25			
津久井町文化福祉会館	神奈川	412			1981	37			
相模原南市民ホール	神奈川	400			1983	35			
泉区民文化センター・テアトルフォンテ	神奈川	386			1993	25			
横浜市港南区民文化センター・ひまわりの郷	神奈川	381			1997	21		所在：ゆめおおおかオフィスタワー4階～7階	
かながわアートホール	神奈川	300			1991	27			
旭区民文化センター・サンハート	神奈川	300	105		1990	28		所在：二俣川ライフ5階	
横浜市栄区民文化センター・リリス	神奈川	300			1998	20		複合施設内	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
神奈川県立地球市民 かながわプラザ・あーす プラザ	神奈川	226			1998	20		同上（リリスと同じ建物内）	
横浜市吉野町市民プラ ザ	神奈川	200			1989	29			
横浜市岩間市民プラザ	神奈川	185			1991	27			
横浜市長浜ホール	神奈川	103			1997	21			
大倉山記念館ホール	神奈川	80			1984	34			
大宮ソニックシティ	埼玉	2,505	496		1988	30			
さいたま市文化センター	埼玉	2,006	340		1985	33		さいたま市文化施設については統廃合等含めて今後の検討課題 アクションプランにおける検討時期は平成53年（2041年） ～平成62年（2050年）	
所沢市民文化センター ミュージアム	埼玉	2,002	798	342	1993	25	2018- 2020		
川口総合文化センター リリア	埼玉	2,002	600		1990	28			
越谷コミュニティセンター・ サンシティホール	埼玉	1,675	490		1979	39		計画的に段階的に改修 平成28年：天井改修、平成29年：大ホール舞台機構修 繕（短期間の休館で対応）	
春日部市民文化会館	埼玉	1,500	401		1983	35	2022	建替え時等の方向性：全体方針のとおり、面積20%縮減を図 り、施設の複合化を検討する。PFIなど公民連携（PPP）の 手法活用を検討する。（公共施設マネジメント基本計画）	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
狭山市市民会館	埼玉	1,398	878	364	1979	39	2018- 2027 に中規模修繕	施設の改修・建替え時期に合わせて、ホール機能の適正規模及び適正配置を検討し、利便性が高く効率的な施設となるよう近隣自治体との共同運営、共同設置を推進。 民間活力の導入及び他施設との複合化について総合的な検討を進めることから、老朽箇所を部分的に修繕する中規模修繕を行う。 平成30年度～平成39年度(2027年度)に中規模修繕の計画。	
さいたま市民会館・おおみや	埼玉	1,370	274		1970	48		さいたま市文化施設については統廃合等含めて今後の検討課題 平成26年～平成32年(2020年)更新の在り方についての検討期間 平成29年 機能移転予定	
埼玉会館	埼玉	1,315	504		1966	52	2015 RENEW	平成27年10月1日～平成29年3月31日 休館(18か月) 工期 平成27年9月8日～平成28年12月28日 オープン 平成29年4月1日 建築改修工事(外壁補修・内装更新) 電気設備改修工事(電灯・配線等更新) 空調設備改修工事(冷暖房設備等更新) 衛生設備改修工事(給排水設備等更新) 舞台設備改修工事(吊物機構・スピーカー等更新)	
三郷市文化会館	埼玉	1,292	390		1984	34		平成29年～平成31年(2019年)に個別計画策定 平成31年(2019年)～平成37年(2025年)実施	
鴻巣市文化センター・クミアゴのす	埼玉	1,288	306		2000	18		30年以上経過する施設について大規模改修を検討(総合管理計画)	



ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
羽生市産業文化ホール	埼玉	1,286	402		1984	34		2013- 2014	
和光市民文化センター サン・アゼリア	埼玉	1,282	300		1993	25			平成33年(2021年)~平成37年(2025年)の第2 次計画に検討予定。(第1次計画)
久喜総合文化会館	埼玉	1,214	304		1987	31			
戸田市文化会館	埼玉	1,210			1981	37		2019	平成32年度(2020年度)までに耐震化に併せて舞台装 置や客席等のリニューアル、加えて文化会館のバリアフリー化及 びホール等リニューアルを実施
東松山市民文化センタ ー	埼玉	1,200	1,200		1976	42			平成31年1月4日~平成31年2月28日
本庄市民文化会館	埼玉	1,200			1981	37		2017	平成11年 耐震補強、屋根改修 平成28年 外壁改修 平成29年~平成33年(2021年)で屋根改修(大規 模)、設備改修(大規模)、内装改修(大規模) (計画検討段階)
草加市文化会館	埼玉	1,195			1972	46			(長寿命化を図り維持する方針)
坂戸文化会館	埼玉	1,194			1975	43			(計画的な改修の推進により施設の長寿命化)
行田市産業文化会館・ ベル・プラス	埼玉	1,165			1970	48			平成25年度~平成64年度 文化会館施設等は、定期点 検の実施など適切な維持管理を行いつながら有効活用を努める が、全体的な視点に立ち、在り方について検討
深谷市民文化会館	埼玉	1,164	324		1981	37			市民ニーズなど踏まえ、更新時期にあわせ、市民文化の向上と 福祉の増進、効率的、効果的な維持管理といった観点から、 今後の整備方針、計画的な修繕等を検討
飯能市市民会館	埼玉	1,102	302		1984	34			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
入間市市民会館	埼玉	1,086			1973	45			平成25年度の耐震化診断に基づき、入間市市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会において検討したところ、現在の市役所敷地内に、耐震性能が不足している棟に代わる新しい庁舎を建設するとともに、市民会館・中央公民館の機能を合わせて整備する複合化案が最も適しているとの判断し、検討を進めている
新座市民会館	埼玉	1,080	460		1979	39	2012	平成24年改修	
パストラルかぞ・加須市文化・学習センター	埼玉	1,005	300		1994	24			
熊谷文化創造館・さくらめいと	埼玉	1,000			1998	20			修繕時期は平成39年(2027年)
朝霞市民会館・ゆめばれす	埼玉	922	432		1976	42	2017		耐震化実施により長寿命化
富士見市民文化会館・キラリふじみ	埼玉	802	255		2002	16			
志木市民会館 パルティ	埼玉	800			1978	40			志木市庁舎及び市民会館複合化予定 平成27年 基本設計、平成28年 実施設計、平成29年～平成30年 第一期工事、平成31年(2019年)～平成33年(2021年) 第二期工事、平成34年度オープン
彩の国さいたま芸術劇場	埼玉	776	604	346	1994	24			
北本市文化センター	埼玉	710			1984	34			
蕨市民会館コンクレホール	埼玉	706			1974	44	2017		耐震化実施により長寿命化

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
響の森・桶川市民ホール	埼玉	700			1997	21			
小鹿野文化センター	埼玉	695			2005	13			
毛呂山町福祉会館・ウイズもろやま	埼玉	678			1979	39		平成26年度に耐震補強工事を実施	
さいたま市民会館・いわつき	埼玉	640			1969	49		さいたま市文化施設については統廃合等含めて今後の検討課題	
小川町民会館・リリック小川	埼玉	604			1982	36			
秩父ミュージアムパーク・音楽堂	埼玉	600			1991	27		平成30年1月1日～同年2月16日 天井張替	
川越市市民会館	埼玉	588	508		1965	53	閉館	平成27年6月をもって大ホール、会議室、和室等を閉館	
八潮市民文化会館・八潮メセナ	埼玉	544			1990	28			
川口市立南平文化会館	埼玉	540			1979	39			
田園ホール・エローラ	埼玉	525			1989	29			
埼玉県民活動総合センター	埼玉	504			1990	28			
三芳町文化会館・コスビみよし	埼玉	503			2002	16			
庄和コミュニケーション・正風館	埼玉	502			1985	33			
行田市教育文化センター・みらい	埼玉	501			2002	16			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
熊谷市立文化センター文化会館	埼玉	500			1981	37			
市民会館うらわ	埼玉	478			1971	47		さいたま市文化施設については統廃合等含めて今後の検討課題	
栗橋町総合文化会館・イリス	埼玉	476			1994	24			
草加市立中央公民館	埼玉	410			1981	37			
熊谷市江南町総合文化会館「ピピア」	埼玉	403			1996	22			
宇都宮市文化会館	栃木	2,000	500		1980	38	RENEW	2015-2017 平成29年4月 リニューアルオープン	
栃木県総合文化センター	栃木	1,604	600		1991	27		2018-2020 全館休館期間 平成30年10月15日~平成32(2020年)3月31日	
黒磯文化会館	栃木	1,456			1982	36			
足利市民会館	栃木	1,452			1966	52		市民プラザを含めた集約化・複合化等、今後の施設の在り方について検討	
鹿沼市民文化センター	栃木	1,296			1984	34		平成28年~平成47年 長寿命化しながら施設維持	
那須野が原ハートニーホール	栃木	1,275			1994	24		平成31年(2019年)1月7日~同年2月15日 小ホールは設備改修工事のため閉鎖	
日光市藤原総合文化会館	栃木	1,222			1973	45	閉館予定	日光総合会館と藤原総合文化会館を早ければ平成31年度(2019年度)までで廃止。今市文化会館は改修又は建て替え整備で検討し、平成30年度中に今後の方向性を示す。	
佐野市文化会館	栃木	1,216	306		1979	39			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
小山市立文化センター	栃木	1,216	450		1978	40		文化センター及び中央公民館は、耐震補強及びPFIによる建て替えの両面から検討し、規模の適正化や他施設との複合化を図る	
真岡市民会館	栃木	1,208	300		1974	44	2013- 2014	東日本大震災では、大ホールの2階部分のつり天井が広範囲にわたって落下。壁、音響・照明等の舞台設備、空調設備も損傷し、建物の周囲も地盤沈下するなど大きな被害を受け、休館してため、平成25年1月～平成26年3月に耐震補強や各種設備の改修（椅子、機械、電気、舞台装置等）平成24年度に3億3456万円、平成25年度に12億6544万円の継続費を設定。この内、工事監理に1974万円、工事に15億4246万円を配分	
栃木市栃木文化会館	栃木	1,198	398		1983	35		平成30年～平成37年（2025年）にかけて、老朽化のため、空調・照明・音響・防水等改修工事等を随時実施予定	
矢板市文化会館	栃木	1,112			1981	37		定期的な点検修繕を実施し長寿命化を図るとともに、建て替えを行う場合は他施設との複合化を視野に入れ検討	
日光市今市文化会館	栃木	1,066			1977	41		改修又は建て替え整備で検討し、平成30年度中に今後の方向性を示す	
益子町中央公民館	栃木	1,012			1965	53			
城址公園ホール（壬生町中央公民館）	栃木	1,006			1985	33			
藤岡文化会館	栃木	1,000			1992	26			
那須町文化センター	栃木	1,000			1993	25			
芳賀町民会館	栃木	1,000			1991	27			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
日光市日光総合会館	栃木	970			1972	46	閉館予定		日光総合会館と藤原総合文化会館を早ければ平成31年度(2019年度)までで廃止。今市文化会館は改修又は建て替え整備で検討し、平成30年度中に今後の方向性を示す
足利市民プラザ・足利市総合会館	栃木	826			1981	37			
栃木市大平文化会館	栃木	801			1998	20			
野木町文化会館・エニスホール	栃木	796			1995	23			
岩舟町文化会館・コスモスホール	栃木	704			1994	24			
那須塩原市三島ホール	栃木	485			1986	32			
田原コミュニティプラザ	栃木	400			1999	19			
栃木会館	栃木	400			1955	63	解体		平成28年3月 閉館
大田原市総合文化会館	栃木	390			1969	49			継続的に維持管理・修繕や長寿命化を推進
グリムの館	栃木	300			1996	22			
群馬県民会館・ベイシア文化ホール	群馬	1,994			1971	47			平成30年1月～同年3月 耐震補強(天井等)
群馬音楽センター	群馬	1,932			1961	57	新規建替	2016	新しい音楽ホール(高崎市文化芸術センター)の整備 平成26年11月から実施設計。工期は平成28年6月25日～平成31年3月25日(予定)。 高崎文化芸術センターは、単独建造物として最大25,000㎡程度が想定され、建設費は約160億円が見込まれ、建設費は国の補助金、合併特例債や都市集客施設等建設基金等を活用予定。市の負担額は、約25億円と試算

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
桐生市市民文化会館	群馬	1,512			1997	21			
伊勢崎市文化会館	群馬	1,440	494		1981	37	2018	休館予定	平成30年10月22日～平成32年(2020年)3月31日 改修工事のため休館
太田市民会館	群馬	1,406			1969	49	2017	新規建替	平成29年4月新たな太田市民会館が開館(1406席→1501席)
渋川市民会館	群馬	1,234	400		1976	42	2018	休館予定	平成30年10月1日～平成31年10月31日 耐震工事及び改修工事(13か月) 天井、舞台、座席、扉、音響、照明設備、エレベーター、外壁等々
館林市文化会館	群馬	1,200	300		1974	44	2015- 2016		館林文化会館大ホール棟耐震等改修工事 440百万円 工事期間 平成27年6月25日～平成28年7月20日 耐震補強工事 炭素繊維(SR-CF)貼り補強、ポリイソシアネート樹脂繊維、(SRF)貼り補強、大屋根改修工事(葺き替え)、大ホール天井改修工事、便所改修工事、アスベスト除去工事
前橋市民文化会館	群馬	1,200	300		1982	36	2010、 2016- 2017		平成22年度に1年間休館し、耐震補強工事並びに大規模改修工事を実施。 平成28年4月1日～平成29年3月31日の1年間休館し、耐震補強、天井、ホール観客席更新、約11億円
前橋市民文化会館	群馬	1,200							
笠懸野文化ホール・P A L	群馬	1,016			1993	25			
利根沼田文化会館	群馬	965	294		1975	43	2017		平成29年4月～平成30年3月末まで耐震改修工事 大小ホールとも座席幅を広げ、改修後は大ホール1,200席→965席、小ホール300席→294席 楽屋は7室に増室、小ホールロビーのフロア新設

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
玉村町文化センター	群馬	914	264		1993	25			
バイテック文化ホール	群馬	862			1975	43	2016	営業しながら耐震補強と建物全体の改修を実施 事業期間は平成30年度までの3年間で工事を1期～3期 に分割実施 耐震工事で煙突や高架水槽の撤去、吊り天井の部材の交 換、館内の耐震補強。改修工事では、外壁の補修や塗り替 え、屋上の防水工事、大会議室床面の改修	
大泉町文化むら	群馬	808			1989	29			
安中市文化センター	群馬	800			1982	36			
境町総合文化センター	群馬	708			1996	22			
高崎市文化会館	群馬	701			1984	34			
草津音楽の森国際コン サートホール	群馬	608			1991	27			
箕郷文化会館	群馬	601			1992	26			
赤堀町芸術文化プラザ	群馬	511			1990	28			
館林市三の丸芸術ホー ル	群馬	509			1986	32			
榛名文化会館・エコー ル	群馬	505	200		1995	23			
甘楽町文化会館	群馬	500			1994	24			
前橋市民文化会館大 胡分館・シヤンテ	群馬	483			1995	23			
伊勢崎市民プラザ（文 化会館）	群馬	408			1990	28	2018	平成30年10月22日～平成32年（2020年）3月31 日 休館	
高崎シティギャラリー	群馬	324			1994	24			



ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
茨城県立県民文化センター	茨城	1,764	460		1966	52	2012	東日本大震災で全館使用禁止となつたが、平成24年7月に大ホールの改修を終え、9月より使用再開	
ひたちなか市文化会館	茨城	1,350	399		1984	34			
日立市民会館	茨城	1,309			1965	53		平成33年(2021年)まで計画的な維持補修を施し、継続して運営していく。平成37年(2025年)までに今後の方針を決定	
結城市民文化センター アクロス	茨城	1,286			1991	27			
龍ヶ崎市文化会館	茨城	1,203			1985	33			
牛久市中央生涯学習センター	茨城	1,194	255		1987	31			
土浦市民会館	茨城	1,182	342		1969	49	2019	平成31年(2019年)1月中旬~平成32年(2020年)3月 建設工事 平成32年4月 供用開始(予定) 耐震補強、天井、トイレ、客席交換、舞台設備、エレベーター設置など	
取手市立市民会館	茨城	1,100			1972	46	2018	平成30年7月~平成31年(2019年)3月 耐震補強・改修工事	
常総市地域交流センター	茨城	1,100			1992	26	2017	平成30年4月29日 展示室リニューアルオープン	
つくば市民ホールくさぎさ	茨城	1,050			1985	33			
神栖市文化センター	茨城	1,026			1981	37	2001	平成13年 大規模改修(屋上防水)	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
常陸大宮市文化センター・ロゼホール	茨城	1,016			1995	23			
筑西市市民会館	茨城	1,006			1963	55	解体	震災の影響により休館、平成25年12月より解体	
常陸太田市民交流センター パルティホール	茨城	1,004	300		1988	30			
水戸市市民会館	茨城	1,004			1972	46	休館	震災の影響により休館、移転へ。約192億円を想定。	
下妻市民文化会館	茨城	1,000			1976	42		平成30年～平成32年(2020年)で複合化の検討 平成33年(2021年)に複合化の実施	
ノバホール	茨城	999			1983	35			
石岡市市民会館	茨城	980			1968	50		耐震化対策必要 類似機能施設を含めた検討方針	
常総市市民会館	茨城	956					解体	平成30年に市民会館を解体、新庁舎を建設(約12億円)へ	
古河市公会堂	茨城	828			1973	45	解体	閉鎖後解体し更地化	
日立ビッグセンター	茨城	825			1990	28			
明野町立公民館	茨城	816			1984	34			
高萩市文化会館	茨城	814			1980	38			
神栖市矢田部公民館	茨城	810			1982	36			
東海文化センター	茨城	808			1977	41		平成28年3月1日～平成28年6月30日 改修工事のため全館使用不可	
坂東市民音楽ホール・ヘルフォール	茨城	704			1994	24			
市民ホールとよさと	茨城	694			1982	36			
水戸芸術館	茨城	636			1990	28			
コミュニケーションセンター城里	茨城	600			1992	26			

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール 1	ホール 2	ホール 3					
小美玉市四季文化館・ みの〜れ	茨城	600			2002	16			
石岡市中央公民館	茨城	600							
行方市文化会館	茨城	546			1994	24			
玉里村総合文化センタ ー・コスモス	茨城	535			1994	24			
笠間市立笠間公民館	茨城	509			1982	36	2016	平成 28 年 10 月～平成 29 年 8 月 大規模改修工事 平成 29 年 9 月 リニューアルオープン 概算工事費は約 7 億 8 0 0 0 万円を試算。設計は(株)匠建 築研究室 (水戸市) 外観は、既存のタイル意匠を生かしながら壁全面を補強 内観は、トイレ改修で和式中心の便器を様式に切り替える オストメイト対応器具の設置や多目的トイレを増設する 照明は LED に変更。空調設備は空冷ヒートポンプ方式を採 用し、省エネルギー化。 大ホール改修は、音響・照明調光設備の機器類を交換・新 設。客席の椅子は幅を 40 mm 広げ、客席数も 12 席増やす。 概算工事費内訳：建築工事約 2 億 3 千万円、電気設備工 事約 2 億 1 千万円、機械設備工事約 1 億 6 千万円。合併 特例債を活用。	
守谷市中央公民館	茨城	401			1981	37	2018	平成 18 年度予算で中央公民館改修に 2 か年継続費約 2 億 6 千万円を設定 (平成 18 年度 1 億 6 3 5 万 9 千円、 平成 19 年度 1 億 5 9 5 3 万 7 千円) 中央公民館の改修事業は、空調設備の更新に取り掛かるもの	

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール1	ホール2	ホール3					
潮来公民館	茨城	309			1977	41		2019	平成30年公民館耐震補強事業で大ホールと事務室棟の耐震補強工事を実施するため6364万円を確保するとともに、中央公民館管理費でも空調設備や身体障がい者用トイレの改修工事を行うため7591万円を予算化
茨城町中央公民館	茨城	300			1975	43	大ホール棟のみ残し解体		東日本大震災により使用中止し、大ホールのみ使用。 新たに場所を確保して公民館機能と文化ホール機能とを併せ持つ文化的施設（600席以上の多目的ホール）の整備を行う方針へ平成29年検討再開
甲府市総合市民会館	山梨	2,000	500		1990	28			
コラーニ文化ホール	山梨	1,978	696		1982	36			
ふじさんホール・富士吉田市民会館	山梨	1,016			2011	7			
東京エレクトロン垂崎文化ホール・Breeze	山梨	1,000	300		1995	23			
都の杜うぐいすホール（都留市文化ホール）	山梨	820	304		1996	22			
甲州市中央公民館	山梨	805			1982	36			
大月市民会館	山梨	758			1980	38			
桃源文化会館	山梨	726			1984	34			
増穂町文化会館	山梨	538			1992	26			
甲斐市双葉ふれあい文化館	山梨	506			1995	23			
山梨市民会館	山梨	464			1977	41	RENEW	2015	平成27年10月3日～平成28年8月31日 改修工事 主体工事費 約12億420万円

ホール名	所在	収容人員			開館年	築年数	現状	大規模 改修時期	大規模改修概要等
		ホール 1	ホール 2	ホール 3					
身延町総合文化会館	山梨	400			1996	22			利用者の安全性の確保、老朽化による機能改善、利用状況に合わせた整備、バリアフリー化、省エネ対策などに視点を置いてリニューアル工事。平成 28 年 10 月リニューアルオープン
ぶどうの丘イベントホール	山梨	350			1988	30			
南アルプス市楡形生涯学習センター	山梨	350			1999	19			
清里の森・森の音楽堂	山梨	300			1985	33			



## 2 アンケート調査票

- ・川口総合文化センター・LILIAに関するご質問事項(プロモーター等イベント主催者)
- ・川口総合文化センター・リリア 利用者アンケート
- ・川口総合文化センター・リリア 入居テナント様へのアンケート





## 川口総合文化センター・LILIA に関するご質問事項

(プロモーター等イベント主催者)

回答者の御所属・御氏名：

---

### 1. LILIA を利用・選択する理由

- ①  立地・アクセス利便性（駅から近い）
- ②  客席数（2000 席以上）
- ③  利用料（他より安い）
- ④  施設・設備が良い（搬入：搬入口、搬入動線、駐車場、搬入エレベーター）
- ⑤  施設・設備が良い（舞台）
- ⑥  施設・設備が良い（音響）
- ⑦  施設・設備が良い（照明）
- ⑧  施設・設備が良い（楽屋）
- ⑨  施設・設備が良い（観客の入場前の待機場所や入場時の待機列の作りやすさ）
- ⑩  施設・設備が良い（障がい者や子どもに対応できる環境）
- ⑪  施設・設備が良い（その他：物販スペース、主催者控室等）
- ⑫  利用時間に柔軟（退館時間が遅い）
- ⑬  出演者からの評価が高い
- ⑭  観客からの評価が高い
- ⑮  施設管理者・会場スタッフの対応が良い（協力的、友好的、スケジュール調整に努力してくれる、スタッフが慣れている、スタッフの数が多い、搬出入に協力的、臨機応変に対応してくれる、無理難題に答えてくれる、一緒に解決策を練ってくれる）
- ⑯  LILIA だとチケットの売れ行きが良い
- ⑰  会場の販売キャパと会場費が見合っている（会場内外の特別感と会場費の割安感）
- ⑱  周辺施設（飲食店等）が充実している
- ⑲  LILIA でないと満たされない点がある  
(具体的に： )
- ⑳  その他  
( )

### 2. LILIA が休館した場合の対応

- ①  開催を控える（他の施設を使うことなく開催を見送る）
- ②  近隣（埼玉県内）の類似施設を使う
- ③  近隣（埼玉県内）に拘らず、他の類似施設を使う
- ④  その他  
( )

### 3. LILIA が休館することになった場合に欲しい情報

- ①  他の施設の空き情報など代替施設の情報
- ②  休館・開館スケジュール等の事前情報
- ③  舞台・音響・照明等の設備・機能に関する情報
- ④  搬入・運搬路、控室、練習室、トイレ等の施設改修に関する情報
- ⑤  利用料改定有無に関する情報
- ⑥  その他

( )

### 4. その他

- ① 休館を避けてほしい年・時期

( )

- ② 休館に関する対応が優れていた施設とその対応方法

( )

- ③ 施設改修・休館に関する情報収集やプロモーター間などにおける施設改修・休館に関する情報共有の現状・方法（ネットワークの有無等）

( )

- ④ LILIA の席数（メインホール 2000 席、音楽ホール 600 席）の増減に関するご意見・ご要望

( )

以上。

## 川口総合文化センター・リリア 利用者アンケート

該当する番号の□をチェック（☑）してください。また、自由回答欄への記入をお願いします。

### 個人やグループで利用されている場合 ※グループの場合は代表者

居住地等（複数回答可）

- ①  市内在住者（現在）
- ②  市内在住者（以前）
- ③  市外在住者
- ④  職場・学校等が川口市内
- ⑤  川口駅が通勤・通学等の経路

### 団体で利用している場合、所属団体の名称（学校の場合、学校名と所属部会など）

( )

### 1. リリアでの主な利用施設と利用頻度（複数選択可）

主な利用施設

- ①  練習室
- ②  和室・茶室
- ③  小会議室
- ④  中会議室
- ⑤  大会議室
- ⑥  特別会議室
- ⑦  ギャラリー
- ⑧  展示ホール
- ⑨  催し広場
- ⑩  音楽ホール
- ⑪  メインホール

利用頻度

- ①  週数回/ほぼ毎週
- ②  週1回/ほぼ毎週
- ③  月数回
- ④  月1回
- ⑤  数か月に1回/年数回
- ⑥  年1回
- ⑦  数年に1回
- ⑧  今回が初めて

### 2. リリアを利用する際の主な活動内容（学校行事の場合は行事名）

( )

### 3. リリアを利用・選択する理由（複数回答可）

- ①  立地・アクセス利便性（駅から近い）
- ②  自宅や職場から近い
- ③  わかりやすさ（目立つ外観）
- ④  広さ/席数
- ⑤  利用料（他より安い）
- ⑥  利用時間帯
- ⑦  予約のとれやすさ
- ⑧  使いやすさ（施設：駐車場、エレベーター）
- ⑨  使いやすさ（施設・設備：音響・マイク・照明等）
- ⑩  使いやすさ（障がい者や子どもに対応できる環境）
- ⑪  施設スタッフの対応が良い
- ⑫  周辺施設（飲食店等）が充実している
- ⑬  リリアでないと満たされない点がある

（具体的に：

- ⑭  その他

[ ]

#### 4. リリアが休館した場合の対応

- ①  開催を控える（他の施設を使うことなく開催を見送る）
- ②  近隣（川口市内）の類似施設を使う
- ③  近隣（川口市外埼玉県内）の類似施設を使う
- ④  近隣（埼玉県内）に拘らず、他の類似施設を使う
- ⑤  その他

（）

#### 5. リリアが改修等で休館することになった場合に欲しい情報

- ①  休館・開館スケジュール等の事前情報
- ②  施設・設備の改修内容（部屋の広さや装飾等に関する情報）
- ③  施設・設備の改修内容（舞台・音響・照明等の設備・機能に関する情報）
- ④  サービス内容（利用時間、予約方法、利用料改定有無に関する情報）
- ⑤  その他

（）

#### 6. タワー棟（高層棟）について

- ① タワー棟（高層棟）の各施設等についてのご意見・ご要望（希望する施設や設備）

[]

- ② 高層階をはじめとした各階層へのアクセス（行きやすさ）についてのご意見・ご要望（エレベーター、エスカレーター・階段に関すること、高層階又は低層階にあったほうがよい施設やテナントなど）

[]

#### 7. その他

- ① 改善してほしいサービス内容（案内版、予約方法、利用可能時間帯、通信環境など）

[]

- ② その他 ご意見がございましたらご記入下さい

[]

以上

ご協力、ありがとうございました。

## 川口総合文化センター・リリア 入居テナント様へのアンケート

該当する番号の□をチェック（☑）してください。また、自由回答欄への記入をお願いします。

### 入居テナント様の名称

( )

#### 1. リリアにて営業する理由について（複数回答可）

- ①  立地・アクセス利便性（駅から近い）
- ②  集客しやすい
- ③  本社、取引先とのアクセスがいい
- ④  通勤の便がいい
- ⑤  採用促進できる立地
- ⑥  建物の規模、築年数
- ⑦  地盤、耐震性、防災面
- ⑧  グレード感、見栄えがいい
- ⑨  わかりやすさ（目立つ外観）
- ⑩  周辺環境、治安が良い
- ⑪  周辺に便利施設（飲食、コンビニ、銀行等）がある
- ⑫  印象が明るい、きれい
- ⑬  企業イメージや店舗イメージが上がる
- ⑭  他の入居テナントの顔ぶれ
- ⑮  適正な面積を借りることができる
- ⑯  適正な賃料（割安である）
- ⑰  営業可能時間
- ⑱  セキュリティ体制
- ⑲  使いやすさ（施設・設備：駐車場）
- ⑳  使いやすさ（施設・設備：エレベーター、エスカレーター）
- ㉑  使いやすさ（施設・設備：水周り）
- ㉒  使いやすさ（施設・設備：空調）
- ㉓  使いやすさ（施設・設備：電気）
- ㉔  使いやすさ（障がい者や子どもに対応できる環境）
- ㉕  共用部の維持管理（清掃衛生等）
- ㉖  施設スタッフの対応が良い
- ㉗  貸主の信頼度
- ㉘  リリアでないと満たされない点がある

(具体的に： )

- ㉙  その他  
( )

## 2. リリアが改修等でまとまった期間休館した場合の対応について

- ①  休館の期間に拘らず、またリリアに入居したい
- ②  休館の期間に拘らず、入居を見直す可能性がある
- ③  休館の期間によっては、またリリアに入居したい（→具体的な休館期間\_\_\_\_\_月未満）
- ④  休館の期間によっては、入居を見直す可能性がある（→具体的な休館期間\_\_\_\_\_月以上）
- ⑤  その他  
( )

## 3. リリアが改修等で休館することになった場合について、情報（休館・開館スケジュール、施設・設備の改修内容、料金改定等）をいつまでに提供されることを希望しますか（最低でもいつまでに）

( )

## 4. タワー棟（高層棟）について

- ① タワー棟（高層棟）の各施設についてのご意見・ご要望（ご自身のテナント以外）  
( )
- ② 高層階をはじめとした各階層へのアクセス（行きやすさ）についてのご意見・ご要望（エレベーター・エスカレーター・階段に関すること、高層階又は低層階にあったほうがよい施設やテナントなど）  
( )

## 5. リリアの改修において希望する優先的な改修内容

- 第1希望 ( )
- 第2希望 ( )
- 第3希望 ( )

## 6. その他

- ① 休館を避けてほしい年・時期  
( )
- ② その他のご意見・ご要望（改善してほしい内容など）  
( )

以上

ご協力、ありがとうございました。

少子高齢化等に配慮した公共施設整備  
の在り方についての調査研究  
(川口総合文化センター大規模改修工事に向けた将来像の研究)

－平成 31 年 3 月発行－

川口市 市民生活部 自治振興課  
〒 332-8601  
埼玉県川口市青木 2 丁目 1 番 1 号  
電話 048-258-1110 (代表)

一般財団法人 地方自治研究機構  
〒 104-0061  
東京都中央区銀座 7-14-16 太陽銀座ビル 2 階  
電話 03-5148-0661 (代表)